

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	医学部の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	コリツダガクカクジン カクサダガク 国立大学法人 長崎大学								
フリガナ大学の名称	カクサダガク 長崎大学 [Nagasaki University]								
大学本部の位置	長崎県長崎市文教町1番14号								
大学の目的	長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献するとの理念に基づき、教育研究の高度化及び個性化を図り、アジアを含む地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な知の情報発信拠点であり続けるとともに、地域及び国際社会の発展に貢献できる人材を養成することを目的とする。								
新設学部等の目的	多くの離島を抱える長崎県では、かねてよりの医師不足に重ね専門医指向等により都市部病院へ医師が集中し、地域間の医師の偏在が顕著になっており、特に離島及び本土の県北部における医師不足は厳しい状況が続いている。そうした状況の下、本学では平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」等を踏まえ、地域医療を担う医師を養成し、長崎県内における医師確保のために貢献することを目的として、平成28年度から医学部医学科の入学定員を2名増員する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	【学部】 多文化社会学部 多文化社会学科	年	人	年次人	人		年月 第年次		
	教育学部 学校教育教員養成課程	4	100	—	300	学士(多文化社会学)	平成26年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	経済学部 総合経済学科 昼間主コース 夜間主コース	4	265 60	3年次 10 5	1,170 250	学士(経済学)	平成10年4月 第1年次	長崎市片淵4丁目2番1号	
	医学部 医学科	6	118 (116)	2年次 5 (5)	733 (721)	学士(医学)	平成28年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号	医学科の入学定員のうち、5名は「緊急医師確保対策」に基づく平成29年度までの臨時増、15名は「経済財政改革の基本方針2009」に基づく平成31年度までの臨時増。1名は、「新成長戦略」等に基づく平成31年度までの臨時増。今回の2名は「新成長戦略」等に基づく平成31年度までの追加の増。
	保健学科	4	106	3年次 14	452	学士(看護学) 学士(保健学)	平成14年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目7番1号	
	歯学部 歯学科	6	50	0	300	学士(歯学)	昭和54年10月 第1年次	長崎市坂本1丁目7番1号	
	薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	— —	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	平成18年4月 第1年次 昭和61年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号 〃	
	工学部 機械システム工学科 電気電子工学科 情報システム工学科 構造工学科 社会開発工学科 材料工学科 応用化学科	4 4 4 4 4 4 4	0 0 0 0 0 0 0	— — — — — — —	0 0 0 0 0 0 0	学士(工学) 〃 〃 〃 〃 〃 〃	平成2年4月 第1年次 平成10年4月 第1年次 〃 昭和42年4月 第1年次 平成3年4月 第1年次 昭和45年4月 第1年次 平成3年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号 〃 〃 〃 〃 〃 〃	平成23年度より 学生募集停止。
	各学科共通 工学科	— 4	— 380	3年次 0 —	0 — 1,520	〃 学士(工学)	平成18年4月 第3年次 平成23年4月 第1年次	〃 長崎市文教町1番14号	

新設学部等の概要	環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	530	学士(環境科学)	平成9年10月 第1年次	長崎市文教町1番14号	平成23年度より学生募集停止。
	水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	昭和48年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	【 研究科 】 教育学研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	38	—	76	教職修士(専門職)	平成20年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学), 修士(経営学)	平成16年4月 第1年次	長崎市片淵4丁目2番1号	
	(博士後期課程) 経営意思決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	〃	長崎市片淵4丁目2番1号	
	生産科学研究科 (博士後期課程) システム科学専攻	3	0	—	0	博士(学術), 博士(工学), 博士(水産学), 博士(環境科学)	平成12年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	海洋生産科学専攻	3	0	—	0	〃	平成13年4月 第1年次	〃	
	環境科学専攻	3	0	—	0	〃	平成16年4月 第1年次	〃	
	工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻	2	220	—	440	修士(工学)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	(博士後期課程) 生産システム工学専攻	3	15	—	45	博士(工学)	平成23年4月 第1年次	〃	
	(5年一貫制博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	平成23年4月 第1年次	〃	
	水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術), 修士(水産学)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	環境共生政策学専攻	2	0	—	0	修士(環境科学)	〃	〃	
	環境保全設計学専攻	2	0	—	0	〃	〃	〃	
	環境科学専攻	2	25	—	50	修士(学術), 修士(環境科学)	〃	〃	
(博士後期課程) 環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(学術), 博士(水産学), 博士(環境科学)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号		
(5年一貫制博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学), 博士(環境科学), 博士(海洋科学)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号		
医歯薬学総合研究科 (修士課程) 保健学専攻	2	20	—	40	修士(看護学), 修士(理学療法学), 修士(作業療法学)	平成18年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目7番1号		
災害・被ばく医療科学 共同専攻	2	10	—	20	修士(医科学), 修士(看護学)	平成28年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号		

平成27年度より
学生募集停止。

新設学部等の概要	(博士課程) 医療科学専攻	4	60	—	240	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学)	平成14年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号	平成27年度より学生募集停止。																																																
	新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学)	〃	〃																																																	
	放射線医療科学専攻	4	5	—	20	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学)	〃	〃																																																	
	先進予防医学共同専攻	4	10	—	40	博士(医学)	平成28年4月 第1年次	〃																																																	
	(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	平成14年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号																																																	
(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術), 博士(薬科学)	〃	〃																																																		
国際健康開発研究科 (修士課程) 国際健康開発専攻	2	0	—	0	修士(公衆衛生学)	平成20年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号																																																		
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (修士課程) グローバルヘルス専攻	2	27	—	42	修士(熱帯医学), 修士(公衆衛生学), 修士(医科学)	平成27年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号																																																		
計		2215 (2213)	34 (5)	8465 (8453)																																																					
同一設置者内における変更状況(定員の移行, 名称の変更等)	<p>医歯薬学総合研究科に新専攻の設置 災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程) (10) (平成28年4月設置) 先進予防医学共同専攻(博士課程) (10) (平成28年4月設置)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2"><現行></th> <th colspan="2"><平成28年4月></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">修士課程・博士前期課程</td> </tr> <tr> <td>保健学専攻</td> <td>20</td> <td>保健学専攻</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>生命薬科学専攻</td> <td>36</td> <td>災害・被ばく医療科学共同専攻</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>生命薬科学専攻</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td colspan="4">博士課程・博士後期課程</td> </tr> <tr> <td>医療科学専攻</td> <td>62</td> <td>医療科学専攻</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>新興感染症病態制御学系専攻</td> <td>20</td> <td>新興感染症病態制御学系専攻</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>放射線医療科学専攻</td> <td>8</td> <td>放射線医療科学専攻</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>生命薬科学専攻</td> <td>10</td> <td>先進予防医学共同専攻</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>156</td> <td>生命薬科学専攻</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table>									<現行>		<平成28年4月>		修士課程・博士前期課程				保健学専攻	20	保健学専攻	20	生命薬科学専攻	36	災害・被ばく医療科学共同専攻	10			生命薬科学専攻	36	博士課程・博士後期課程				医療科学専攻	62	医療科学専攻	60	新興感染症病態制御学系専攻	20	新興感染症病態制御学系専攻	20	放射線医療科学専攻	8	放射線医療科学専攻	5	生命薬科学専攻	10	先進予防医学共同専攻	10	合計	156	生命薬科学専攻	10			合計	171
<現行>		<平成28年4月>																																																							
修士課程・博士前期課程																																																									
保健学専攻	20	保健学専攻	20																																																						
生命薬科学専攻	36	災害・被ばく医療科学共同専攻	10																																																						
		生命薬科学専攻	36																																																						
博士課程・博士後期課程																																																									
医療科学専攻	62	医療科学専攻	60																																																						
新興感染症病態制御学系専攻	20	新興感染症病態制御学系専攻	20																																																						
放射線医療科学専攻	8	放射線医療科学専攻	5																																																						
生命薬科学専攻	10	先進予防医学共同専攻	10																																																						
合計	156	生命薬科学専攻	10																																																						
		合計	171																																																						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数																																																			
		講義	演習	実験・実習	計	— 単位																																																			
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位																																																			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等																																																	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手																																																	
			人	人	人	人	人	人	人																																																
			()	()	()	()	()	()	()																																																
新設分	【学部】 多文化社会学部 多文化社会学科		13 (13)	18 (18)	0 (0)	1 (1)	32 (32)	0 (0)	12 (12)																																																
	教育学部 学校教育教員養成課程		28 (28)	39 (39)	0 (0)	1 (1)	68 (68)	0 (0)	90 (90)																																																
	経済学部 総合経済学科 昼間コース		26 (26)	24 (24)	2 (2)	0 (0)	52 (52)	0 (0)	4 (4)																																																
	夜間主コース		26 (26)	24 (24)	2 (2)	0 (0)	52 (52)	0 (0)	4 (4)																																																

教員組織の概要	新設分	医学部							
		医学科	39 (39)	30 (30)	28 (28)	69 (69)	166 (166)	0 (0)	126 (126)
		保健学科	20 (20)	16 (16)	0 (0)	22 (22)	58 (58)	0 (0)	8 (8)
		歯学部							
		歯学科	20 (20)	21 (21)	0 (0)	50 (50)	91 (91)	0 (0)	62 (62)
		薬学部							
		薬学科	12 (12)	11 (11)	0 (0)	9 (9)	32 (32)	0 (0)	1 (1)
		薬科学科	2 (2)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
		工学部							
		工学科	42 (42)	44 (44)	0 (0)	28 (28)	114 (114)	1 (1)	52 (52)
		環境科学部							
		環境科学科	24 (24)	21 (21)	0 (0)	5 (5)	50 (50)	0 (0)	12 (12)
		水産学部							
		水産学科	29 (29)	20 (20)	0 (0)	10 (10)	59 (59)	0 (0)	16 (16)
		【 研究 科 】							
		教育学研究科							
		教職実践専攻(専門職学位課程)	16 (7)	18 (9)	0 (0)	0 (0)	34 (16)	0 (0)	23 (23)
		経済学研究科							
		経済経営政策専攻(博士前期課程)	26 (26)	21 (21)	0 (0)	0 (0)	47 (47)	0 (0)	2 (2)
経営意思決定専攻(博士後期課程)	14 (14)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	2 (2)		
工学研究科									
総合工学専攻(博士前期課程)	42 (42)	44 (44)	0 (0)	28 (28)	114 (114)	0 (0)	17 (17)		
生産システム工学専攻(博士後期課程)	31 (31)	38 (38)	0 (0)	0 (0)	69 (69)	0 (0)	1 (1)		
グリーンシステム創成科学専攻(5年一貫制博士課程)	11 (11)	3 (3)	0 (0)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	1 (1)		
水産・環境科学総合研究科									
水産学専攻(博士前期課程)	27 (27)	17 (17)	0 (0)	7 (7)	51 (51)	0 (0)	0 (0)		
環境科学専攻(博士前期課程)	26 (26)	24 (24)	0 (0)	6 (6)	56 (56)	0 (0)	0 (0)		
環境海洋資源学専攻(博士後期課程)	38 (38)	31 (31)	0 (0)	7 (7)	76 (76)	0 (0)	12 (12)		
海洋フイールド生命科学専攻(5年一貫制博士課程)	14 (14)	10 (10)	0 (0)	1 (1)	25 (25)	0 (0)	10 (10)		
医歯薬学総合研究科									
保健学専攻(修士課程)	23 (23)	14 (14)	0 (0)	2 (2)	39 (39)	0 (0)	12 (12)		
災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)	8 (8)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (10)	0 (0)	26 (26)		
医療科学専攻(博士課程)	71 (71)	46 (46)	14 (14)	23 (23)	154 (154)	0 (0)	22 (22)		
新興感染症病態制御学系専攻(博士課程)	27 (27)	13 (13)	2 (2)	10 (10)	52 (52)	0 (0)	5 (5)		
放射線医療科学専攻(博士課程)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	10 (10)	0 (0)	2 (2)		
先進予防医学共同専攻(博士課程)	8 (9)	3 (3)	6 (6)	5 (5)	22 (23)	0 (0)	21 (21)		
生命薬科学専攻(博士前期課程)	14 (14)	15 (15)	0 (0)	6 (6)	35 (35)	0 (0)	0 (0)		
生命薬科学専攻(博士後期課程)	10 (10)	11 (11)	0 (0)	6 (6)	27 (27)	0 (0)	0 (0)		

教員組織の概要	新設分	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻(修士課程)	29 (29)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	36 (36)	0 (0)	18 (18)	
		計	693 (684)	571 (562)	52 (52)	305 (305)	1621 (1603)	1 (1)	557 (557)	
	既設分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
			— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
		計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	
合計			0	0	0	0	0	0	0	
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員		460人 (460人)		529人 (529人)		989人 (989人)			
	技 術 職 員		105人 (105人)		59人 (59人)		164人 (164人)			
	図 書 館 専 門 職 員		14人 (14人)		— (—)		14人 (14人)			
	そ の 他 の 職 員		1278人 (1278人)		736人 (736人)		2014人 (2014人)			
計			1857人 (1857人)		1324人 (1324人)		3181人 (3181人)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	278,151 m ²	0 m ²		0 m ²		278,151 m ²			
	運 動 場 用 地	101,151 m ²	12,796 m ²		0 m ²		113,947 m ²			
	小 計	379,302 m ²	12,796 m ²		0 m ²		392,098 m ²			
	そ の 他	162,672 m ²	107,490 m ²		0 m ²		270,162 m ²			
合 計		541,974 m ²	120,286 m ²		0 m ²		662,260 m ²			
校 舎	専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計				
	189,982 m ² (189,982 m ²)	0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		189,982 m ² (189,982 m ²)				
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	95 室	227 室	502 室	26 室 (補助職員 人)	6 室 (補助職員 人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数					
		大学全体			室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	(大学全体の共用分)		
	大学全体	1,097,000 [306,000] (1,024,000 [296,000])	23,400 [7,000] (24,300 [7,300])	20,400 [18,700] (20,900 [19,400])	10,300 (6,600)	11,783 (11,783)	80 (80)	図書 1,097,000 [306,000] (1,024,000 [296,000]) 視聴覚資料 10,300 (6,600)		
	計	1,097,000 [306,000] (1,024,000 [296,000])	23,400 [7,000] (24,300 [7,300])	20,400 [18,700] (20,900 [19,400])	10,300 (6,600)	11,783 (11,783)	80 (80)			
図 書 館	面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数						
	10,702 m ²	1,264 席		965,000 冊						
体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	12,541 m ²	運動場、弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等								
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	} 国費による	
	教員1人当り研究費等									
	共同研究費等									
	図書購入費									
	設備購入費									
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要										
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 の 名 称	長崎大学								
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
	【 学 部 】 多文化社会学部 多文化社会学科	年	人	年次 人	人		倍			
		4	100	—	200	学士(多文化社会学)	0.88	平成26年度	長崎市文教町1番14号	

既設大学等の状況	教育学部 学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.00	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
	経済学部 総合経済学科 昼間コース 夜間主コース	4 4	265 60	3年次 10 5	1260 250	学士(経済学)	1.02	平成10年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
	医学部 医学科 保健学科	6 4	116 106	2年次 5 3年次 14	721 452	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学)	1.00 1.00	平成28年度 平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号 長崎市坂本1丁目7番1号	
	歯学部 歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	昭和54年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
	薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	— —	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.02 1.04	平成18年度 昭和61年度	長崎市文教町1番14号	
	工学部 機械システム工学科 電気電子工学科 情報システム工学科 構造工学科 社会開発工学科 材料工学科 応用化学科 各学科共通 工学科	4 4 4 4 4 4 4 — 4	0 0 0 0 0 0 0 — 380	— — — — — — — 3年次 0 —	0 0 0 0 0 0 0 0 1520	学士(工学) " " " " " " " " 学士(工学)	1.04	平成2年度 平成10年度 " 昭和42年度 平成3年度 昭和45年度 平成3年度 平成18年度 平成23年度	長崎市文教町1番14号 " " " " " " " " 長崎市文教町1番14号	平成23年度より 学生募集停止。
	環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	575	学士(環境科学)	1.01	平成9年度	長崎市文教町1番14号	
	水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.03	昭和48年度	長崎市文教町1番14号	
	【研究科】 教育学研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	38	—	76	教職修士(専門職)	0.79	平成20年度	長崎市文教町1番14号	
	経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻 (博士後期課程) 経営意志決定専攻	2 3	15 3	— —	30 9	修士(経済学) 修士(経営学) 博士(経営学)	0.99 1.11	平成7年度 平成16年度	長崎市片淵4丁目2番1号 長崎市片淵4丁目2番1号	
	生産科学研究科 (博士後期課程) システム科学専攻 海洋生産科学専攻 環境科学専攻	3 3 3	0 0 0	— — —	0 0 0	博士(学術), 博士(工学), 博士(水産学), 博士(環境科学) " "	1.05	平成12年度 平成13年度 平成16年度	長崎市文教町1番14号 " "	
	工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻	2	220	—	420	修士(工学)	1.05	平成23年度	長崎市文教町1番14号	

既設大学等の状況	(博士後期課程) 生産システム工学専攻	3	15	—	35	博士(工学)		平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	(5年一貫性博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)		平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.98	平成23年度	長崎市文教町1番14号	} 平成27年度より 学生募集停止。
	環境共生政策学専攻	2	0	—	0	修士(環境科学) 修士(学術)		"	"	
	環境保全設計学専攻	2	0	—	0	"		"	"	
	環境科学専攻	2	25	—	25	修士(学術) 修士(環境科学)	0.84	平成27年度	長崎市文教町1番14号	
	(博士後期課程) 環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	1.02	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	(5年一貫性博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.56	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	医歯薬学総合研究科 (修士課程) 保健学専攻	2	20	—	40	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.02	平成14年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
	(博士課程) 医療科学専攻	4	62	—	248	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.12	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	新興感染症病態制御学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.01	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	放射線医療科学専攻	4	8	—	32	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.81	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.95	平成14年度	長崎市文教町1番14号	
(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.80	平成14年度	長崎市文教町1番14号		
国際健康開発研究科 (修士課程) 国際健康開発専攻	2	0	—	0	修士(公衆衛生学)		平成20年度	長崎市坂本1丁目12番4号	平成27年度より学生 募集停止。	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (修士課程) グローバルヘルス専攻	2	27	—	27	修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	1.14	平成27年度	長崎市坂本1丁目12番4号		
附属施設の概要	<p>(附置研究所) ○熱帯医学研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：昭和24年5月(昭和42年6月 風土病研究所から改称) 規模等：土地 91,231㎡ 建物 9,506㎡ 目的：熱帯医学に関する学理及びその応用を研究する。</p> <p>○原爆後障害医療研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成25年4月 規模等：土地 91,231㎡ 建物 4,719㎡ 目的：放射線の人体への影響を国内外のヒバクシャを対象として研究により究明して、人類の安全と安心に寄与する放射線健康リスク評価・管理学を 実践し、全人的被ばく医療学を推進するとともに、国際的な放射線被ばく 影響の実態調査、ヒバクシャの試料・資料の収集及びデータベースの 構築を行うことを目的とする。</p>									

<p>附属施設の概要</p>	<p>(附属学校)</p> <p>目的： (1)教育基本法及び学校教育法に定める教育又は保育を行う。 (2)教育学部における児童若しくは生徒の教育又は幼児の保育に関する研究に協力し、教育学部の計画に従い、学生の教育実習の実施にあたる。 (3)教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行う。</p> <p>○教育学部附属幼稚園 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地 51,185㎡ 建物 1,148㎡</p> <p>○教育学部附属小学校 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地（上記に含む） 建物 7,240㎡</p> <p>○教育学部附属中学校 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地（上記に含む） 建物 7,613㎡</p> <p>○教育学部附属特別支援学校 所在地：長崎市柳谷町42番1号 設置年月：昭和46年4月 規模等：土地 12,529㎡ 建物 3,518㎡</p> <p>(学部等の附属施設)</p> <p>○教育学部附属教育実践総合センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成13年4月（教育実践研究指導センターを改組） 規模等：土地 187,125㎡ 建物 532㎡ 目的：教育実践に関する研究、指導及び研修を総合的に行い、教師教育の充実を図る。</p> <p>○水産学部附属練習船鶴洋丸 設置年月：昭和50年6月（現船：平成16年12月） 規模等：アルミニウム合金船 155トン 最大搭載人員 36名 目的：航海・漁労実習、海洋環境観測、海洋生物資源調査</p> <p>○水産学部附属練習船長崎丸 設置年月：昭和27年3月（現船：昭和61年2月） 規模等：鋼船 842トン 最大搭載人員 69名 目的：トロール漁業実習、海洋学実習、航海運用実習</p> <p>○大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センター 所在地：長崎市多以良町1551番7号 設置年月：平成23年4月（環東シナ海海洋環境資源研究センターを改組） 規模等：土地 10,900㎡ 建物 2,649㎡ 目的：21世紀の最重要課題である地球環境保全及び食料供給の持続性確保に向けて、長崎に隣接する東シナ海及びその沿岸域を主な対象として国内外の研究機関とも緊密に連携しながら、水圏・大気圏・陸圏の環境保全及び多様な生物資源の持続的生産の基盤となる学際領域の研究を推進する拠点として機能することを目的とする。</p> <p>○医歯薬学総合研究科附属薬用植物園 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和47年5月（平成15年4月 薬学部附属施設から医歯薬学総合研究科附属施設へ移行） 規模等：土地 187,125㎡ 建物 445㎡ 目的：園内に薬用植物を栽培し、もって学術研究及び教育に資する。</p> <p>○熱帯医学研究所附属アジア・アフリカ感染症研究施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地 91,231㎡ 建物 74㎡ 目的：アジアやアフリカにおける熱帯病・新興再興感染症の発生・拡大に関する現地長期調査及び複合要因の解析並びに予防制圧に資する研究及び教育を行うことにより、当該分野の学術研究の進展及び人材育成に寄与する。</p> <p>○熱帯医学研究所附属熱帯医学ミュージアム 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地 91,230㎡ 建物 382㎡ 目的：熱帯医学に関する資料・情報を収集、整理、保存、解析及び提供するとともに、公衆への供覧等を行うことにより、熱帯医学に対する社会の理解を深め、学術研究の進展に寄与する。</p> <p>(附属病院)</p> <p>○長崎大学病院 所在地：長崎市坂本1丁目7番1号 設置年月：昭和24年5月（平成21年4月 医学部・歯学部附属病院を改組） 規模等：土地 86,807㎡ 建物 91,169㎡ 目的：患者の診療を通じて医歯薬学関連の教育及び研究を行う。</p>
----------------	--

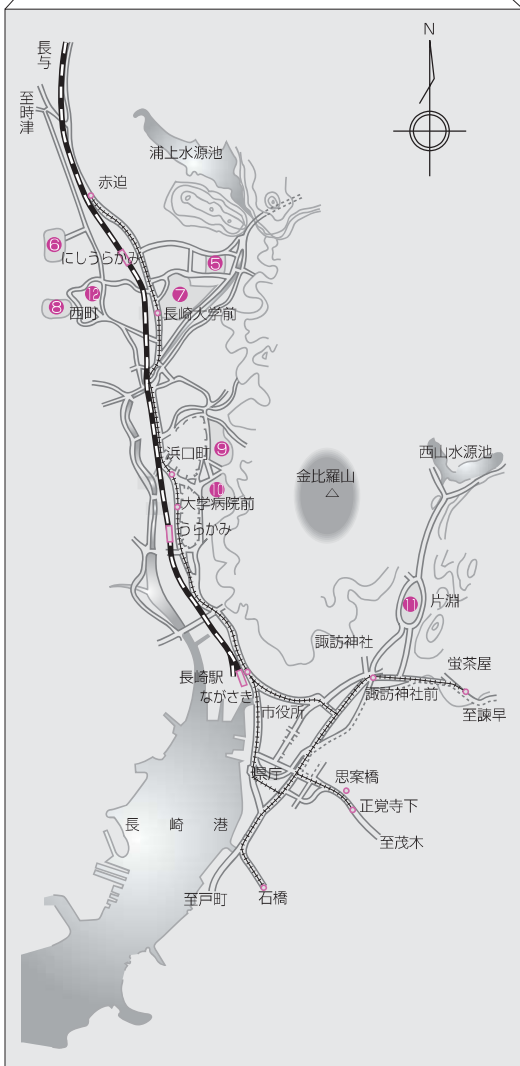
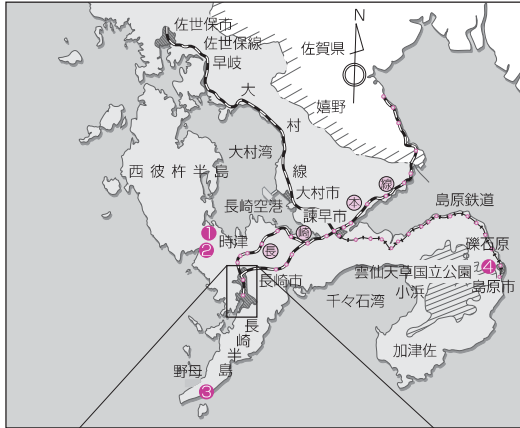
<p>附属施設の概要</p>	<p>(学内共同教育研究施設等)</p> <p>○保健・医療推進センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和41年4月(平成20年4月 保健管理センターを改組) 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 540㎡ 目的：長崎大学の学生及び職員の健康を守り、予防に努めるとともに、保健・医療分野での医療教育、本学の地域連携及び地域貢献を県及び自治体と連携し、推進する。</p> <p>○先導生命科学研究支援センター 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成15年4月(アイソトープ総合センター、遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設を統合再編) 規模等：土地 91, 231㎡ 建物 9, 818㎡ 目的：放射性同位元素等、動物資源及びゲノム情報・遺伝子を用いる教育研究にその施設等を供するとともに、本学における総合的な生命科学研究の推進及び支援を行い、もって教育研究の進展に資する。</p> <p>○ICT基盤センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成16年12月(総合情報処理センターを改組) 研究科附属施設へ移行) 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 1, 189㎡ 目的：ICTを活用した教育研究環境を提供するため、情報政策の企画立案・実施、高度情報化技術に基づく情報基盤の整備、教育の情報化及び情報教育の推進を行うことを目的とする。</p> <p>○大学教育イノベーションセンター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成14年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 779㎡ 目的：本学の教育理念を達成するために、学士課程教育及び大学教育の在り方に関する研究を行うとともに、その改善に資するデータ蓄積とそれを活用した入学者選抜支援、教育支援等の業務を行うことを目的とする。</p> <p>○先端計算研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成22年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 405㎡ 目的：次世代並列コンピュータに関する研究開発及び教育を推進し、次世代並列コンピュータを利用した新たな産業創出に資する。</p> <p>○言語教育研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 400㎡ 目的：本学における外国語教育に関する教育及び研究を推進するとともに、外国語教育の実施に関する企画運営を行う。</p> <p>○核兵器廃絶研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 230㎡ 目的：ヒロシマ・ナガサキを現在の世界の潮流の中で新たに位置づけ、学問的調査・分析を通して核兵器廃絶に向けた情報や提言を様々な角度から世界に発信するため、長崎市、長崎県等と連携を図りながら核兵器廃絶に係る教育研究活動を行うことにより、もって本学の教育研究の進展に資する。</p>	
----------------	---	--

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

位置関係の図面

長崎大学位置図



- ① 臨海研修所
- ② 水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センター
- ③ 野母崎研究施設
- ④ 九州地区国立大学島原共同研修センター
- ⑤ 教育学部附属幼稚園, 附属小学校, 附属中学校
- ⑥ 教育学部附属特別支援学校
- ⑦ 産学官連携戦略本部, 広報戦略本部, 研究推進戦略本部, 国際教育リエゾン機構, 監査室, 事務局, 多文化社会学部, 教育学部, 教育学研究科, 附属教育実践総合センター, 薬学部, 工学部, 環境科学部, 水産学部, 附属図書館, 工学研究科, 水産・環境科学総合研究科, 医歯薬学総合研究科(薬学系), 附属薬用植物園, 保健・医療推進センター, ICT 基盤センター, 大学教育イノベーションセンター, 先端計算研究センター, 言語教育研究センター, 核兵器廃絶研究センター, 学務情報推進室, やってみゅーでスク, ダイバーシティ推進センター, 先端創薬イノベーションセンター, 地域教育連携・支援センター, 障がい学生支援室, 福島未来創造支援研究センター
- ⑧ 国際交流会館
- ⑨ 国際連携研究戦略本部, **医学部(医学科)**, 熱帯医学研究所, 原爆後障害医療研究所, 医歯薬学総合研究科(医学系), 国際健康開発研究科, 先端生命科学支援センター, 附属図書館(医学分館), 熱帯医学・グローバルヘルス研究科
- ⑩ 病院, 歯学部, 医歯薬学総合研究科(保健学系・歯学系), 医学部(保健学科), 国際交流会館坂本分館
- ⑪ 経済学部, 経済学研究科, 附属図書館(経済学部分館)
- ⑫ 国際学寮ホルテンシア

最寄駅からの図面・キャンパス間の移動関係



■坂本キャンパス

●JR 長崎駅から

路面電車

「長崎駅前」→(赤迫行き)→「浜口町」下車→徒歩

長崎バス

「長崎駅前」→(8番系統下大橋行き(医学部経由))→「医学部前」下車

●JR 浦上駅から

路面電車

「浦上駅前」→(赤迫行き)→「浜口町」下車→徒歩

●長崎空港から

県営バス

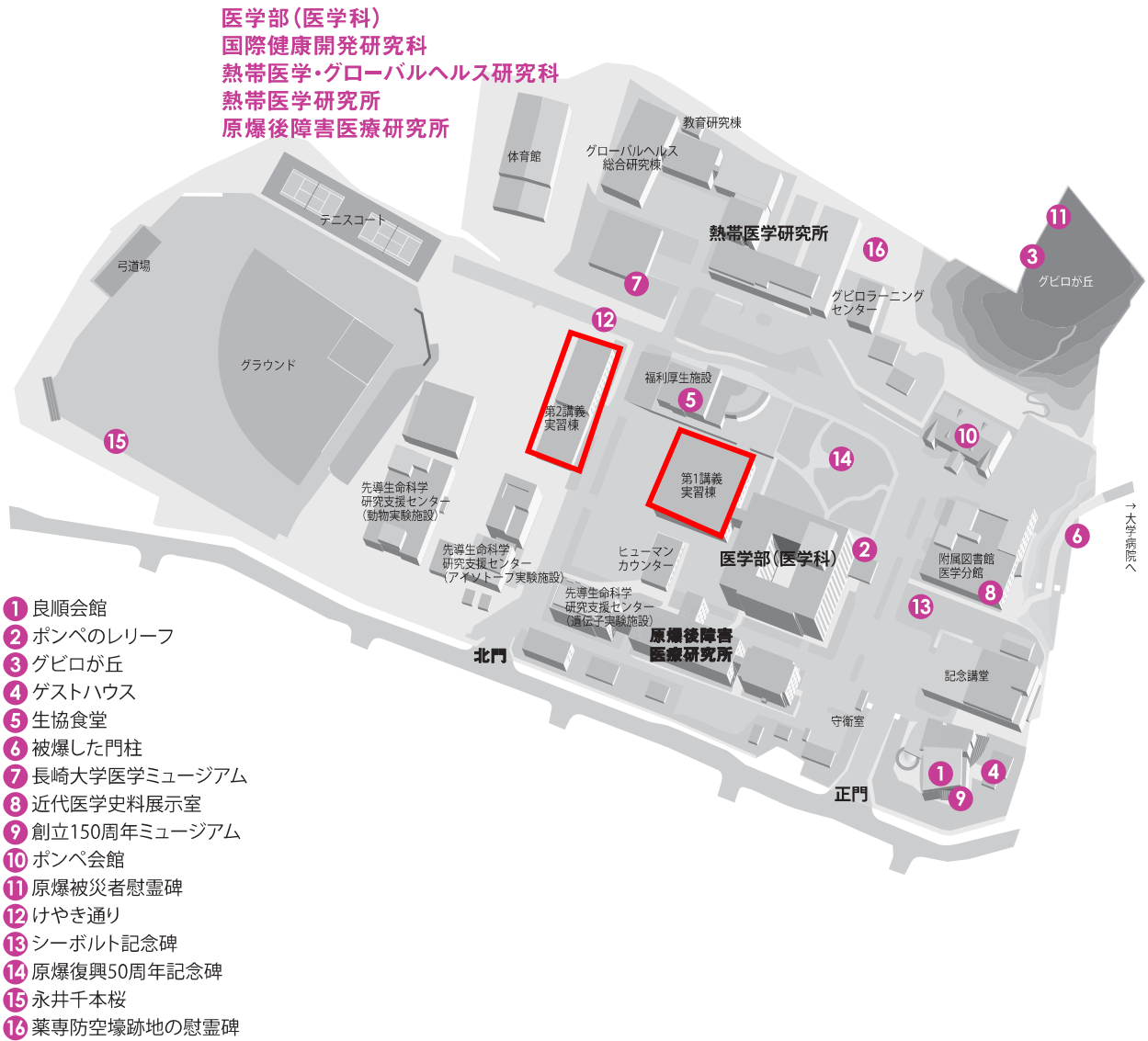
「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行き)→「浦上駅前」下車→(「JR 浦上駅から」へ)

■坂本キャンパス(医学部)と文教キャンパス(全学教育)間の移動関係

- 1) 距離 2 km, 移動時間 20 分, 交通手段は路面電車「浜口町」～「長崎大学前」
- 2) 全学教育は, 1 年次が水曜日・木曜日・金曜日, 2 年次が月曜日・火曜日に文教キャンパスで受講することにして, 専門教育との受講日を曜日で分け, 同じ日にキャンパス間の移動がないようにしている。

校舎・運動場等の配置図

坂本キャンパス ①



坂本キャンパス ②

医学部(保健学科)
歯学部
大学病院

- ① すかいらうんじ ぼんぺ
- ② 水壺を捧げる子供の像
- ③ 被爆したクスノキ
- ④ 院内ぎやらリー
- ⑤ コリドール
(外来と病棟をつなぐ回廊)
- ⑥ 長崎医科大学附属病院碑
- ⑦ ローソン
- ⑧ 福利厚生施設(生協食堂)
- ⑨ // (売店)



長崎大学学則の変更の事由及び変更点

変更の事由

医学部医学科の入学定員を見直すため、所要の改正を行うものである。

変更点

医学部医学科の入学定員及び収容定員に関する規定を整備すること。

○長崎大学学則（改正案）

平成16年4月1日

学則第1号

目次

第1章 総則（第1条—第3条）

第2章 修業年限，在学期間，学年，学期及び休業日（第4条—第9条）

第3章 入学，編入学，転入学，転学部等，休学，復学，留学，退学，転学，再入学及び除籍（第10条—第28条）

第4章 教育課程の編成，授業科目の区分等，単位，履修方法，考查及び単位の授与（第29条—第44条）

第5章 卒業及び学位並びに教員の免許状授与の所要資格の取得（第45条—第48条）

第6章 賞罰（第49条・第50条）

第7章 検定料，入学料，授業料及び寄宿料（第51条—第60条）

第8章 科目等履修生，研究生，特別聴講学生，特別の課程及び外国人留学生（第61条—第65条）

第9章 雑則（第66条・第67条）

附則

第1章 総則

（目的）

第1条 長崎大学（以下「本学」という。）は，国立大学法人長崎大学基本規則（平成16年規則第1号）第3条に規定する理念に基づき，実践教育を重視した最高水準の教育を提供し，幅広い視野と豊かな教養及び深い専門知識を備え，課題探求能力及び創造力に富んだ人材を養成し，もって地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

2 本学の学部の修業年限，教育課程，教育研究組織その他の学生の修学上必要な事項については，この学則の定めるところによる。

（教育研究上の目的の公表等）

第1条の2 各学部は，学部，学科又は課程ごとに，人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学部規程に定め，公表するものとする。

（学部，学科，課程及び収容定員）

第2条 本学の学部に，次の学科及び課程を置く。

学部	学科及び課程
多文化社会学部	多文化社会学科
教育学部	学校教育教員養成課程

経済学部	総合経済学科
医学部	医学科, 保健学科
歯学部	歯学科
薬学部	薬学科, 薬科学科
工学部	工学科
環境科学部	環境科学科
水産学部	水産学科

2 経済学部は昼夜開講制とし、昼間に授業を行うコース（以下「昼間コース」という。）及び主として夜間に授業を行うコース（以下「夜間主コース」という。）を置く。

3 収容定員は、別表第1のとおりとする。

（講座等）

第3条 前条第1項に掲げる学部又は学科に、講座、学科目等を置く。

2 前項の講座、学科目等は、別に定める。

第2章 修業年限、在学期間、学年、学期及び休業日

（修業年限）

第4条 学部の修業年限は、4年とする。ただし、医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科にあつては、6年とする。

（入学前に一定の単位を修得した者の修業年限の通算）

第5条 大学の学生以外の者が第61条に規定する科目等履修生として一定の単位（第11条に規定する入学資格を有した後、修得したものに限る。）を修得した後に本学に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、修得した単位数その他の事項を勘案して所属学部教授会の議を経て学長が定める期間を修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、修業年限の2分の1を超えてはならない。

（在学期間）

第6条 本学における在学期間は、修業年限の2倍を超えることができない。

（学年）

第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

（学期）

第8条 学年を分けて、次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、学部の事情により、学長が変更することがある。

(休業日)

第9条 休業日は、次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

開学記念日 5月31日

春季休業 3月21日から4月7日まで

夏季休業 8月11日から9月30日まで

冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで

2 前項の規定にかかわらず、学部の事情により、学長が変更することがある。

3 学長は、必要があると認めるときは、臨時の休業日を定めることができる。

第3章 入学、編入学、転入学、転学部等、休学、復学、留学、退学、転学、再入学及び除籍

(入学の時期)

第10条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、後期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

(入学志願の手続)

第12条 入学志願者は、所定の手続により、願い出なければならない。

(選抜試験)

第13条 入学志願者に対しては、長崎大学入学者選抜規則(平成16年規則第16号)の定めるところにより、選抜試験を行う。

(合格者の決定)

第14条 前条の選抜試験による合格者の決定は、各学部教授会の議を経て、学長が行う。

(編入学定員を有する学部への編入学)

第15条 経済学部、医学部保健学科又は環境科学部の第3年次に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、当該学部が別に定める出願資格を有する者とし、選抜試験を行った上、当該学部教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(第11条に規定する入学資格を有する者に限る。)

2 医学部医学科の第2年次に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とし、選抜試験を行った上、当該学部教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(欠員のある場合の編入学及び転入学)

第16条 次の各号のいずれかに該当する者については、欠員のある場合に限り、選考の上、当該学部教授会の議を経て、学長が入学を許可することがある。

- (1) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者で、編入学を志望するもの
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者で、編入学を志望するもの
- (3) 教育学部若しくは学芸学部の2年課程を修了した者又は学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に規定する従前の規定による学校の課程を修了し、若しくはこれらの学校を卒業した者で、編入学を志望するもの
- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者で、編入学を志望するもの
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者で、編入学を志望するもの
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、編入学を志望するもの
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(第11条に規定する入学資格を有する者に限る。)で、編入学を志望するもの
- (8) 他の大学に在学する者又は卒業し、若しくは退学した者で、転入学を志望するもの
- (9) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者又は当該課程を修了し、若しくは退学した者で、転入学を志望するもの(第11条に規定する入学資格を有する者に限る。)

2 前項各号に掲げるもののほか、医学又は歯学の進学課程を修了した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者の編入学については、医学部又は歯学部が別に定める。

(編入学又は転入学を許可された者の修業年限等)

第17条 前2条の規定により入学を許可された者の入学する前に履修した授業科目について修得した単位及び入学する前に行った第37条第1項に規定する学修の取扱い並びに在学すべき年数については、所属学部教授会の議を経て、学長が定める。

2 前項の規定により在学すべき年数を定められた者の在学期間は、第6条の規定にかかわらず、在学すべき年数の2倍を超えることができない。

3 第1項の規定により在学すべき年数を定められた者の休学期間は、第22条第2項の規定にかかわらず、在学すべき年数に相当する年数を超えることができない。

(入学手続)

第18条 選抜試験又は選考の結果に基づき、入学の合格通知を受けた者は、所定の期日までに次の手続をしなければならない。

(1) 入学料を納付すること。

(2) 誓約書及び保証書を提出すること。ただし、第64条に規定する外国人留学生については、誓約書のみ提出とする。

2 保証書の保証人は、原則として父母又はこれに準ずる者とし、学生と連帯して責任を負うものとする。保証人又は保証人の住所に変更があった場合は、速やかに届け出なければならない。

(入学許可)

第19条 学長は、前条の入学手続（第53条の規定により、入学料の免除又は徴収猶予の申請を行った者は、前条第1号の手続を除く。）を完了した者に入学を許可する。

2 学長は、入学を許可した者に対して、入学時に学生証を交付する。

(転学部等)

第20条 学生から転学部の願い出があったときは、関係学部教授会の議を経て、学長が許可することがある。

2 前項の規定により転学部を許可された者の修業年限等に関しては、第17条の規定を準用する。

3 前2項の規定は、学科及び課程を変更する場合について準用する。この場合において、第1項中「関係学部教授会」とあるのは「所属学部教授会」と読み替えるものとする。

(休学)

第21条 学生が疾病その他の理由により、引き続き2か月以上修学を中止しようとするときは、所属学部長を経て、学長に休学を願い出て、許可を受けなければならない。

(休学期間)

第22条 休学は、引き続き1年を超えることができない。ただし、特別の理由があるときは、更に1年以内の休学を許可することがある。

2 休学期間は、通算して4年（医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科にあつては6年）を超えることができない。

3 休学期間は、第6条及び第45条の期間に算入しない。

(復学)

第23条 休学期間が満了したとき又は休学期間中にその理由がなくなったときは、所属学部長を経て、学長に復学を願い出て、許可を受けなければならない。

(留学)

第24条 学長は、学生が外国の大学又は短期大学で学修することが教育上有益であると所属学部教授会において認めるときは、あらかじめ、当該外国の大学又は短期大学と協議の上、学生が当該外国の大学又は短期大学に留学することを認めることがある。

2 留学の期間は、第6条及び第45条の期間に算入する。

(退学)

第25条 学生が退学しようとするときは、所属学部長を経て、学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(転学)

第26条 学生が他の大学に転学しようとするときは、所属学部長を経て、学長に願い出て、受験の許可を受けなければならない。

(再入学)

第27条 第25条による退学者が、退学後2年以内に退学前に所属していた学部の学科又は課程に再入学を願い出た場合は、当該学部教授会の議を経て、学長が許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者については、本学退学時までの在学期間、休学期間、留学期間及び停学期間は入学後の当該期間に通算するものとし、既に履修した授業科目について修得した単位の取扱いについては当該学部教授会の議を経て、学長が定めるものとする。

(除籍)

第28条 学生が次の各号の一に該当するときは、所属学部教授会の議を経て、学長がこれを除籍する。

- (1) 正当の理由なくして欠席が長期にわたるとき。
- (2) 成業の見込みがないと認めたとき。
- (3) 在学期間が修業年限の2倍を超えたとき又は休学期間が第22条第2項の期間を超えたとき。
- (4) 休学期間が満了しても復学の願い出をしないとき。
- (5) 授業料を納めないとき。
- (6) 第53条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請した者で、次に掲げるものが納めるべき入学料を所定の期日までに納めないとき。
 - ア 免除又は徴収猶予が許可されなかったもの
 - イ 入学料の一部の免除が許可されたもの
 - ウ 徴収猶予が許可されたもの

第4章 教育課程の編成、授業科目の区分等、単位、履修方法、考査及び単位の授与

(教育課程の編成)

第29条 教育課程は、本学、学部及び学科又は課程の教育上の目的を達成するため、大学教育における基本的教養を会得させ併せて専門の幅広い基盤を理解させることを目的とした教養教育に関する授業科目（以下「教養教育科目」という。）及び学部等の専攻に係る専門教育に関する授業科目（以下「専門教育科目」という。）を有機的に組み合わせて、体系的に編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

(授業科目の区分)

第30条 教養教育科目の区分は、次のとおりとする。ただし、夜間主コースにあつては健康・スポー

ツ科学科目を除くものとする。

教養ゼミナール科目

情報科学科目

健康・スポーツ科学科目

外国語科目

全学モジュールⅠ科目

全学モジュールⅡ科目

学部モジュール科目

自由選択科目

- 2 専門教育科目の区分は、各学部の履修に関する規程（以下「学部規程」という。）の定めるところによる。
- 3 第64条に規定する外国人留学生及び外国人留学生以外の学生で外国において相当の期間中等教育（中学校又は高等学校に対応する学校における教育をいう。）を受けた者（以下この章において「外国人留学生等」という。）の教育について必要があると認めるときは、第1項に規定する科目のほか、留学生用科目を開設する。
- 4 各授業科目を、必修科目、選択科目及び自由科目に分ける。

（授業科目の開設）

第31条 教養教育科目は、本学のすべての教員の参画により開設するものとする。

- 2 専門教育科目は、各学部の教員により開設するものとする。

（授業の方法）

第32条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

（1単位当たりの授業時間）

第33条 1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じた1単位当たりの授業時間は、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については15時間
- (2) 演習については30時間
- (3) 実験、実習及び実技については45時間

- 2 前項の基準どおりできない事情があるとき又は教育効果を考慮して必要があるときは、前項第1号の講義及び前項第2号の演習については15時間から30時間の範囲で、前項第3号の実験、実習及

び実技については30時間から45時間の範囲で、学部規程又は長崎大学教養教育履修規程（平成24年規程第2号。以下「教養教育履修規程」という。）において定めることができる。ただし、講義、演習、実験、実習又は実技の併用により行う授業及び芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、学部規程又は教養教育履修規程の定める時間の授業をもって1単位とすることができる。

- 3 前2項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（授業期間）

第34条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

（成績評価基準等の明示等）

第34条の2 各学部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各学部は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第34条の3 各学部は、当該学部の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（他学部における授業科目の履修等）

第35条 学生が他学部の授業科目を履修することが教育上有益であると各学部において認めるときは、当該授業科目を履修させることができる。

- 2 学生は、他学部の開設する授業科目を履修しようとするときは、所属学部長を経て、当該授業科目を開設する学部長の承認を受けなければならない。
- 3 前2項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位の取扱いは、学部規程の定めるところによる。

（本学大学院における授業科目の履修等）

第35条の2 学生が本学大学院に進学を希望し、当該大学院の授業科目を履修することが教育上有益であると各学部において認めるときは、当該授業科目を履修させることができる。

- 2 学生は、本学大学院の開設する授業科目を履修しようとするときは、所属学部長を経て、当該授業科目を開設する研究科長の承認を受けなければならない。
- 3 第1項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位は、所属学部の卒業の要件として学部規程で定める学生が修得すべき単位数（以下「卒業要件単位」という。）に含めることはできない。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第36条 学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することが教育上有益であると各学部において認めるときは、あらかじめ当該他の大学又は短期大学と協議の上、学生が当該他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認め、その履修した授業科目について修得した単位は60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、第24条の規定により留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第37条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修について、教育上有益であると認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定により与えることができる単位数は、前条の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第38条 学生が本学に入学する前に次の各号の一に該当する単位を有する場合において、教育上有益であると認めるときは、その単位を入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(1) 大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位

(2) 大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生として修得した単位

2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修について、教育上有益であると認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第36条及び前条第1項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第39条 学生が職業を有している等の事情により、第4条に規定する修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、長崎大学長期履修規程(平成18年規程第47号)の定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

(外国人留学生等に係る留学生用科目の単位の取扱い)

第40条 外国人留学生等が留学生用科目について修得した単位は、教養教育履修規程の定めるところ

により、教養教育科目として修得すべき単位に代えることができる。

(履修科目の登録の上限)

第41条 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業要件単位について、学生が1学年又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を学部規程で定めることができる。

2 前項の場合において、学部規程の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に規定する上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

(考查及び単位の授与)

第42条 学生が一の授業科目を履修した場合には、考查を行い、合格した者に対しては、単位を与える。

2 考查は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。

第43条 考查及び単位の認定は、学部規程又は教養教育履修規程の定めるところによる。

(履修方法等)

第44条 この章に定めるもののほか、教育課程の編成、授業科目の名称、単位数、履修方法、履修科目の登録の上限、考查及び単位の授与等については、学部規程及び教養教育履修規程の定めるところによる。

第5章 卒業及び学位並びに教員の免許状授与の所要資格の取得

(卒業及び学位の授与)

第45条 第4条に規定する期間(第15条及び第16条の規定により入学を許可された者については、第17条第1項の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、卒業要件単位を修得した者については、所属学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学士の学位を授与する。ただし、各学部において必要と認めるときは、在学期間及び卒業要件単位に加え、卒業の要件を課すことができる。

2 卒業要件単位のうち、第32条第2項の授業の方法により修得できる単位数は、別に定めのある場合を除き60単位を超えないものとする。

第46条 学部(医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科を除く。この条において同じ。)に3年以上在学した者(これに準ずるものとして文部科学大臣の定める者を含む。)が、卒業要件単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、第4条の規定にかかわらず、その卒業を認めることができる。

2 前項に規定する卒業の認定は、次の各号に掲げる要件のすべてに該当する場合に限り行うことができる。

- (1) 学修の成果に係る評価の基準その他の前項に規定する卒業の認定の基準を定め、それを公表している学部の学生であること。
- (2) 第41条に規定する履修科目として登録することができる単位数の上限を定め、適切に運用している学部の学生であること。
- (3) 学生が卒業要件単位を修得し、かつ、当該単位を優秀な成績をもって修得したと認められること。

(4) 学生が前項に規定する卒業を希望していること。

第47条 学位の授与等については、長崎大学学位規則（平成16年規則第11号）の定めるところによる。

（教員の免許状授与の所要資格の取得）

第48条 本学の学部の学科等において、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める所要の単位を修得した者は、教員の免許状授与の所要資格を取得することができる。

2 前項の規定により所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、別表第2のとおりとする。

第6章 賞罰

（賞罰）

第49条 学生として表彰に値する行為があった場合は、学長は、所属学部長等の推薦により表彰することがある。

第50条 学生が本学の規則に背き大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反する行為があったときは、長崎大学教育研究評議会の議を経て、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

3 停学は、確定期限を付す有期の停学及び確定期限を付さない無期の停学とする。

4 停学の期間が1か月以上にわたるときは、その期間は、第6条の期間に算入し、第45条及び第46条の卒業の要件として在学すべき期間に算入しない。

第7章 検定料，入学料，授業料及び寄宿料

（検定料）

第51条 入学，転入学，編入学及び再入学を志願する者は、検定料を納めなければならない。

（検定料等の額及びその徴収方法等）

第52条 検定料，入学料及び授業料の額並びに徴収方法等は、この学則に定めるもののほか、長崎大学授業料，入学料，検定料及び寄宿料徴収規程（平成16年規程第92号。以下「徴収規程」という。）の定めるところによる。

（入学料の免除及び徴収猶予）

第53条 特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者については、本人の願い出により、入学料の全部又は一部を免除し、又は徴収猶予することがある。

2 入学料の免除及び徴収猶予については、長崎大学入学料，授業料及び寄宿料の免除等に関する規程（平成16年規程第93号。以下「免除規程」という。）の定めるところによる。

（授業料の納期）

第54条 授業料は、前期分及び後期分の2回に分け、それぞれ年額の2分の1に相当する額を次に定める期間に納めなければならない。

前期分 4月1日から4月30日まで

後期分 10月1日から10月31日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、前期分に係る授業料を納めるときに、当該年度の後期分に係る授業料を併せて納めることができる。
- 3 入学年度の前期分又は前期分及び後期分に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可されるときに納めることができる。

(授業料の免除及び徴収猶予)

第55条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者その他やむを得ない事情があると認められる者に対しては、願い出によりその事情を審査し、授業料の全部又は一部を免除し、又は徴収猶予することがある。

- 2 前項の授業料の免除及び徴収猶予については、この学則に定めるもののほか、免除規程の定めるところによる。

第56条 前条に規定する授業料の徴収猶予の期限は、前期分は9月15日限りとし、後期分は3月15日限りとする。

第57条 第54条に規定する授業料の納期中に休学を許可された者については、休学当月の翌月から復学当月の前月までの授業料を免除する。ただし、月の初日から休学期間が開始する場合については休学当月の分、第8条第2項及び第9条第2項の規定により後期の開始日が10月1日前となる場合で当該後期の開始日に復学するときについては復学当月の分についても免除する。

第58条 退学する者、転学する者、停学を命ぜられた者又は除籍される者については、その期分の授業料を徴収する。ただし、免除規程の規定に該当する場合は、この限りでない。

(寄宿料)

第59条 寄宿料の額及び徴収方法等については、徴収規程の定めるところによる。

- 2 学生に特別の事情がある場合は、寄宿料を免除することがある。
- 3 寄宿料の免除については、免除規程の定めるところによる。

(料金の返還)

第60条 既納の料金は、返還しない。ただし、次の各号の一に該当する場合は、当該料金の相当額(第2号の場合にあつては第1号に規定する第2段階目の選抜に係る検定料に相当する額を、第4号の場合にあつては後期分の授業料相当額)を返還するものとする。

- (1) 選抜試験において、出願書類等による選抜(以下「第1段階目の選抜」という。)を行い、その合格者に限り学力検査等による選抜(以下「第2段階目の選抜」という。)を行い、最終合格者を決定する場合に、第1段階目の選抜の不合格者が、所定の期日までに第2段階目の選抜に係る検定料の返還を申し出たとき。
- (2) 個別学力検査の前期日程又は後期日程(以下「前期又は後期試験」という。)の出願受付後に各学部等が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことにより受験資格がないことが判明した者が、所定の期日までに前期又は後期試験に係る検定料の返還を申し出たとき。

(3) 第54条第3項の規定により入学を許可されるときに授業料を納めた者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退し、授業料の返還を申し出たとき。

(4) 第54条第2項又は第3項の規定により前期分の授業料を納入する際に後期分の授業料を併せて納入した者が、後期分の授業料の納入時期前に休学又は退学したとき。

第8章 科目等履修生，研究生，特別聴講学生，特別の課程及び外国人留学生

(科目等履修生)

第61条 各学部の学生以外の者で、本学が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目について履修を希望するものがあるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

(研究生)

第62条 本学において特殊の事項について研究を希望する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

(特別聴講学生)

第63条 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）の学生で、本学の特定の授業科目を履修することを希望するものがあるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。

3 特別聴講学生に係る授業料については、科目等履修生と同様とする。

4 前項の規定にかかわらず、特別聴講学生が大学間交流協定において授業料を徴収しないこととしている外国の大学若しくは短期大学の学生又は大学間相互単位互換協定において授業料を徴収しないこととしている大学若しくは短期大学の学生であるときは、授業料を徴収しない。

5 既納の授業料は、返還しない。

6 実験，実習に要する実費は，必要に応じ特別聴講学生の負担とする。

(特別の課程)

第63条の2 学長は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

2 本学の学生が前項に規定する特別の課程を履修することが教育上有益であると認めるときは、当該課程を履修させることができる。

(外国人留学生)

第64条 外国人留学生として本学に入学を希望する者があるときは、選考の上、入学を許可することがある。

(規程)

第65条 第61条から前条までに関する細部についての規則は、別に定める。

第9章 雑則

(寄宿舍)

第66条 本学に、寄宿舎を置く。

2 寄宿舎に関する規則は、別に定める。

(保健)

第66条の2 学生は、毎学年本学が行う健康診断を受けなければならない。

2 所属学部長は、学生の健康を管理し、必要に応じて治療を命じ、又は登学を停止することができる。

(補則)

第67条 この学則の施行に必要な事項は学長が定め、各学部に必要な規程については、学長の承認を得て、各学部長が定めるものとする。

附 則 (平成 年 月 日学則第 号)

1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

2 改正後の別表第1 医学部の項及び同表合計の項の入学定員及び収容定員は、平成29年度までの入学定員及び収容定員とする。

3 医学部の収容定員及び収容定員の合計は、改正後の別表第1 医学部の項及び同表合計の項の規定にかかわらず、平成28年度から平成32年度までについては、次のとおりとする。

学部	学科・課程	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
医学部	医学科	723	725	722	719	698
	保健学科	452	452	452	452	452
	計	1,175	1,177	1,174	1,171	1,150
合計		7,055	7,057	7,054	7,051	7,030

別表第1

学部	定員		入学定員	第3年次（医学部医学科にあっては第2年次）編入学定員	収容定員
	学科・課程				
多文化社会学部	多文化社会学科		100		400
	計		100		400
教育学部	学校教育教員養成課程		240		960
	計		240		960
経済学部	総合経済学科	昼間コース	265		1,060
		夜間主コース	60		

			15	30
	計	325	15	1,330
医学部	医学科	118	5	733
	保健学科	106	14	452
	計	224	19	1,185
歯学部	歯学科	50		300
	計	50		300
薬学部	薬学科	40		240
	薬科学科	40		160
	計	80		400
工学部	工学科	380		1,520
	計	380		1,520
環境科学部	環境科学科	130	5	530
	計	130	5	530
水産学部	水産学科	110		440
	計	110		440
合計		1,639	39	7,065

別表第2

学部	学科等	教員の免許状の種類（免許教科・領域）	
多文化社会学部	多文化社会学科	高等学校教諭一種免許状	(英語)
教育学部	学校教育教員養成課程	幼稚園教諭一種免許状	
		小学校教諭一種免許状	
		小学校教諭二種免許状	
		中学校教諭一種免許状	(国語, 社会, 数学, 理科, 音楽,

		中学校教諭二種免許状	美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語)
		高等学校教諭一種免許状	(国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 書道, 保健体育, 家庭, 情報, 工業, 英語)
		特別支援学校教諭一種免許状	(知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者)
経済学部	総合経済学科	高等学校教諭一種免許状	(商業)
工学部	工学科	高等学校教諭一種免許状	(数学, 理科, 工業)
水産学部	水産学科	高等学校教諭一種免許状	(理科, 水産)

長崎大学学則の一部を改正する学則（案）

長崎大学学則（平成16年学則第1号）の一部を、次の新旧対照表のように改正する。

新		旧																	
<p>第1章 総則</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 長崎大学（以下「本学」という。）は、国立大学法人長崎大学基本規則（平成16年規則第1号）第3条に規定する理念に基づき、実践教育を重視した最高水準の教育を提供し、幅広い視野と豊かな教養及び深い専門知識を備え、課題探求能力及び創造力に富んだ人材を養成し、もって地域及び国際社会に貢献することを目的とする。</p> <p>2 本学の学部の修業年限、教育課程、教育研究組織その他の学生の修学上必要な事項については、この学則の定めるところによる。</p> <p>第1条の2 略</p> <p>(学部、学科、課程及び収容定員)</p> <p>第2条 本学の学部に、次の学科及び課程を置く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科及び課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〽 略 〽</td> <td>〽 略 〽</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>医学科、保健学科</td> </tr> <tr> <td>〽 略 〽</td> <td>〽 略 〽</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 略</p>		学部	学科及び課程	〽 略 〽	〽 略 〽	医学部	医学科、保健学科	〽 略 〽	〽 略 〽	<p>第1章 同左</p> <p>第1条 同左</p> <p>第1条の2 同左</p> <p>第2条 同左</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>学科及び課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〽 同左 〽</td> <td>〽 同左 〽</td> </tr> <tr> <td>同左</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>〽 同左 〽</td> <td>〽 同左 〽</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 同左</p>		学部	学科及び課程	〽 同左 〽	〽 同左 〽	同左	同左	〽 同左 〽	〽 同左 〽
学部	学科及び課程																		
〽 略 〽	〽 略 〽																		
医学部	医学科、保健学科																		
〽 略 〽	〽 略 〽																		
学部	学科及び課程																		
〽 同左 〽	〽 同左 〽																		
同左	同左																		
〽 同左 〽	〽 同左 〽																		

3 収容定員は，別表第1のとおりとする。

第3条 略

第2章～第9章 略

附 則

- 1 この学則は，平成28年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1医学部の項及び同表合計の項の入学定員及び収容定員は，平成29年度までの入学定員及び収容定員とする。
- 3 医学部の収容定員及び収容定員の合計は，改正後の別表第1医学部の項及び同表合計の項の規定にかかわらず，平成28年度については，次のとおりとする。

学部	学科・課程	平成28年度
医学部	医学科	723
	保健学科	452
	計	1,175
合計		7,055

別表第1

学部	学科・課程	入学定員	第3年次（医学部医学科にあつては第2年次）編入学定員	収容定員
〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽
医学部	医学科	118	5	725

3 同左

第3条 同左

第2章～第9章 同左

別表第1

学部	学科・課程	入学定員	第3年次（医学部医学科にあつては第2年次）編入学定員	収容定員
〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽
同左	同左	116	同左	721

	保健学科	1 0 6	1 4	4 5 2
	計	<u>2 2 4</u>	1 9	<u>1, 1 7 7</u>
〵	〵	〵	〵	〵
略	略		略	略
〵	〵	〵	〵	〵
合計		<u>1, 6 3 9</u>	3 9	<u>7, 0 5 7</u>

別表第2 略

	同左	同左	同左	同左
	計	<u>2 2 2</u>	同左	<u>1, 1 7 3</u>
〵	〵	〵	〵	〵
同左	同左		同左	同左
〵	〵	〵	〵	〵
合計		<u>1, 6 3 7</u>	同左	<u>7, 0 5 3</u>

別表第2 同左

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類

1. 収容定員変更の内容

平成28年度から長崎大学医学部医学科の入学定員を116名から118名とし、収容定員を721名から733名とする。

2. 収容定員変更の必要性

長崎県の医師数は、人口10万人当たり287.6人（厚生労働省大臣官房統計情報部「平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査」）で、全国平均235.8人を上回っているが、地域偏在が顕著であり、離島・へき地においては、県南地区170.8人、五島地区183.5人、上五島地区150.5人、壱岐地区130.6人、対馬地区169.4人と深刻な医師不足となっている。【長崎県の医師の状況（資料1）参照】

以上の状況を、喫緊の課題として捉え、平成20年度入学者から地域枠をAO入試に設け、平成21年度には「緊急医師確保対策（H19.5）」により一般入試枠の定員を5名増、平成22年度から「経済財政改革の基本方針2009（H21.6 閣議決定）」に沿って15名定員増とし、AO入試で実施していた地域枠を推薦入試A（地域医療枠）に改編のうえ定員増の15名を推薦入試A（地域医療枠）の定員とした。また、平成21年度に定員増となった5名を、新設した推薦入試B（地域医療特別枠）の定員とし、長崎県医学修学資金の貸与を条件とした。平成23年度には、佐賀県枠及び宮崎県枠を創設し、各2名の定員を設け、「新成長戦略（H22.6 閣議決定）」により1名の定員増とした。平成24年度には平成23年「新成長戦略（H22.6 閣議決定）」により増員とした1名を、推薦入試B（地域医療特別枠）の定員とした。現在は推薦入試A（地域医療枠）15名、推薦入試B（地域医療特別枠）6名の定員としている。しかしながら、多くの離島を抱える本県にあっては、かねてよりの医師不足に重ね専門医指向等により都市部病院へ医師が集中し、地域間の医師の偏在が顕著になっており、特に離島及び本土の県北部における医師不足は厳しい状況が続いていることから、長崎県と協議した結果、本学では平成28年度の医学部医学科入学定員（推薦入試B（地域医療特別枠））を2名増員し、医師偏在の非常事態に直面する離島・へき地への地域医療人育成について今後も継続して取り組む。

3. 収容定員変更に伴う教育体制等

本学医学部は、長崎県内の地域医療を担う医師を養成するために、これまでも次のとおりの医学教育プログラムを実践してきた。

- 1) 地域医療人基盤育成のために、1年次から主に地域枠学生を対象に開講している「地域医療医学ゼミ」では、県北部地域の平戸市、県島嶼部の五島市へ2泊3日の地域医療集中セミナーを開催し、ワークショップ、講義、施設見学等を通して地域包括医療の実際を学ぶ取組を実施している。【地域医療セミナー実施要領（資料2）参照】

以上の地域医療医学ゼミ等の足がかりとして、地域枠1～3年生については、春に班編制を行い、班ごとに長崎県内の地域医療に関する調査・研究活動を行って、その成果を11～12月にその年の地域医療に関連した活動報告会で発表し、長崎県地域医療について理解を深めている。

また、地域枠学生に限らず、広く地域医療に興味を持つ学生等を対象に、3カ月に1回程度の頻度で県内外の地域医療に従事している医師を講師として招き、地域医療の実践について学ぶ地域医療研究会を開催している。

- 2) 平成16年度文部科学省企画「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に本学の「地域と連携した実践型医学教育プログラム」が採択され、①患者との良好なコミュニケーションを構築し、病気を診るだけでなく患者の心と置かれている環境を洞察する全人的医療を実践することができ、②医療チームや家族と力を合わせ、患者の社会への復帰を真摯に目指す(包括的保険)医師、「現在版“赤ひげ医師”」を育成することを目的に、医学部5年生全学生を対象として、長崎県の特徴である離島をフィールドとした1週間の離島医療実習を必修化している。本プログラムは、地域(離島)医療に貢献できる医療人の育成という地域の切実な要請に対応する本学の特色ある取組の1つである。学生の反応も良好で、本実習の延長線上にある6年次高次臨床実習(選択制)では、平成16年から平成27年度までの11年間で、のべ120名が離島実習を選択している。
- 3) 平成20年度には文部科学省企画「質の高い大学教育推進プログラム」に採択された「地域医療人育成プラットフォームの構築～長崎県離島における医・歯・薬共修を柱とした地域医療一貫教育プログラム「長崎モデル」の開発～」は、現在でも本学薬学部6年生、歯学部5年生又は6年生、医学部保健学科4年生と医学科学生との共修実習として積極的に実施されており、病院及びデイケアサービス等の地域医療の現場で不可欠なチーム医療の教育に取り組んでいる。なお、他大学医学部学生からの実習希望も可能な限り受け付けており、福岡大学医学部とは教育協定を締結のうえ、長崎県離島の保健・医療・福祉施設で定期的な地域医療・保健実習を行っている。
- 4) 平成16年5月、長崎県及び関連する下五島地区1市5町(現五島市)による寄附講座として、本学大学院医歯薬学総合研究科に「離島・へき地医療学講座」が開講し、開講と同時に離島での活動拠点として長崎県五島中央病院内に「離島医療研究所」を設置した。本研究所が長崎県と本学との離島医療連携の拠点となっており、大学教員3名が常駐して本学医学部が推進する離島医療実習の全面的な教育支援と指導を担当している。
- 5) 卒後臨床研修プログラムでは、長崎県内15か所の協力病院で1年間の研修を受けることが可能であり、研修医全体の8割以上が当該研修を受けている。また、地域医療研修プログラムを必修科目として1か月以上3か月未満の短期研修を実施しており、県内の離島・へき地を中心として48施設の地域医療研修施設を研修先としている。

なお、特別コースとして、地域枠に特化した家庭医・総合医コースも用意している。

また、長崎県の医学修学資金貸与制度では、返還免除の必要勤務期間（9年）内に長崎県本土の基幹病院における臨床研修、再研修及び定着勤務の期間を合計 4.5 年間設け、医師の先端医療研修の機会を確保している。

【長崎県医学修学資金貸与制度（資料3）参照】

- 6) 「地域医療等の社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム教育支援プログラム（平成 17 年度医療人GP採択）」により、本学病院に設置された「へき地病院再生支援・教育機構」が中心となって、県北部の医療過疎地域に大学から指導医を配置して、地域医療の専門家を養成する後期研修プログラムを担当している。また、学外からも多くの初期研修医が当該機構を通じて県北部の医療機関で初期研修を実施している。
- 7) 平成 25 年度未来医療研究人材養成拠点形成事業の採択をうけ、本学に設置された「地域包括ケア教育センター」（教授 1 名、助教 6 名）は、教育プログラム・コースの開発や地域包括ケアに関するネットワークを教育資源としての統合を達成目標として、本学の学生に地域教育フィールドでの実践的教育を提供している。

以上のような本学医学部の教育実績を踏まえて、この度の地域の医師確保対策を実施するに当たっては、基本的には一般選抜の学生と同じカリキュラム内容とするが、地域枠学生に対しては特別プログラムを開講する等して、広く地域医療に関する学びの機会を提供していく方針である。従前から本学医学部のカリキュラムでは、地域医療、離島医療及びへき地医療の特色であるプライマリ・ケア主体の医療にも着目し、「医と社会」、「医学ゼミ」、「リサーチセミナー」、「臨床実習」、「高次臨床実習」等のカリキュラムの中に地域医療等に関する内容が網羅されていることから、さらに現行のカリキュラムを大きく変更することはないが、医師の偏在が続く県北部地域への臨床実習派遣及び地域枠の入学者の卒業時の出口管理を含めて、地域医療に係るカリキュラムとして各学年においては次のような対応を行う。

【現行の医学部カリキュラムの概要と特徴的な科目のシラバス（資料4）参照】

1) 1 年次への対応

医学入門として開講している「医と社会」は、本学医学部保健学科と共修の早期体験科目であり、地域包括ケア教育センター及び先端医育センターの講師陣を中心として、チーム医療や全人的医療等をテーマとした講義の後に大学病院、リハビリテーション施設等での実習を行うことで、病める人の立場に立った医療を実感することができる。また、患者や利用者に直接接することで地域包括ケアシステムを理解し、診療器具を実際に操作する中で診察の心得を修得する。

少人数教育として行う選択必修科目「医学ゼミ」に、地域医療（県北地域）、総合医療、離島医療をテーマとしたゼミを開講し、地域枠の学生については必修科目としている。

2) 2～3年次への対応

標準履修年次の全学生を対象に「医と社会」において、引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深める。また、2年次は高齢者診療施設（老健施設）実習の時間をつくり、体験を通して患者とのコミュニケーションの取り方、高齢者との接し方を学び、さらに3年次には地域診療所で実習を行い、診察、介護等の体験実習を通して内在する問題を抽出し自己問題解決能力を身に付け能動学習法を実践する。

3) 4～6年次への対応

4年次から開始する臨床実習については、平成27年度から臨床実習を64週に増やし、地域包括ケア教育センター主導の実習を組み込む予定としている。また従前から、学生全員が履修する地域病院実習、離島医療・保健実習、地域包括ケア実習にそれぞれ1週間の期間を予定しており、詳細については以下のとおりである。なお、医師不足が深刻で初期臨床研修のマッチ率が非常に低い県北部での地域病院実習は行っていなかったが、現在、臨床実習先として県北部の基幹型臨床研修病院（4病院）と調整を進めており、平成28年1月からの開始を予定している。

a. 地域病院実習

地域病院実習は、長崎市内とその近郊の地域中核病院において診療参加型の実習を行い、地域中核病院の機能と役割について学ぶ。

b. 離島医療・保健実習

離島医療・保健実習は、平成27年度から壱岐市を加え、対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町、小値賀町のいずれかに1週間滞在し、保健・医療・福祉・介護施設において包括的な離島医療の実際を学ぶ。壱岐市、五島市、新上五島町では医学部医学科、医学部保健学科、歯学部、薬学部の共修を行い、多職種の職能理解に基づいたチーム医療教育を推進する。

c. 地域包括ケア実習

地域包括ケア実習は、長崎市内の地域包括支援センターと訪問看護ステーションにおいて、主に在宅における地域包括ケアについて実践的な実習を行う。

6年生の希望者を対象として、長崎県離島と本土の地域中核病院において4週間にわたって学ぶ長期間の診療参加型実習を行っている。また、地域枠入学者については、地域医療学分野教員による面談を受け、卒業後のキャリアパスについての指導を受けている。

なお、6年生の学習室として各自に机を与え、10名～15名一組の部屋を9部屋用意し、国家試験に向けて集中できる環境を提供している。さらには国家試験対策として、保護者で構成する教育後援会の予算で模擬試験料を負担し、機会の均等化を図っており、

教育センターが定期的に学習部屋を訪問し、激励・指導するほか、国家試験対策委員長と連携のうえ CBT 下位学生（スロースタータ）に対しては、面談の機会を設けて個別指導している。

資 料 目 次

資料 1 長崎県の医師の状況

資料 2 地域医療セミナー実施要領

資料 3 長崎県医学修学資金貸与制度

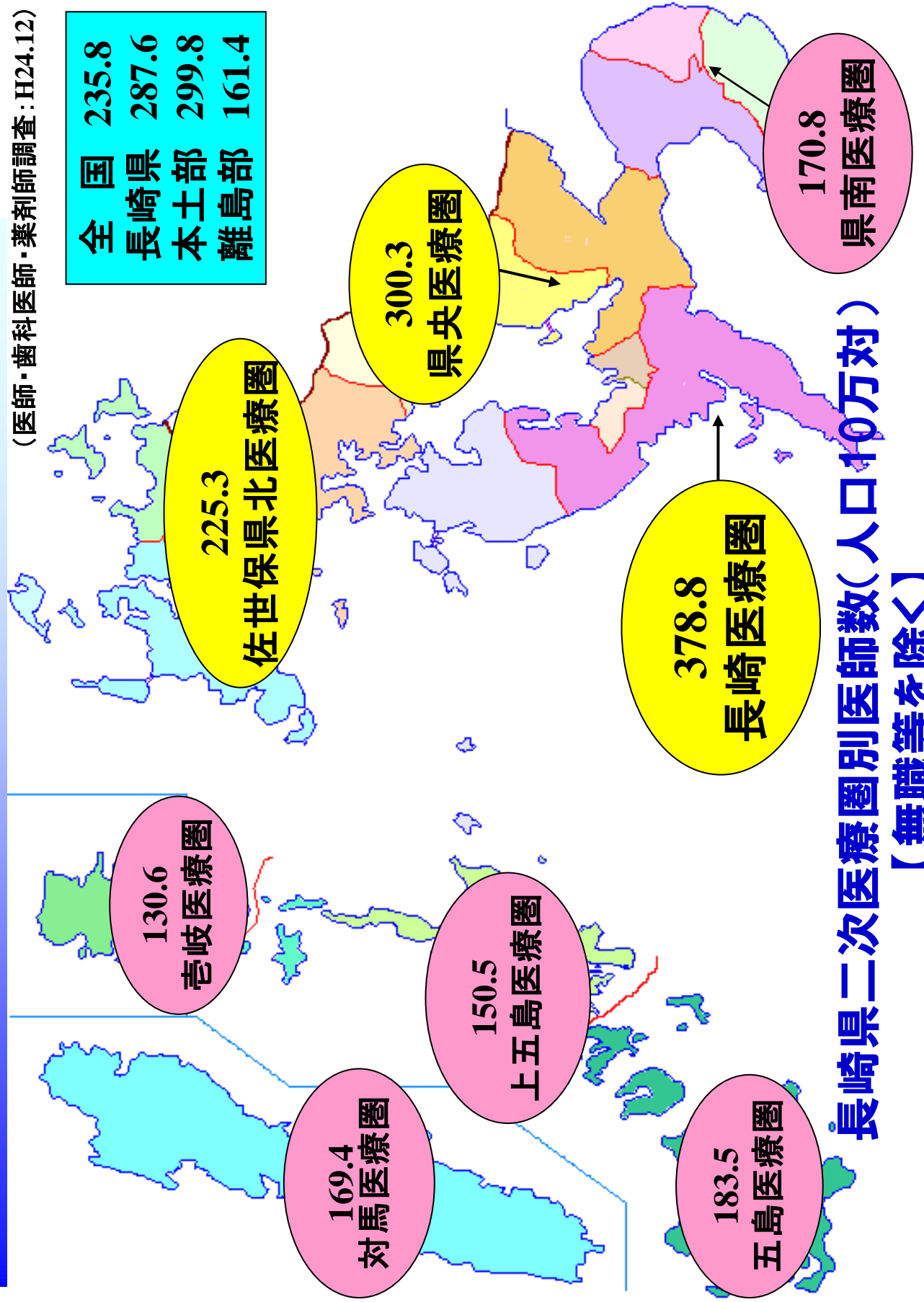
資料 4 現行の医学部カリキュラムの概要と
特徴的な科目のシラバス

資料 1 長崎県の医師の状況

長崎県の医師の状況

(医師・歯科医師・薬剤師調査：H24.12)

全	国	235.8	
長	崎	県	287.6
本	土	部	299.8
離	島	部	161.4



長崎県二次医療圏別医師数(人口10万対)
【無職等を除く】

資料2 地域医療セミナー実施要領

平成27年度 第3回長崎地域医療セミナーinGOTO 実施要領

8月21日(金) セミナー1日目

	学外セミナー生	長崎大学	純心大学
8:00		8:05	長崎港発
9:00	9:05 九商(JF)		
	9:30 ANA(福岡)		~
10:00			
	10:45 ANA(長崎)		
11:00	11:15 九商(フェリー)	11:15	福江港着
			移動
12:00	「開会挨拶および趣旨説明」長崎大学 地域医療学分野 前田 隆浩 先生 「学生実行委員長挨拶」長崎大学 医学部 医学科 3年 森 颯馬 「昼食・アイスブレイキング」小屋松淳・学生実行委員会 場所:五島市役所大会議室		
13:00	13:00	五島市表敬訪問	
	13:30		
14:00	「講義① 各医療機関および施設について」 「実習① 島内医療機関実習」		
15:00	1.五島中央病院 - リハビリセンターふくえ 2.久賀診療所 - ひさかデイサービスセンター 3.伊福貴診療所 4.山内診療所 5.聖マリア病院 - マリアの園 6.奈留医療センター - なるの里 7.富江病院 - 只狩荘		
16:00			
17:00			
	17:30	チェックイン等	
	18:00		
18:00	ウェルカムレセプション さんさん富江キャンプ村		
19:00			
	19:45	移動等	
20:00			
21:00	入浴や荷物整理など		
	22:00		

8月22日(土) セミナー2日目

セミナー参加者全員		
7:00	7:00	朝食・準備など
8:00	8:30	移動
9:00	9:00	「講義② 地域医療学入門」長崎大学 地域医療学分野 小屋松 淳 先生
	9:15	「講義③ 五島の家庭医療、NEXTジェネレーション！」 徳洲会グループ 家庭医療部 佐野 潔 先生
10:00	10:20	休憩
	10:30	「講義④ 地域密着型の医療(仮)」 長崎大学 へき地病院再生支援・教育機構 中桶 了太 先生
11:00	11:00	「講義⑤ 医療と福祉の連携(仮)」上智大学 総合人間科学部 栃本 一三郎 先生
12:00	12:00	昼食・お昼休み
13:00	13:00	「講義⑥・実習② 救急現場での対応」長崎大学 山下 和範 先生
14:00		休憩
15:00	14:45 15:15	「講義⑦ 離島医療を担うためのキャリア形成」長崎県上五島病院 八坂 貴宏 先生
		休憩
16:00	15:30 16:30	「講義⑧ 地域住民の持つパワーとは～限界集落の調査研究を踏まえて～」 武蔵野大学 人間科学部 渡辺 裕一 先生
		移動等
17:00	17:00	入浴や荷物整理など
18:00		
19:00	19:00	懇親会 居酒屋ありす
20:00	20:00	

8月23日(日) セミナー3日目

セミナー参加者全員	
7:00	7:00
	朝食・準備など
8:00	8:30
	移動
9:00	9:00
	「ワークショップ①前半『くらし』を支える診療・支援を考える」
10:00	10:00
	「講義⑨ “その人らしさ”を支える多職種連携の実際」 長崎みなとメディカルセンター市民病院 宮川 江利 先生
	10:30
11:00	10:30
	「ワークショップ②後半『くらし』を支える診療・支援を考える」
	11:15
	11:15
	「ワークショップ③発表『くらし』を支える診療・支援を考える」
12:00	12:15
	12:15
	12:30
	総括・アンケート記入
13:00	12:30
14:00	
	昼食 地域体験実習
15:00	
16:00	16:00
	福江港着
	16:30
	16:50
17:00	
	九商(JF) 九商(フェリー)
18:00	17:55
	ANA 4676(長崎)
	18:20
	長崎港着(JF)
19:00	18:50
	ANA 4920 (福岡)
20:00	20:00
	長崎港着(フェリー)

第 10 回 Summer Camp 2015 in Hirado スケジュール

テーマ： 地域医療再生から創生へ

～next generation～

8 月 28 日(金)

11:30	オリエンテーション (一楽食堂 2F) 平戸市長挨拶 在宅医療ショートレクチャー 昼食
13:00	地域医療実習 ・柿添病院 ・青洲会病院 ・押淵医院 ・平戸市立生月病院 ・平戸市民病院
17:00	まとめ(ふれあいセンター会議室 AB) グループごとにわかれて体験共有→発表
18:00	受付(ふれあいセンター ゆめホール) 休憩 (軽食・会計)
19:00	開会の挨拶:押淵 徹(国民健康保健 平戸市民病院 院長) 地域医療講演会 I (ふれあいセンター ゆめホール) 講師:樋渡啓祐(樋渡社中株式会社 代表取締役) 演題:「地方創生は地域医療から」
20:00	座長:中桶了太(へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
20:10	夕食兼懇親会
21:30	(青柳旅館)

8 月 29 日(土)

5:00	漁師体験(旅館～平戸市民病院経由綾香水産)
9:00	朝食
10:30	観光
12:00	受付(サン・ケア平戸 研修室)
13:00	世界からの報告 講師:齋藤 学(ゲネプロ 代表) 演題:「地平線と地域医療～オーストラリアとモンゴルの大地で出会ったへき地医療～」 座長:永田康浩(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科地域包括ケア教育センター センター長)
13:30	コメンテーター:齋藤 寛(長崎大学前学長)
	休憩
14:00	ワールドカフェ テーマ:「多職種でやる地域って楽しい」 タスク: 江口幸士郎(唐津市民病院きたはた 医師)

15:30	今立俊輔(医療法人みらい 今立内科クリニック 医師) 山口 将(長崎みなとメディカルセンター市民病院 医師) 中桶了太(へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
	休憩
16:00	地域医療講演会Ⅱ 講師:尾身 茂(独立行政法人 地域医療機能推進機構 理事長) 演題:「WHOそしてJCHO 国内外の経験を生かしたリーダー論 ～若い方への期待～」
17:30	座長:調 漸(へき地病院再生支援・教育機構 機構長)
18:00	記念撮影
18:30	根獅子へ移動(送迎バス)
18:30	懇親会 BBQ
20:00	(根獅子の浜海浜公園)
	後片付け、移動(送迎バス)
20:30	2次会
22:00	(青柳旅館)

8月30日(日)

8:30	受付(サン・ケア平戸 研修室)
9:00	ふりかえり:中桶了太(へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
9:10	へき地研修卒業生によるシンポジウム 講師:神田 萌(北海道家庭医療学センター 後期研修医) 演題:長崎で育つということ 講師:香田将英(熊本大学大学院医学教育部「柴三郎プログラム」MD-PhD、 熊本大学医学部附属病院 初期研修医) 演題:「なぜ？」から始める地域医療 ～なぜあなたは平戸にやってきたのか～ 座長:八坂貴宏(長崎県上五島病院 院長) 小野隆司(杵築市立山香病院 病院事業管理者兼院長)
10:00	コメンテーター:齋藤 寛(長崎大学前学長)
	休憩
10:30	ワークショップ テーマ:「地域で元気になろう！」 タスク:江口幸士郎(唐津市民病院きたはた 医師) 今立俊輔(医療法人みらい 今立内科クリニック 医師) 山口 将(長崎みなとメディカルセンター市民病院 医師)
12:30	中桶了太(へき地病院再生支援・教育機構 准教授)
12:30	閉会の挨拶:調 漸(へき地病院再生支援・教育機構 機構長)

資料3 長崎県医学修学資金貸与制度

長崎県医学修学資金貸与制度

長崎県では、大学医学部を卒業後に離島・へき地の医療に進んで従事しようとする方に修学資金を貸与しています。

◎制度の概要

- (1) **対象者** 医学部入学生及び在学生
- (2) **募集時期・試験** 長崎大学推薦入試Bについては、大学へ出願をする前(11月)に県の面接を実施します(その他の医学生は7月頃(入学後)、面接等を長崎市内で実施)。

(3) 貸与金額

医学修学資金で貸与されるものは、①入学料、②授業料、③専門課程での学習図書購入費(3年生から6年生まで)、④生活費(月額7万円以内)で、平成27年度入学者への貸与金額(例)については次のとおりです。

【貸与額】平成27年度入学者:6年間の貸与総額(予定) 9,336,800 円

単位:円	入学料	授業料	図書費	生活費	年間貸与額
1年生次	282,000	535,800	—	840,000	1,657,800
2年生次	—	535,800	—	840,000	1,375,800
3~6年生次	—	535,800	200,000	840,000	1,575,800

- (4) **貸与利率** 年 14.5 %

(5) 返還免除について

卒業後、「履行すべき義務」を終えた場合に元金及び利息の返還を免除します。

(6) 履行すべき義務

貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間(うち、離島・へき地に2分の1以上の期間)、知事が指定する医療機関等(注1)への勤務が必要です。【下図:勤務例参照】

また、専門課程(概ね3年生以降)からの貸与者については、貸与を受けた期間の1倍に相当する期間(2年間の臨床研修期間は除き、離島・へき地勤務期間は別途知事が定める)、知事が指定する医療機関等への勤務が必要です。

※(注1)県、長崎県病院企業団(長崎県及び市町で構成する一部事務組合)または離島の市町立医療機関

勤務例 1年生から6年生まで貸与を受けた場合

(臨床研修期間を含めて貸与年数の1.5倍が全体の義務年数、うち1/2が要離島勤務)

勤務年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9
勤務形態	臨床研修		定着医	再研修	定着医				
勤務地	(A)	離島	(A)	離島			(A)		

※(A)は知事が指定する医療機関等(研修期間は長崎医療センター等)

離島勤務4年6月
合計9年

(7) 貸与の取消について

次に該当する場合は貸与を取り消し、直ちに元金及び利息を返還することとなります。

- ・ 同一学年で2回留年した場合
- ・ 卒業までの在学合計年数が修業年限の2倍を超えた場合
- ・ 医師国家試験において3回不合格となった場合

(8) 在学中の離島地域等での研修

離島医療や地域医療への意欲向上や認識を深めるため、次のような離島地域等での研修を行います。

【夏期研修(サマーワークショップ)】毎年8月、離島地区で宿泊研修を実施します。

【離島等病院見学】夏休み期間中に、長崎県病院企業団等の病院を見学(3年生から)。

【長崎県地域医療研究会】長崎県病院企業団の地域医療研究会等へ参加します。

【冬季研修(ウィンターミーティング)】先輩医師の講演や意見交換を行います。

(9) 卒業後の身分等

身分：長崎県病院企業団等の地方公務員(臨床研修時は非常勤職員)

研修：2年間の初期臨床研修期間のほかに、国立病院機構長崎医療センター等で最先端医療を学ぶための研修期間が設けられています。

長崎大学地域医療特別枠(推薦入試B)について

平成22年度から長崎大学に県の地域医療を担う人材を育成するための地域医療特別入学枠(推薦入試B)が新設されました。

入学者には、「長崎県医学修学資金」の貸与を行います。

【主な出願要件(平成27年度入試)】

高等学校又は中等教育学校を平成25年4月以降に卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者で、次の各号に該当するもの

1. 長崎県内の小学校、中学校及び高等学校のいずれかを卒業した者
2. 地域医療を志し、学習成績概評がA又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者
3. 長崎県の推薦がある者
4. 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、医学科の所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎県医学修学資金貸与制度に基づき長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者
5. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者
6. 合格した場合は、入学することを確約できる者

※ 選抜方法の詳細については、長崎大学のホームページをご覧ください。

○ 佐賀大学(1名)、川崎医科大学(5名)にも長崎県の地域枠が設定されています。

○ なお、一般入試で入学された場合でも、入学後に「長崎県医学修学資金」の申請を行うことができます。

お問い合わせ先

長崎県福祉保健部医療人材対策室

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

電話 095-824-1111(代表)、095-895-2421(直通)

F A X 095-895-2573

E-mail s04045@pref.nagasaki.lg.jp

資料4 現行の医学部カリキュラムの概要と

特徴的な科目のシラバス

医学科の 特色あるカリキュラム

【医学科カリキュラムの重点項目】

- ① 医科学領域における高い倫理観を身につけるための科目（医と社会）を1年次より4年次まで開講している。
- ② 医学領域における国際的な人材を育成するため外国人教師による医学英語を1年次より4年次まで開講している。
- ③ 医科学領域における創造的能力・理論的思考力を修得するために3年次リサーチセミナーにより基礎配属を行っている。

多様なカリキュラム

【研究医枠及び研究医コース】
基礎医学の発展に携わる研究者を養成する。在学中はブレリサーチセミナー、アドバンストリサーチセンターが必須単位となり、卒業後は長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

【熱帯医学研究医枠】

熱帯医学研究医枠では、熱帯医学分野で「基礎」研究医として活躍する人材を育成する。卒業後は長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

【国際保健医療枠】

国際保健医療枠では、国際保健医療、特に放射線健康科学分野で活躍する人材を育成する。卒業後は長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科（医学系基礎研究分野）に進学する。

【地域枠】

地域医療ゼミにより地域医療に関する理解を深め、将来長崎県を中心に活躍する臨床医を育成する。

教育目標

1年次

医学の基礎と医学における倫理の重要性を学ぶ。

医と社会I
【入門科目】
人間生物学
【正常構造と機能】
生体分子系
人体構造系I
分子遺伝系
神経・感覚器系I
発生・組織系I
内臓機能・体液系I
【学部モジュール】
細胞生物学
医学史・原簿医学と長崎
医学統計学

2年次

医学基礎と共に疾患について学ぶ。

医と社会II
【正常構造と機能】
人体構造系II
発生・組織系II
動物性機能系
内臓機能・体液系II
神経・感覚器系II
【疾患総論】
感染系
免疫系
病理総論系
腫瘍系
基礎医学TDL

3年次

疾患について学ぶと共に基礎研究について実習を行う。

医と社会III
【疾患総論】
環境因子系
薬理系I, II
病理各論系I, II
【疾患各論】
循環器系
呼吸器系
消化器系
感染症系
血液・リンパ系
内分泌・代謝・栄養系
免疫・アレルギー疾患系
腎泌尿器系
生殖系
小児系
【診療の基本】
放射線医学
臨床医学TDL I, II
【基礎研究実習】
リサーチセミナー

4年次

疾患と共に診療の基本について学ぶ。

医と社会IV
【正常構造と機能】
人体構造系III
【疾患総論】
薬理系III
病理各論系III
【疾患各論】
精神系
脳・神経系
皮膚系
運動系
視覚系
耳鼻咽喉口腔系
【医学・医療と社会】
衛生学・分子疫学
公衆衛生学
法医学系
【診療の基本】
外科治療学
臨床医学TDL III
診断学
臨床検査医学
臨床疫学・医療情報学
臨床薬理学
東洋医学
総合生理学
臨床推論PBL
【臨床実習】
臨床実習I

5年次

疾患と診療の知識をふまえて臨床実習を行う。

【臨床実習】
臨床実習II
高次臨床実習I

6年次

疾患と診療の知識をふまえて高次の臨床実習を行う。

【診療の基本】
臨床総括講義
【臨床実習】
高次臨床実習II

医学英語

医学ゼミ

ブレリサーチ

国際医療実習

熱帯医学ゼミ

地域医療ゼミ

アドバンストリサーチ

医 と 社 会 I

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	1年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医学生として図書館の利用法、プライマリヘルスケアから先進医療についてまで幅広い知識を得るとともに、チーム医療および患者の立場に立った医療に必要な患者の心の理解、患者とのコミュニケーションを学ぶ。同時に体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。また、地域包括ケアシステムを理解し、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 体験実習1 長崎大学病院医局
- (2) 体験実習2 リハビリテーション施設（保健学科と共修）
- (3) 診療の心得

2) 医学テーマ

- | | |
|----------------------------|----------------|
| (1) チーム医療・ワークショップ（保健学科と共修） | |
| (2) プロフェッショナリズム | (7) 対人関係 |
| (3) 地域包括ケアシステム | (8) プライマリヘルスケア |
| (4) 地域医療 | (9) 感染症 |
| (5) 臓器移植・再生医療 | (10) 臨床倫理 |
| (6) 熱帯医学 | (11) 図書館の利用法 |

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

先端医育センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永、江川亜希子
 地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、相良郁子、
 牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子
 保健学科：松坂誠應、大石和代、沖田実、東登志夫
 地域医療学：前田隆浩、清水悠路、門田耕一郎
 医療教育開発センター：浜田久之
 図書館担当者（学術情報部）：志波原智美、松村悠子
 第2外科：江口晋 非常勤：吉開俊一（新小倉病院）
 熱帯医学研究所：森田公一
 非常勤：永田耕司（活水大学）
 非常勤：八坂貴宏（長崎県離島医療圏組合上五島病院）
 熱研内科：有吉紅也
 非常勤：荒木利卓（長崎医療センター）

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

H27年度(1年前期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室	
4	7	火	1	授業ガイダンス・クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割 総論(1)	保健学科・松坂、教務委員 (保健学科と共修)	第2講義室	
			2	クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割(2)	保健学科・大石、沖田、東 (保健学科と共修)		
4	14	火	1	クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割(3)・クライアントの理解と現代医療を支える医療専門職者の役割(4) 大学病院におけるチーム医療とQOL	門田、病院長、看護部長、 リハビリ部 (保健学科と共修)	第2講義室	
			2	ワークショップ(1) “望ましいチーム医療について考える”	教務委員 (保健学科と共修)		
4	21	火	1	ワークショップ(2) “望ましいチーム医療について考える”	教務委員 (保健学科と共修)	第2講義室	
			2	ワークショップ(3)発表考える “望ましいチーム医療について”	保健学科教務委員 (保健学科と共修)		
4	28	火	1	学外実習に向けてのオリエンテーション	地域包括ケア教育センター、保健学科	第2講義室	
			2	グループワーク	地域包括ケア教育センター、保健学科		
			3	医学修学の要点(分部)・大学病院の役割(安武)	先端医育センター		
			4	医師のキャリアパスとプロフェッショナリズム	医療教育開発センター・浜田		
				A	B		
5	12	火	1	診療の心得(1)	体験実習1(長崎大学病院医局)	地域包括ケア教育センター	第2講義室 CBT室
			2	図書館の利用法・情報検索実習		先端医育センター・医学分館	
			3	診療の心得(2)		地域包括ケア教育センター 先端医育センター	長崎大学 病院医局・第2 講義室
			4				
5	19	火	1	体験実習1(長崎大学病院医局)	診療の心得(1)	地域包括ケア教育センター	第2講義室 CBT室
			2		図書館の利用法・情報検索実習	先端医育センター・医学分館	
			3		診療の心得(2)	地域包括ケア教育センター 先端医育センター	長崎大学 病院医局・第2 講義室
			4				
5	26	火	1	診療の心得	体験実習2(リハビリテーション施設)	地域包括ケア教育センター 先端医育センター、保健学科	第4講義室
			2				
			3				
			4				
6	2	火	1	体験実習2(リハビリテーション施設)	診療の心得	地域包括ケア教育センター 先端医育センター、保健学科	第4講義室
			2				
			3				
			4				
6	9	火	1	体験実習のフィードバック・まとめ	先端医育センター、 地域包括ケア教育センター	第4講義室	
			2				
6	16	火	1	臓器移植・再生医療	Ⅱ外科・江口/非常勤・吉開	第2講義室	
			2	熱帯医学	熱研・森田		
6	23	火	1	対人関係	非常勤・永田	第4講義室	
			2	プライマリヘルスケア	非常勤・八坂		
6	30	火	1	感染症とは	熱研・有吉	第2講義室	
			2				
7	7	火	1	臨床倫理入門	長崎医療センター・荒木	第2講義室	

医 と 社 会 II

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、老健施設などの体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また高齢者と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。長崎純心大学、保健学科との共修を通して医療・福祉・介護の多方面からの視点を理解し尊重する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

A 医療と人間（保健学科と共修）

人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行い、問題意識を深める課題を各講義で提示する。学生は課題を選び、計2つのレポートを提出する。スモールグループで1課題を調べ、セミナーで発表する。

1. 人の心の発達

乳幼児と親の心、乳幼児期と思春期、子供と社会、学童期と思春期の心の発達

2. 性と生

人間の性、リプロダクティブヘルス&ライツ、QOLとしての性、ドメスティックバイオレンス

3. 高齢期を生きる

高齢期の特徴、高齢期介護の実際、地域における高齢者の生活を考える、痴呆性高齢者を家族と地域で支える

4. 医療人と患者及び家族との関係

自助グループ活動と医療人の役割、看護の心、ホスピス、私の考える理想の医師像

5. フィールドワーク及びセミナー

B Early Exposure (医学科)

老健施設などの体験実習に参加し、体験に基づいたレポートを作成する。

C 診療の心得（診療マナー、バイタルサインの取り方、超音波や心電計等の基本操作）

D 事例検討（長崎純心大学、保健学科と共修）

3. 教科書、参考書等

各講義の最初の時間に紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

A：4つの各区分のうち課題を選んでレポートを2つ提出する。発表会のテーマの1つを担当する。

B：体験に基づいたレポートを1つ提出する。

レポート、発表会、出欠状況などを総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課す。

C：出欠状況、実習態度、レポートなどを総合して評価する。

D：出欠状況、実習態度、レポートなどを総合して評価する。

5. 教員名

委員：医育支援センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永、江川亜希子、保健学科教務委員

A 1：川原ゆかり（長崎短期大学保育学科准教授）、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター診療部長）、福田雅文（みさかえの園むつみの家施設長）

A 2：安日泰子（やすひウィメンズヘルスクリニック院長）、中田慶子（DV防止ながさき）

A 3：陣野紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎弘之（すがさきクリニック院長）、石松隆和（工学部教授）

A 4：中尾勘一郎（ホーム・ホスピス 中尾クリニック院長）、

B, C, D：医育支援センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、江川亜希子

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、相良郁子、
牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子

地域医療学：前田隆浩、清水悠路、門田耕一郎、田山淳（保健・医療推進センター）

保健学科：中尾理恵子

非常勤：江田佳子（佐々町保健師）

D：非常勤：潮谷有二（長崎純心大学教授）、宮野澄男（長崎純心大学准教授）、
保健学科教員

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

H27年度(2年後期)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容		担当講座等・教員	教室
9	30	水	3	性と生1	オリエンテーション	人間の性、概論	医育支援センター、非常勤・安日(保健学科と共修)	第2
			4	人の心の発達1	乳児と親の心			
10	7	水	3	人の心の発達2	子供と社会	児童虐待の現状から	非常勤・川原(保健学科と共修)	第2
			4	高齢期を生きる1	高齢者介護の実際			
10	14	水	3	人の心の発達3	子供の心の発達、学童期、思春期		非常勤・小柳(保健学科と共修)	第2
			4	性と生2	ドメスティックバイオレンス			
10	21	水	3	医療人と患者及び家族との関係	ターミナルケア	患者とのコミュニケーション	非常勤・中尾(保健学科と共修)	第2
			4	高齢期を生きる2	地域における高齢者の生活を考える			
10	28	水	3	高齢期を生きる3	認知症高齢者を家族と地域で支える		非常勤・菅崎(保健学科と共修)	第2
			4	地域包括	特別講義			
11	4	水	3	地域包括	共修【医学科・保健学科・長崎純心大学】		先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター、長崎純心大学、保健学科	第2
			4					
11	11	水	3	地域包括	共修【医学科・保健学科・長崎純心大学】		先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター、長崎純心大学、保健学科	第2
			4					
11	18	水	3	地域医療	「認知行動療法の適用とその効果」		保健医療推進センター・田山淳	第2
			4		「高齢者・障害者の健康生活支援～在宅療養の高齢者を中心に」			
11	25	水	3	地域包括	実習オリエンテーション		先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第2
			4					
12	2	水	1	Early Exposure	高齢者診療施設(老健施設)	診療の心得	先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			2					
			3					
			4					
12	9	水	1	Early Exposure	診療の心得	高齢者診療施設(老健施設)	先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			2					
			3					
			4					
12	16	水	3	地域包括	実習の振り返り		先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			4					
1	6	水	3	地域包括	地域包括ケアにおける患者・家族の理解		先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			4					
1	13	水	3	地域包括	地域包括ケアシステムのまとめ		先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第1
			4					

医 と 社 会 Ⅲ

前期

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・通年（前期・後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所の体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。

同時に診察、介護などの体験実習を通して、診察や介護面で出てきた問題点を抽出し、自己による問題解決能力を身につける能動学習法を実践する。また、前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深め、診療器具を実際に操作する中で、診療の心得を習得する。また、ワークライフバランスについて、仕事と生活の相乗効果を高める考え方を学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

- 1) 実習
 - (1) 診療所体験実習 (2) 診療の心得
- 2) 講義(実習も含む)内容

(1) 患者とのコミュニケーション（模擬患者）	(5) 地域医療
(2) 患者診察入門	(6) ワークライフバランス
(3) 介護・介助	(7) 地域包括ケアシステム
(4) 多職種間医療連携	
- 3) 体験討論・レポート作成
診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況など「A. 診療所体験実習」「B. 医哲学、医療倫理」を総合して評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

総合診療科：大園恵幸、中道聖子、井上圭太

メディカルワークライフバランスセンター：伊東昌子、
富澤康子（東京女子医科大学循環器外科）

先端医育センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永、江川亜希子

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、相良郁子、
牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子

地域医療学：前田隆浩、清水悠路、門田耕一郎

非常勤：永田修一（桜町調剤薬局）、坂上祐樹（宮崎市健康管理部）

6. 備考

学外実習については、オリエンテーションを行うので実施要項に従う。

後期

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・通年（後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	2.5
英語名	Medical ethics and philosophy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

これまで医と社会では、「病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている社会・環境を洞察しうる医師となる」ことなどをめざして、主として医療従事者から見た講義・実習が行われてきた。一方、我々がおかれている現代社会において、「何が正義か?」、「何に価値をおくべきか?」、「倫理観とはどうあるべきか?」、といった根本的な哲学については、病気の診断・治療などの現場の対応に追われていると、社会背景を考慮しているようでも、しだいに見えなくなってゆくものがある。3年生後期の医と社会では、主として医療職でない立場の人から見た場合の、それら哲学・倫理・社会観を紹介していただき、そこで提起される問題について、学生の皆さんと一緒に考えてもらうことを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

本年度は、救急救命九州研修所郡山先生をお迎えし、医療における倫理とは何だろうかそして、私達自身は何によって変わるのだろうかをテーマに問題提起をしていただく。富山大学の法学者・秋葉先生は、終末期医療問題に対する個人主義的アプローチと人格主義的アプローチの二つについて読み解いていただく。さらに臨床パストラルケア研修教育センターの理事長で、宗教家でもあるキッペス先生とともに、スピリチュアル・ケアとは何かを考える。間宮清先生には、サリドマイド薬害について講義していただく。田中優先生には、戦争経済化についてお話していただく。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

「B. 医哲学、医療倫理」すべて出席すること。出席カードに記載する講義内容へのレスポンス・レポートを中心に総合評価する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

郡山 一明（救急救命九州研修所）
秋葉 悦子（富山大学）
田中 優（オフィス YU）
ワイデマール・キッペス（臨床パストラルケア教育研修センター）
間宮 清（いしずえの会）
未定（交渉中）

6. 備考

本講義は 歯学部（5年次）との共修である。

H27年度3年生

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室	
4	2	木	3 4	医療面接 1	医療面接とコミュニケーション	総合診療科・大園、中道	第 4	
4	9	木	3 4	医療面接 2	医療面接法の実際	総合診療科・大園	第 4	
4	16	木	3 4	患者診察	患者診察入門	総合診療科・中道、井上	第 4	
4	23	木	3 4	患者診察	患者診察入門	総合診療科・中道、井上	第 4	
5	27	水	3	オリエンテーション	学外体験実習について	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4	
			4	地域医療	漢方について	非常勤：貝沼 地域医療学		
6	5	金	3 4	Early Exposure	診療所（1）	診療の心得	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	12	金	3 4	Early Exposure	診療所（2）	診療の心得	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	19	金	3 4	Early Exposure	診療の心得	診療所（1）	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	26	金	3 4	Early Exposure	診療の心得	診療所（2）	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4
6	30	火	3 4	Early Exposure	実習のフィードバック・まとめ	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター	第 4	
7	15	水	1		矯正医療について	福岡矯正管区	第 4	
			2	地域包括	地域包括ケアシステムの理解	先端医育センター・地域医療学・地域包括ケア教育センター		
7	17	金	1	ワークライフバランス	医師にとってのワークライフバランス	伊東昌子	第2、CBT室、指導室、チュートリアル室	
			2		PBL グループ討論	伊東昌子		
			3		グループ発表・全体討論	伊東昌子		
			4		キャリア講習	伊東昌子・外部講師：富澤		

医と社会授業予定(3年後期)

10	9	金	3	医療における倫理とは何だろうか？ そして、私達自身は何によって変わるのだろうか	救急救命九州研修所・郡山	第 4	↑ 歯学部と共修 ↓	
			4	終末期医療における倫理と法 ― 医師の職業倫理に立脚した法の形成に向けて ―	富山大学・秋葉	第 4		
10	16	金	3	地球社会の「病気」と処方箋を考える（仮題）	田中 優	第 4		
			4	スピリチュアル・ケアとは？	臨床パストラルケア教育研修センター・キッパス	第 4		
10	23	金	3	薬害問題(市販薬の薬害/サリドマイド)	間宮 清	第 4		
			4	未定		第 4		
10	30	金	3	地域医療	地域包括ケアシステムの構築と医療安全の確保について (永田先生)	地域医療学・離島へき地学		第 4
			4		我が国の医療・介護制度について (坂上先生)			第 4
11	6	金	3	診療の心得	先端医育センター、地域医療学、地域包括ケア教育センター	第 4		
			4			第 4		

医 と 社 会 IV

責任者	氏名	安武 亨	内線	7987
	教室	先端医育センター	e-mail	toru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・通年（前期・後期）	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	0.5
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても学ぶ。また、コア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を認識した上での医事法制を学ぶ。また、前学年に引き続き地域包括ケアシステムの理解をさらに深める。

2. 授業内容（講義・実習項目）

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また、医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。また、地域包括ケアシステムの理解を深めるため、地域包括支援センターや訪問看護の役割等について講義を行う。多職種連携症例検討も行う。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少なくない。必要に応じて各講義で紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。講義・実習には全て出席すること。講義を欠席した学生には別途課題を課します。

5. 教員名

先端医育センター：安武亨、田中邦彦、分部哲秋、桑原宏永、江川亜希子

麻酔科：北條 美能留

細胞療法部：長井 一浩

救命救急センター：山下 和範

保健学科：大西 眞由美

歯学部：藤原 卓

非常勤：江崎 宏典（長崎医療センター院長）

非常勤：児島 達美（長崎純心大学人文学部教授）

非常勤：永田 耕司（活水女子大学教授）

非常勤：浅野 直人（福岡大学法学部長）

非常勤：福田 浩久（弁護士）

非常勤：早島 理（滋賀医科大学名誉教授、哲学倫理学）

非常勤：江田 佳子（佐々町保健師）

地域包括ケア教育センター：永田康浩、久芳さやか、石居公之、相良郁子、
牟田久美子、松坂雄亮、濱口由子

H27年度4年生(前期)

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	金	2	(がん)患者とのコミュニケーション	非常勤・永田	第4
4	10	金	2	医療リスクマネジメント(保健学科と共修)	非常勤・江崎	第4
4	17	金	2	大学病院における緩和ケア(保健学科と共修)	麻酔科・北條	第4
4	24	金	2	災害医療	救命センター・山下	第4
5	1	金	2	がん患者と家族	非常勤・児島	第4
5	8	金	2	法社会と医療	非常勤・福田	ボードイン
5	15	金	2	死生学	非常勤・早島	記念講堂
5	22	金	2	医事法制	非常勤・浅野	ボードイン
5	29	金	2	医療安全1 医療のクオリティマネジメントと安全管理	歯学部・藤原	第4
6	5	金	2	途上国における国際保健	保健学科・大西	第4
6	12	金	2	地域包括ケアシステムと多職種連携 I	先端医育センター、 地域医療学、地域包 括ケア教育センター	第4
7	2	木	3	地域包括ケアに向けた佐々町の取り組み	非常勤・江田 地域医療学	第4
			4	医療安全2 医療の質と安全の確保	細胞療法部・長井	第4
7	9	木	3	地域包括ケアシステムと多職種連携 II	先端医育センター、 地域医療学、地域包 括ケア教育センター	第1
			4			第1

医と社会授業予定(4年後期) 医歯薬共修

10	19	月	5	多職種連携症例検討(1)	先端医育センター、 地域包括ケア教育セ ンター	第3、4
10	26	月	5	多職種連携症例検討(2)	先端医育センター、 地域包括ケア教育セ ンター	第3、4

医学ゼミ

責任者	氏名	西田 教行	内線	7057
	教室	感染分子解析学	e-mail	noribaci@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜日午後4時30分～午後5時30分		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

平成27年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(1年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
神経生理 (第二生理)	篠原 一之	心の個人差の脳科学	英語論文、原書輪読を通して、心の個人差の脳科学的基盤について理解を深めるとともに、英文読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を呈する発達障害と、脳機能・形態・遺伝子多型、内分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これらの個人差・発達障害の生物学的基盤に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンと議論を行なう。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英文読解・プレゼン能力を身につける。	1年後期 2年後期	10名	金曜日1校時	第二生理学教室	レポート、出席、発表内容等を加味して総合的に評価する。	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	6名	・水曜日夕方16時半～18時(7回程度) ・月一回程度18時30分～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必	地域医療学分野セミナー室(医学部基礎棟6階)ポムベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療に関連する講義、ワークショップ、施設見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	1年前期 2年前期 3年前期	24名	8月21日(金)～8月24日(日)で前泊は不要です。	長崎県五島市	出席・発表・レポート	地域枠入学生を対象とする。地域枠入学以外の学生の希望については、定数に空きがある場合に受け入れる。※食費についてはセミナーを通して5000円/人を予定しています。
原研国際	高村 昇	国際保健入門(1)	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研における活動、特に国際保健分野における活動を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	1年前期	5名	月曜日5校時	原研棟3階コミュニティセンター	出席状況、ゼミにおける発表内容等を考慮して評価する。	

平成27年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(2年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
神経形態学	森 望	Neuroanatomy of the Mind:心の神経解剖学	神経解剖学、神経生理学の知識をベースに「認知」「意識」「認識」「感性」「行動」「意欲」等の脳内原理を理解する。その上で、「こころ」がどう生まれ、成長し、円熟するのか、あるいは、ゆらぎ、崩れるのか、自分の頭で考える。脳神経科学、精神医学への橋渡しとする。自らの頭で考え、自らの言葉で語り、自らのスタイルで発表できるようにする。	脳には形があるが、心には形がない。しかし、心は脳内に生まれる。では、脳に心はどう形成されるのか？現代の神経科学、脳科学の知識をベースに、心の形成のナゾへ挑む。	2年前期	10名	金曜日1校時	視聴覚セミナー室3	出席、発表内容、質疑応答、レポート	
肉眼解剖学	弦本 敏行	臨床解剖学への招待	様々な疾患の病態・治療を解剖学的側面から理解することにより、それら疾患への理解を深めること	さまざまな臓器に生じる各種の疾患を提示し、それらの発症メカニズムの肉眼的背景について考察する。ゼミは抄読会形式で進行する。解剖学に関連した臨床分野の英語論文を自ら調べた上で読んで理解し、プレゼンテーションする	2年後期	10名	金曜日1校時	ゼミナール室等	出席、レポート、質疑応答	
組織解剖	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。各回組織発生に関するDVDを鑑賞の後、グループ討論を行う。	2年前期 3年前期	10名	金曜日1校時	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
神経生理 (第二生理)	篠原 一之	心の個人差の脳科学	英語論文、原書輪読を通して、心の個人差の脳科学的基盤について理解を深めるとともに、英文読解・プレゼンテーション能力を養う。	近年、性格をはじめとした心の個人差、及び、社会的コミュニケーション能力障害を呈する発達障害と、脳機能・形態、遺伝子多型、内分泌機能との関わりが明らかになりつつある。そこで、これらの心の個人差・発達障害の生物学的基盤に関する最新の研究論文を読み、その内容に関するプレゼンと議論を行なう。これらの活動を通して、心の科学に関する理解を深めるとともに、臨床・研究活動に必須の英文読解・プレゼン能力を身につける。	1年後期 2年後期	10名	金曜日1校時	第二生理学教室	レポート、出席、発表内容等を加味して総合的に評価する。	
生化学	伊藤 敬	論文から学ぶ生化学	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期	7名	日曜日午前10:30時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など	
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 林 洋子 巽 理恵 畑山 実	最新の論文から探る医学生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経・血管・幹細胞に関する論文の学術的背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎回1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教官がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	5名	金曜日1校時	薬理学教室セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する	
探索病理 (病理1)	下川 功 森 亮一 Park Seongjoon	Guide of NUSM	本学医学部の歴史、現状を認識し、未来を描く。	本学医学部を紹介するホームページ、ビデオクリップを製作する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	第一病理、医局図書室	作品の創造性	開講時間以外に個人、グループ活動を必要とする。
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深める。免疫学の講義を履修した3、4年生が主要な対象であるが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	免疫学分野集會室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行	プリオン学	プリオンに関して深く掘り下げる。論文読解を中心に行う。	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う。レポートの書き方などの指導を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	8名	金曜日1校時	基礎棟8階集會室	出席およびレポート	
病態分子疫学	ブニータ・ゴーチヤン	成書で読む熱帯医学(ウイルス性胃腸炎の世界)	日本の医学生と欧米(に限らないが)の医学生の違いの一つは、reading assignmentの量である。英語が共通の媒体となるグローバルヘルス・熱帯医学の分野に関心のある学生を対象に、この分野の標準的教科書のOne chapter(viral gastroenteritis)を読むことを通して、教科書の読み方(critical reading skill)を習得する。	熱帯医学の成書として定評のある英国のManson's Tropical Diseasesおよび米国のHunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseasesのviral gastroenteritisの章を学生が分担して読むこと(翻訳することではない)により、①要点を説明するとはどういうことか、②教科書がどのような文献的エビデンスに基づいて記述されているか、また、③著者がどのようなメッセージを伝えようとしているかを理解する。	2年前期 3年前期 4年前期	1~6名	金曜日1校時	分子疫学	出席・発表・レポートで総合的に評価する。	熱帯医学研究医コースの学生、あるいはこの分野に興味のある学生を対象。本ゼミはすべて英語で行う。
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート	
精神神経科	小澤 寛樹	医療経済・政策を考える	医療従事者に必要な経済的素養、政策動向などを学ぶ	本ゼミでは参加者個々による研究発表や医療業界・医療に関する政策担当者などを招いて講演を聞く事などを通じて、医療従事者として必要なビジネス・経営に関する素養を育成する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	原則として水曜17時開始。日程は初回時に参加する人と協議して決定	精神科外来等62番診察室	ディスカッション等へ参加意欲の評価50%。各回の提出レポート・最終回の提出課題の内容50%	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	小澤 寛樹	映画から見る精神医学	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神疾患を取り扱った映像作品を毎回取り上げ鑑賞し、1~2、3人がその疾患に関して事前研究と資料作成、講義当日にプレゼンテーション。また様々なトピックでのディスカッションを実施する事で、能動的な参加姿勢を養う。	2年後期	10名程度	原則として水曜17時開始。日程は初回時に参加する人と協議して決定	第3(or第4)講義室	視聴後に行うディスカッションへ参加意欲の評価50%。各回の提出レポート・最終回の提出課題の内容50%	毎回映画の視聴後にテーマディスカッションを21時頃まで行います。期間内で5校時目以降に他科目を受講する必要のある人、その他予定のある人などは、その点留意して下さい。

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
精神神経科	今村 明	児童・思春期の精神医学を考える	精神医学の世界に於いて児童・思春期の精神医学はその社会的な重要性に比して、専門家が不足している領域である。本ゼミではこの分野を中心に取り上げ、学んでいく。	児童・思春期精神医学についての概要を学んでいく。日本語文献だけでなく、英語文献も含め、正確な知識を学ぶ。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。時間が許せば、課外実習として各種施設などを見学し、実際に学ぶ事も行いたいと考えている。	2年後期	10名程度	原則として火曜日18時以降	精神科外来	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	黒滝 直弘	バトグラフィーと司法精神医学を究める	バトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	バトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、バトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	月曜日又は水曜日18時以降	精神科外来 62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	木下 裕久	リエゾン症例から学ぶ臨床精神医学(基礎編)	総合病院の一般病棟で遭遇しやすい(する可能性のある)精神障害の症例を題材として、リエゾン精神医学の基本的な考え方を診断から治療にいたる経過を通して学べるような講義とする。	評価ソールの使い方をいれながら、低学年でも興味を持っていただけるような内容にしたいと考える。	2年後期	10名程度	木曜日17時以降	精神科外来 63番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が11名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
小児科	中嶋 有美子 (森内 浩幸)	文学作品から読む小児疾患	小児疾患が登場する文学作品を読み、それぞれの時代に描かれた小児疾患について考察することで小児疾患の特徴、医療の進歩、社会環境の変化について双方向的な学習の中で理解を深める。	大江健三郎、日下部半、松本清張、宮部みゆき、アガサ・クリスティ、らの作家の作品から小児疾患が登場するものを読み、作家が描く小児疾患像を通して作家の思いやその時代における小児疾患をとりまく社会環境について考察する。併せて現在の医療環境と比較して、医療の進歩・社会環境の変化について考える。	2年前期	8名以下	金曜日1校時	10階小児科医局カンファランス室	出席点 レポート点	
第二外科 (移植・消化器外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club 一外科の歴史から手術理論、手術手技、さらには国試対策まで	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	1. 外科の歴史(長崎の外科から世界の外科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロットって知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳腺外科のトビックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日5校時	移植・消化器外科医局(第二カンファランス室)・医局受付で問い合わせてください。	出席を重要視する。ディスカッション内容、フリートーク形式です。レポート・試験などはありません。	講義内容、順番は予定であり若干の変更があり得ます。
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ?”	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足をを行う。また、簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、討論への参加態度、発表、レポートなど	
病理診断科学	福岡 順也 橋迫 美貴子	形態から見る「癌って?」	組織を見て癌に起こっている生物学を考えるプレインストーム	がん細胞は本当にモノクローナルなのか?浸潤とは何か?癌が惹き起こす周囲の環境の変化はどう考えるのか?なぜ癌はCRにならないのか? などについて、病理学的にアプローチし、ディスカッションを行う	2年後期	5名	金曜日1校時	病理診断科医局(歯学部C棟)	ディスカッションの能力と理解度	
救命救急センター	田崎 修	救急医療を体験する。	救急医療は拙速であってはならない。本ゼミにおいては、限られた時間の中で論理的に思考し、救急疾患の診断と治療を進める救急医療の醍醐味を体験させる。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診療法を学ぶ。また、蘇生、診断、災害への対応、緊急的処置、集中治療等、救急医療で必要となる技術をシミュレーションで体験する。	2年前期 3年前期	10名	金曜日1校時	大学病院救命救急センター	出席、態度、レポートなどにより総合的に評価する。	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	感染症道場 ～見えない敵との戦い～	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先端的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	各学年3名ずつ	原則として月曜日5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	6名	・水曜日夕方16時半～18時(7回程度) ・月一回程度18時30分～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必	地域医療学分野セミナー(医学部基礎棟6階)ポニー会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田 隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	鳥嶋部における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療に関連する講義、ワークショップ、施設見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	1年前期 2年前期 3年前期	24名	8月21日(金)～8月24日(日)で前泊は不要です。	長崎県五島市	出席・発表・レポート	地域枠入学生を対象とする。地域枠入学以外の学生の希望については、定数に空きがある場合に受け入れる。※食費についてはセミナーを通して5000円/人を予定しています。

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
へき地病院 再生支援・ 教育機構	調 漸	離島・へき地医療 の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、こ れからの地域医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する医師を中心 に、地域医療に密接に関係する家庭医 や、病院総合医、フライトドクター等も講師 として招き、実情について講演して頂き、地 域医療という漠然としたイメージをリアルな 物として認識する。ゼミの後半には、夏合 宿や、実際にへき地や離島医療を体験す る離島ツアーも2泊3日程度で開催する予 定である。そして、最終日には、これらのゼ ミで学んだ事や、これからの地域医療につ いて、各自発表を行う。	2年後期 3年前期 4年前期	10名	金曜日6校時	医学部基礎 棟 1階 視 聴覚教室1	出席、講義のレ ポート、最終日 に実施する地域 医療に関するプ レゼンテーショ ン等で総合的に 判定する。	地域医療、へき地・離 島医療に関心のある 一般枠の学生の受講 も歓迎する。
地域包括ケ ア教育セン ター	永田 康浩 石居 公之	医師になるってど んなこと？ー包括 医療事始めー	医師として患者治療の意義を知り、 これに関わる医療資源と社会資源 について認識させる。	最先端医療のゴールは患者さんの社会復 帰である。疾病を患った患者が、医療機関 で治療を受け、社会に復帰するまでに、ど れだけの医療資源、社会資源を要するか を認識し、理解する。これに関わる、基礎医 学、臨床医学、社会医学について考察す る。在宅医療の現場を体験する。	2年後期	8名	金曜日1校時	医学部視聴 覚セミナー室	出席態度および レポート内容	
先端医育セ ンター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学、スポーツ栄養学、スポーツ外 傷学、トレーニング法など	2年後期 3年前期	10名	火曜または木 曜日の16:30 から	医学部セミ ナー室2など	授業参加状況、 レポートなど	体育会系部活に所属 する人、スポーツに興 味がある人、グループ 討議が出来る人を募 ります。
原研国際	高村 昇	国際保健入門(2)	一年時に引き続き、AO国際枠で入 学した学生を中心に、世界を目指す 医師・医学者を養成する目的で、国 際保健に関する成書の輪読会を行 い、あわせて国際保健に関する概 説を行う。勿論、一般入試での学生 も歓迎する。	「Textbook of International Health」をはじ めとする国際保健関連の英文資料を輪読 することで国際保健、国際医療の実際につ いてより深い理解を得る。	2年後期	10名	月曜日5校時	原研棟3階コ ミュニティー センター	出席状況、ゼミ における発表内 容等を考慮して 評価する。	

平成27年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(3年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
組織解剖	小路 武彦	ビデオで学ぶ組織発生	発生学・組織実習で得た知識を深めることを目的とする。	日本語の動画教材を用い、発生学から疾患への理解を深める。各回組織発生に関するDVDを鑑賞の後、グループ討論を行う。	2年前期 3年前期	10名	金曜日1校時	小会議室	出席、レポートを総合的に評価。	
生化学	伊藤 敬	論文から学ぶ生化学	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自習した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期	7名	日曜日午前10:30時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など	
医科薬理学	有賀 純 中川 慎介 巽 理恵 畑山 実	最新の論文から探る医学生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的な背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎週1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教官がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	5名	金曜日1校時	薬理学教室セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
探索病理 (病理1)	下川 功 森 亮一 林 洋子 Park Seongjoon	Guide of NUSM	本学医学部の歴史、現状を認識し、未来を描く。	本学医学部を紹介するホームページ、ビデオクリップを製作する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	第一病理、医局図書室	作品の創造性	開講時間以外に個人、グループ活動を必要とする。
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深める。免疫学の講義を履修した3、4年生が主要な対象であるが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自習した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	免疫学分野集會室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行	プリオン学	プリオンに関して深く掘り下げる。論文読解を中心に行う。	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う。レポートの書き方などの指導を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	8名	金曜日1校時	基礎棟8階集會室	基礎棟8階集會室	出席およびレポート
病態分子疫学	ブニーター ゴーチヤン	成書で読む熱帯医学(ウイルス性胃腸炎の世界)	日本の医学生と欧米(に限らないが)の医学生の違いの一つは、reading assignmentの量である。英語が共通の媒体となるグローバルヘルス・熱帯医学の分野に関心のある学生を対象に、この分野の標準的教科書のOne chapter(viral gastroenteritis)を読むことを通して、教科書の読み方(critical reading skill)を習得する。	熱帯医学の成書として定評のある英国のManson's Tropical Diseasesおよび米国のHunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseasesのviral gastroenteritisの章を学生が分担して読むこと(翻訳することではない)により、①要点を説明するとはどういうことか、②教科書がどのような文献的エビデンスに基づいて記述されているか、また、③著者がどのようなメッセージを伝えようとしているかを理解する。	2年前期 3年前期 4年前期	1~6名	金曜日1校時	分子疫学	出席・発表・レポートで総合的に評価する。	熱帯医学研究医コースの学生、あるいはこの分野に興味のある学生を対象。本ゼミはすべて英語で行う。
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介し発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート	
第一内科	川上 純	臨床内科のエッセンス	Early Bird lesson(EBL)への参加を行ない、臨床の基本的な考え方を学ぶ。	当科では臨床実習生、初期研修医に対して行なわれるEarly Bird lesson(EBL)へ参加する。EBLは、鑑別診断・病態の説明や標準的治療の解説から、最新のトピックスまでの内容を含み、参加を通じて実際の臨床の考え方を学ぶ。	3年前期 4年前期	10名	火曜日・水曜日 午前7時45分~8時30分	本館9階ゼミ室(906号室)	出席やレポートによる総合評価	
精神神経科	小澤 寛樹	医療経済・政策を考える	医療従事者に必要な経済的素養、政策動向などを学ぶ	本ゼミでは参加者個々による研究発表や医療業界・医療に関する政策担当者などを招いて講演を聞くなどを通じて、医療従事者として必要なビジネス・経営に関する素養を育成する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	原則として水曜日17時開始。日程は初回時に参加する人と協議して決定	精神科外来62番診察室	ディスカッション等へ参加意欲の評価50%、各回の提出レポート・最終回後の提出課題の内容50%	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	黒滝 直弘	バトグラフィーと司法精神医学を究める	バトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	バトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、バトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	月曜日又は水曜日18時以降	精神科外来62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
第一外科 (腫瘍外科)	大島 雅之 日高 重和	鏡視下手術入門~応用	20世紀後半から急速に進歩した鏡視下手術は外科手術の概念を変え、現在でもその装置、手術手技は進歩し続けている。最先端の技術であってもその基本手技は以前の開腹手術と同様に非常に重要である。鏡視下手術の原理、基本操作から応用をトレーニング装置で学びながら、鏡視下手術への理解を深めてもらう。	鏡視下手術の基礎を学んだ後にドライボックスを用いて実際の機材の操作を理解し、次第に高度なテクニクに移行する。その後シミュレーターを用いて虫垂切除術や胆嚢摘出術に挑戦する。	3年前期 4年前期	4名	水曜日5校時	腫瘍外科医局	ゼミ終了後のレポート	
第二外科 (移植・消化器外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club 一外科の歴史から手術理論、手術手技、さらには国試対策まで	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	1. 外科の歴史(長崎の外科から世界の外科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロートって知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてとにも語ろう 8. 乳癌外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日5校時	移植・消化器外科医局(第二カンファ室); 医局受付で問合い合わせてください。	出席を重要視する。ディスカッション内容、フリートーク形式です。レポート、試験などはありません。	講義内容、順番は予定であり若干の変更があり得ます。

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ？”	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足をを行う。また、簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、討論への参加態度、発表、レポートなど	
臨床検査医学	柳原 克紀	分子診断	分子診断を学ぶ	臨床微生物や腫瘍の分子診断についての文献を読む。学生は提供された文献について学習し、発表する。	3年前期 4年前期	8名	隔週月曜 18:00-19:00	臨床検査医学医局(12階)	積極的な参加、文献の理解、発表を評価する。	
救命救急センター	田崎 修	救急医療を体験する。	救急医療は拙速であってはならない。本ゼミにおいては、限られた時間の中で論理的に思考し、救急疾患の診断と治療を進める救急医療の醍醐味を体験させる。	臓器や診療科の枠を超えて、「救急的」診療法を学ぶ。また、蘇生、診断、災害への対応、緊急的技法、集中治療等、救急医療で必要となる技術をシミュレーションで体験する。	2年前期 3年前期	10名	金曜日1校時	大学病院救命救急センター	出席、態度、レポートなどにより総合的に評価する。	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	感染症道場 ～見えない敵との戦い～	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な治療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先進的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	各学年3名ずつ	原則として月曜5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・現在の地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	6名	・水曜日夕方16時半～18時(7回程度) ・月一回程度18時30分～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必	地域医療学分野セミナー室(医学部基礎棟6階)ポムベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
地域医療学	前田隆浩	しまで学ぶ地域医療集中ゼミ	島嶼部における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療に関連する講義、ワークショップ、施設見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	1年前期 2年前期 3年前期	24名	8月21日(金)～8月24日(日)で前泊は不要です。	長崎県五島市	出席・発表・レポート	地域枠入学生を対象とする。地域枠入学以外の学生の希望については、定数に空きがある場合に受け入れる。※食費についてはセミナーを通して5000円/人を予定しています。
へき地病院再生支援・教育機構	調 漸	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する医師を中心に、地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライドクター等も講師として招き、実情について講演して頂き、地域医療という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半には、夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。そして、最終日には、これらのゼミで学んだ事や、これからの地域医療について、各自発表を行う。	2年後期 3年前期 4年前期	10名	金曜日6校時	医学部基礎棟1階 視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施する地域医療に関するプレゼンテーション等で総合的に判定する。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般枠の学生の受講も歓迎する。
先端体育センター	安武 亨	スポーツ医学概論	スポーツを通じて医学を学ぶ	運動生理学、スポーツ栄養学、スポーツ外傷学、トレーニング法など	2年後期 3年前期	10名	火曜または木曜日の16:30から	医学部セミナー室2など	授業参加状況、レポートなど	体育会系部活に所属する人、スポーツに興味がある人、グループ討議が出来る人を募ります。

平成27年度「医学ゼミ」開講テーマ一覧(4年生)

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
生化学	伊藤 敬	論文から学ぶ生化学	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	2年前期 2年後期 3年前期 4年前期	7名	日曜日午前 10:30時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など	
医科薬理学	有賀 純 森 亮一 理恵 山田 美	最新の論文から探る医学生物学研究の潮流	トップジャーナルに掲載された脳神経、血管、幹細胞に関する論文の学術的背景や意義を理解して、最新の研究動向を把握し、今後の研究戦略を考える。	Nature, Science, Cellなどの国際科学誌の最新号に掲載された文献を毎回1報ずつ紹介する。発表はパワーポイントなどを使用し、論文に記載されている実験内容や結果を解説する形式で行う。なお、論文の選定から読解、発表まで教官がマンツーマンで指導する。期間中に2回の発表を予定している。	2年前期 3年前期 4年前期	5名	金曜日1校時	薬理学教室 セミナー室	出席内容、発表内容を考慮して評価する。	
探索病理 (病理1)	下川 功 森 亮一 林 洋子 Park Seongjoon	Guide of NUSM	本学医学部の歴史、現状を認識し、未来を描く。	本学医学部を紹介するホームページ、ビデオクリップを製作する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	第一病理、 医局図書室	作品の創造性	開講時間以外に個人、グループ活動を必要とする。
免疫学	由井 克之	論文から学ぶ免疫学	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深める。免疫学の講義を履修した3、4年生が主要な対象であるが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	免疫学分野 集会室	発表内容、参加態度、レポート、出欠を総合的に評価	
感染分子	西田 教行	プリオン学	プリオンに関して深く掘り下げる。論文読解を中心に行う。	原著論文を読むことで、科学的批判力を養う。レポートの書き方などの指導を行う。	2年前期 3年前期 4年前期	8名	金曜日1校時	基礎棟8階 集会室	出席およびレポート	
病態分子疫学	ブニーター ゴーチヤン	成書で読む熱帯医学(ウイルス性胃腸炎の世界)	日本の医学生と欧米(に限らないが)の医学生の違いの一つは、reading assignmentの量である。英語が共通の媒体となるグローバルヘルス・熱帯医学の分野に関心のある学生を対象に、この分野の標準的教科書のOne chapter(viral gastroenteritis)を読むことを通して、教科書の読み方(critical reading skill)を習得する。	熱帯医学の成書として定評のある英国のManson's Tropical Diseasesおよび米国のHunter's Tropical Medicine and Emerging Infectious Diseasesのviral gastroenteritisの章を学生が担当して読むこと(翻訳することではない)により、①要点を説明することはどうということか、②教科書がどのような文獻的エビデンスに基づいて記述されているか、また、③著者がどのようなメッセージを伝えようとしているかを理解する。	2年前期 3年前期 4年前期	1~6名	金曜日1校時	分子疫学	出席・発表・レポートで総合的に評価する。	熱帯医学研究医コースの学生、あるいはこの分野に興味のある学生を対象。本ゼミはすべて英語で行う。
公衆衛生	青柳 潔	論文から学ぶ公衆衛生学	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	公衆衛生学 資料室	積極性、レポート	
法医学	山本 琢磨	異状死とは? 死 者からの伝言	法医学教室ではさまざまな死と遭遇する。事件事故であれ病気があれ、死には必ず原因があり、生には常にその原因が付随している。各々の事例についてそんな観点から考え、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案書、解剖検査記録などを参考にして、「なぜこうなったのか」、さらには「防ぐことはできたか」を考える。適宜、論文検討を加え、最終的に症例報告として報告書をまとめる。	4年前期	10名	金曜日5校時	基礎棟6階 法医学教室 大学院セミナー室	総合的に評価する	
第一内科	川上 純	臨床内科のエッセンス	Early Bird lesson(EBL)への参加を行ない、臨床の基本的な考え方を学ぶ。	当科では臨床実習生、初期研修医に対して行なわれるEarly Bird lesson(EBL)へ参加する。EBLは、鑑別診断・病態の説明や標準的治療の解説から、最新のトピックスまでの内容を含み、参加を通じて実際の臨床の考え方を学ぶ。	3年前期 4年前期	10名	火曜日・水曜日 午前7時 45分~8時30分	本館9階ゼミ 室(906号室)	出席やレポートによる総合評価	
第二内科	宮崎 泰可	内科診療実践編	教科書を読むだけではわからない、内科臨床医に求められる実践的な判断力、手技を身につける。	模擬病歴、実際の画像、シミュレーターなどを用いて実践的な内科の知識と手技の習得を目指す。	4年前期	10名	金曜日1校時	病院12階カンファレンス室集合、必要に応じてシミュレーションセンターへ移動。	出席状況、レポート、討論への参加具合の評価。	
消化器内科	竹島 史直	GUT CLUB	様々な腸疾患の臨床をより深く学習する。	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究やUp to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	4年前期	6名	金曜日16時 30分	消化器内科 医局	出席や発表内容より総合的に評価	
循環器内科	前村 浩二	心電図道場(実地から学ぶ心電図判読)	心電図に対する苦手意識をなくし、おもしろく判読ができるようになることをめざす。	講義で学んだだけでは、心電図判読に苦手意識を持っている学生が多い。心電図判読のコツは最初に心電図判読の作法を理解した上で、多くの症例の心電図を自分で読んでみることである。本ゼミでは、さまざまな症例の心電図を自分で実際に読んでもらい、それを添削しながら判読のコツをつかんでもらう。後半では症例に即してクイズ形式で読んでもらう。	4年前期	10名	金曜日5校時	病院本館9階 ゼミナール 室(906)	出席率、討論参加度	
精神神経科	小澤 寛樹	医療経済・政策を考える	医療従事者に必要な経済的素養、政策動向などを学ぶ	本ゼミでは参加者個々による研究発表や医療業界・医療に関する政策担当者などを招いて講演を聞く事などを通じて、医療従事者として必要なビジネス・経営に関する素養を育成する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	原則として水曜日17時開始。日程は初回時に参加する人と協議して決定	精神科外来 62番診察室	ディスカッション等へ参加意欲の評価50%、各回の提出レポート・最終回後の提出課題の内容50%	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。
精神神経科	黒滝 直弘	バトグラフィーと司法精神医学を究める	バトグラフィー(病跡学)とは、過去の偉人等を対象に精神医学・心理学等の視点からその生涯での疾病の意義を分析する。この手法は司法精神医学等にも応用される。本ゼミではこれを学ぶ。	バトグラフィーについて、まず基礎的な知識を学ぶ。その上で参加者一人(又はグループ)毎に、実際に特定の人物(過去だけでなく現代人や事件等も含め)を対象にして、バトグラフィーによる分析を実習する。映像作品等での視覚的な学習も随時実施する。	2年前期 3年前期 4年前期	10名程度	月曜日又は水曜日18時以降	精神科外来 62番診察室	①ゼミへの積極的な参加姿勢や自主性 ②講義終了後に提出してもらった課題の成果以上を総合的に判断する	参加希望者が10名を超過する場合には、希望者への事前課題等で選考を実施する場合もある。また夕方からの実施のため、その時間帯での別の講義や私的予定など、受講にあたっては十分考慮すること。

教室	責任者名	ゼミテーマ (サブタイトル)	目的・方針	内容	対象学年 開講時期	受講可能 人数	開講時間	場所	評価方法	備考
第一外科 (腫瘍外科)	大畠 雅之 日高 重和	鏡視下手術入門 ～応用	20世紀後半から急速に進歩した鏡視下手術は外科手術の概念を変え、現在でもその装置、手術手技は進歩し続けている。最先端の技術であってもその基本手技は以前の開腹手術と同様に非常に重要である。鏡視下手術の原理、基本操作から応用をトレーニング装置で学びながら、鏡視下手術への理解を深めてもらう。	鏡視下手術の基礎を学んだ後にドライボックスを用いて実際の機材の操作を理解し、次第に高度なテクニックに移行する。その後シミュレーターを用いて虫垂切除術や胆嚢摘出術に挑戦する。	3年前期 4年前期	4名	水曜日5校時	腫瘍外科医局	ゼミ終了後のレポート	
第二外科 (移植・消化器外科)	江口 晋	Nagasaki Surgical Club 外科の歴史から手術理論、手術手技、さらには国試対策まで	外科の入門編から実技さらには国試対策まで幅広く、週替りの講師陣による座談会形式のゼミです。外科実技や英会話も取り入れ、実践的な能力アップも図りたいと思います。	1. 外科の歴史(長崎の外科から世界の外科の歴史まで) 2. 外科の基本手技(縫合、鏡視下手術実技などの実技を含みます) 3. 診察、学会発表に役立つ英会話 4. 外科におけるEBM(論文の見方、読み方教えます) 5. 消化管外科の温故知新:ピルロートって知ってる? 6. 国試に出る外科学(2年生にも分かり易く解説します) 7. 移植についてともに語ろう 8. 乳腺外科のトピックス 9. 小児外科医が未来の子供に出来ること 10. 未来の外科学(ロボット手術、再生医療) 11. 先輩外科医から聞く深い話(座談会形式で熱く語り合います)	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日5校時	移植・消化器外科医局(第二カンファ室):医局受付で問い合わせてください。	出席を重要視する。ディスカッション内容。フリートーク形式です。レポート・試験などはありません。	講義内容、順番は予定であり若干の変更が得られます。
泌尿器科	宮田 康好	マンガで学ぶ“泌尿器科ってなんだ?”	本ゼミを初歩の泌尿器科学入門と位置づけ、マンガという身近な教材を用いて泌尿器科学の受け持つ領域と特徴を知り、さらに発展させて現代医学・医療の基本部分の理解へもつなげていく。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴などを直観的に捉えられるように、主にマンガやビデオ等のメディアを用いて、学生自身が司会進行する形で発表を行う。これに適宜教官からの補足を。また、簡単なプレゼンテーションスキルやアイデア抽出法についても学ぶ。	2年前期 3年前期 4年前期	10名	金曜日1校時	泌尿器科医局	出席率、討論への参加態度、発表、レポートなど	
臨床検査医学	柳原 克紀	分子診断	分子診断を学ぶ	臨床微生物や腫瘍の分子診断についての文献を読む。学生は提供された文献について学習し、発表する。	3年前期 4年前期	8名	隔週月曜 18:00-19:00	臨床検査医学医局(12階)	積極的な参加、文献の理解、発表を評価する。	
臨床感染症学・感染制御教育センター	泉川 公一	感染症道場 ～見えない敵との戦い～	Ebola出血熱や薬剤耐性微生物の脅威に対して人類はどのように対応しているかを学ぶ。生き物vs生き物の独特な医療においてヒトが勝者になれるか、その可能性を探る。	日本のみならず世界各地で発生している様々な感染症について、その診断、治療ならびに先端的な研究について学び、ヒトが微生物をどのように攻略していくのかそのプロセスを学び、臨床と基礎のbridgingとは何かを習得する。	2年前期 3年前期 4年前期	各学年3名ずつ	原則として月曜5校時	長崎大学病院	出席状況、発表などの総合評価	
地域医療学	前田 隆浩	地域医療学入門	地域医療の現状について、自ら調べ、現場のプロフェッショナルから話を聞き、地域医療を理解する。	・地域医療に関する論文(邦文・欧文)や記事、教科書、書籍を集めまとめる。 ・WS形式で知識を共有し理解を深める。 ・実際に地域医療の現場のプロフェッショナルに話を聞く。 ・実際に地域医療について把握し、地域医療の今後について考える。 ・月に一回程度行われる、地域医療の現場で働く人を招いて行う研究会に出席する。	1年前期 2年前期 3年前期 4年前期	6名	水曜日夕方16時半～18時(7回程度) ・月一回程度18時30分～20時30分(地域医療研究会・曜日不定)(4回程度) 上記2つ全てに出席が必	地域医療学分野セミナー室(医学部基礎棟6階)ポーンベ会館(予定)	出席とレポートとゼミ受講態度	
へき地病院再生支援・教育機構	調 漸	離島・へき地医療の達人から学ぶ	へき地や離島医療の現状を学び、これからの地域医療について考える	離島・へき地の第一線で活躍する医師を中心に、地域医療に密接に関係する家庭医や、病院総合医、プライマドクター等も講師として招き、実情について講演して頂き、地域医療という漠然としたイメージをリアルな物として認識する。ゼミの後半には、夏合宿や、実際にへき地や離島医療を体験する離島ツアーも2泊3日程度で開催する予定である。そして、最終日には、これらのゼミで学んだことや、これからの地域医療について、各自発表を行う。	2年後期 3年前期 4年前期	10名	金曜日6校時	医学部基礎棟1階 視聴覚教室1	出席、講義のレポート、最終日に実施する地域医療に関するプレゼンテーション等で総合的に判定する。	地域医療、へき地・離島医療に関心のある一般校の学生の受講も歓迎する。

リサーチセミナー

責任者	氏名	福岡順也	内線	7053
	教室	臨床病理学	e-mail	fukuokaj@nagasaki-u.ac.jp
	アドバイザー			
対象年次・学期		3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択		必修	単位数	11.5
英語名		Research Seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

有能な医師になる為には、基礎研究を理解し、実施する能力が必須である。医学はまだ発展途上にあり、有能な医師は、その発展の一端を担える能力、研究成果の是非を判断する能力を習得しなければならない。現在、専門医の重要性が強調される裏側で、研究に対する意識が薄らぐ傾向にあると言えるが、リサーチセミナーでは、研究の実践を通じて「医学」が「科学」としていかに発展するかというプロセスを学ぶ。セミナー期間中は、熱帯医学研究所・原爆後遺症医療研究所を含む基礎系教室で終日研究活動に従事し、配属先の基礎医学系教員とマンツーマンの指導を受け、研究背景を学術論文から理解し、研究計画書を作成して実践し、研究結果をまとめ、発表および討論を行う能力を身につけることを目標とする。なお合同発表会は、可能な限り一般公開する。

2. 期間

平成28年1月4日（月）から同年2月26日（金）研究報告書提出は学務係へ（㇔切り3月2日）

3. 研究テーマの選択方法

1. 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教官名とそのテーマに従事する学生数が公示される。
2. 各学生は希望する教室とテーマを1つ選択して提出する。
3. この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
4. 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
5. 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを1つ選択して提出する。
6. 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4. と5. の操作を繰り返す。

4. リサーチセミナー履修の認定の条件

1. セミナー開始時にオリエンテーション（総合オリエンテーション、実験動物についての講義）、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
2. 研究活動に200時間以上に従事していること。
3. 研究報告書（A4のフォーマットを準備）を学務係へ提出すること。（㇔切り3月2日）
（ワープロまたはボールペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可）
4. 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教官はこの評価をリサーチセミナー責任者に提出する。（㇔切り3月2日）
5. 今年度5月に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席していること。
6. 翌年度に開催される「リサーチセミナー合同発表会」に出席し、発表・討論を行うこと。

5. 指導講座等

医学部及び熱帯医学研究所・先導生命科学支援センターの基礎系講座。

6. 成績評価の方法・基準

研究報告書・担当教官の評価・発表会の評価から総合的に評価する。

臨床実習

責任者	氏名	上谷 雅孝	内線	7355
	教室	放射線医学	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	4年・後期 5年・前期、後期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	55単位
英語名	Clinical Clerkship I (Core clerkship rotation)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

臨床の現場を実際に体験し、これまでに学んできた基礎医学、社会医学および臨床医学の基本的知識を再構築して応用し、患者が抱えている問題を解決する能力を身につける。目標は、①受持ち患者の情報を収集し、診断して治療計画を立てる。②受持ち患者の基本的な身体診察ができる。③基本的手技を学ぶ。である。更に、患者を全人格としてとらえ、対応する能力、医療を支える他職種の役割の理解と協力の重要性をも学びとる。

以下の診療科をローテートする。

第1内科、整形外科・形成外科、麻酔科、救命救急センター、眼科・脳神経外科、消化器内科、精神神経科・耳鼻咽喉科、第2外科、臨床検査医学・原研内科、産科婦人科、皮膚科・泌尿器科、小児科、循環器内科、心臓血管外科・地域病院、第2内科、放射線科・熱研内科、第1外科、総合病理学・総合診療科・社会医学

2. 授業内容（講義・実習項目）

診療科により異なる。臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各科で、出席状況、実習状況等を総合的に評価する。Advanced OSCEの成績は臨床実習の成績の一部となる。

5. 教員名

臨床実習要項を参照。

離島医療・保健実習にあたって

【はじめに】

離島地区においては、地域に密着した保健・医療・福祉の連携体制が構築されており、地域保健、地域医療を学ぶうえで最適のモデルと言えます。本実習では、多職種連携による地域包括ケアの現場を体験し、離島地区の現状を社会的・文化的・地理的な背景なども含め幅広く理解することを目的とします。

【実習要項(本冊子)と実習支援サーバーについて】

日程、注意点、実習支援サーバー、レポート概要、連絡先、交通、宿泊、実習施設などの基本事項についてはこの実習要項を参照してください。その上で実習支援サーバーにアクセスし、詳細な情報の取得やアンケート・レポート提出を行って下さい。

【共修について】

長崎大学医学部医学科 4,5 年生、保健学科 4 年生、薬学部薬学科 6 年生、歯学部歯学科 5,6 年生が共修で行います。チーム医療を推進していくためには、職種間の相互理解や連携、そして協働能力が強く求められますので、この共修の場をチーム医療学習の場と捉え、積極的な交流を心掛けて各自のネットワークを拡げて下さい。

【実習施設】

本冊子の 34～38 ページに各実習施設の地図および主な交通機関の連絡先やホームページアドレスを掲載しています。また、実習施設ごとの連絡先および実習責任者のお名前の一覧表もありますので、実習前に必ず確認をしておいてください。実習施設紹介については、地域医療実習支援サーバーに PDF 形式で掲載されています。そのため、各自実習スケジュールにて実習内容を確認後、自分の実習する施設については事前に必ず確認しておいて下さい(実習施設により注意事項が異なります)。

【移動・宿泊】

対馬・壱岐・上五島・下五島の四つのコースに分かれて実施するため、移動および宿泊もそれぞれ異なります。本冊子、実習支援サーバー、掲載している主な交通機関のホームページなどを確認のうえ安全で確実な移動を心掛けて下さい。宿泊については鍵の受け渡し方法なども施設によってまちまちですので、不明な場合は早めに確認して下さい。

I. 長崎大学医学部医学科

【目 標】

1. 一般的目標 General Instruction Object, GIO

- 1) 地域住民の健康や疾病と生活環境との関わりを理解し、健康に関わる問題を解決する考え方の基本を身に付ける。
- 2) 地域医療・地域保健実践の場で必要とされる知識、情報収集方法、マネジメント法についての基礎を身に付ける。
- 3) 保健・医療・福祉の役割を把握し、相互の連携についての理解を深める。
- 4) 地域住民の心理・社会的背景を正確に理解し、全人的医療実践の基本を身に付ける。
- 5) 地域保健・医療の役割を理解し、積極的な自己学習の基盤となる態度を身に付ける。

2. 個別行動目標 Specific Behavioral Object, SBO

- 1) 中核病院の先進医療とプライマリ・ケアを中心とした診療所での診療の両方を体験し、中核病院と診療所との密接な連携についての理解を深める。
- 2) tele-medicine を活用した診療支援システムを把握し、広域医療ネットワークでの離島救急医療についての理解を深める。
- 3) 診療所外での診療・介護を実際に体験することで、地域医療における在宅医療・介護支援の重要性を理解する。

【基本事項】

1. 概要

対馬・壱岐・上五島・下五島の4つのコースに分かれ、保健・医療・福祉の内容から構成された1週間のプログラムの中で実習を行います。様々な職種の指導者のもとで他の学部学科との共修を行い、地域の医療やケアへの理解を深めていただきます。

2. 実習日程

実習日	第1～5日		第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
曜日	月～金	土・日	月	火	水	木	金
実習内容	病理・総診 坂本地区	移動	離島医療・保健実習 対馬・壱岐・上五島・下五島からコース選択				

総合病理学・総合診療科学・社会医学の2週間の期間のうち、後半1週間を離島医療・保健実習として実施します。

3. 注意事項

- ・ 学外ということで気が緩みがちになる場合も考えられますが、地域住民の方からの関心も高く、長崎大学医学部医学科生として節度ある態度で実習に臨む必要があります。
- ・ 服装、言葉使い、態度など地域住民の方に対して失礼にならないようにしてください。
- ・ 事故などには十分注意して下さい。

4. 評価方法

出席、実習状況、レポートを総合して評価します。

【交通・食事】

1. 交通

- 1) 原則として第6日の前日（日）までに移動し、所定の宿舎へ入って下さい。
- 2) 原則として第10日（金）の実習終了後、長崎へ移動して下さい。
- 3) 差額の自己負担による移動手段の変更（例：フェリー→ジェットfoil）は可能です。
- 4) 天候（波風など）の悪化が予想される場合は、早めに移動するようにして下さい。気象条件による前泊や延泊は対応可能です。そのような場合、変更にかかる手数料等は原則として補助することができません。
- 5) 理由に関わらず時間の変更等があれば26～27ページを参照のうえで連絡してください。

2. 食事

- 1) 原則として、各自で手配してください。
- 2) 一部の实習施設（小値賀町診療所など）では、有料の病院食を提供するよう計画されていますので、実習施設の方針に従って下さい。

〔対馬コース〕

- ・ 対馬いづはら病院と中対馬病院の再編統合による対馬地域新病院(仮称)から実習中の宿泊や移動についてご指示を頂きます。本冊子作成時点では今年度の移動と宿泊は未定です。実習前週に実施するオリエンテーションおよび現地での病院の担当者の方からの指示を確認して下さい。
- ・ 航空機のチケット・長崎空港までのバス回数券を事前に学務係より配布します。航空券は事前に希望の日時をペアとなっている学生とともに学務係に連絡し、それに基づいてチケットを配布します。チケット申請後の個人的な理由に伴う変更の手数料は各自の負担とします。
- ・ 一部の移動は職員の移動と連動しているため、早めの集合をお願いします。
- ・ 初日は午前8時に病院医局に集合し、川上院長の指示に従って下さい。
- ・ 豊玉診療所から特養わたづみへは、徒歩(3分ほど)で移動して下さい。
- ・ 対馬市福祉保健部は豊玉支所内にあります。9時までに移動して下さい。
- ・ 対馬市社会福祉協議会へは、9時までに移動して下さい。
- ・ あすか訪問看護ステーションは昨年度まではいづはら病院から徒歩で移動していましたが、今年度については実習期間の前に改めて確認を行います。

V. 他大学 離島実習

1. **実習期間** 随時相談の上受け入れる。

2. 実習内容・方法

- ・ 原則的に長崎大学の離島医療保健実習の形式に準じて実施する。
- ・ 5日間以上の離島医療・地域保健実習が望ましいが、相談の上調整する。
- ・ 実習施設は、地域医療に必要とされる医療・保健・福祉のネットワーク、中核病院と診療所とのネットワークが学べるよう、相談の上選択する。

3. 実習スケジュール

具体的な集合時間や送迎計画は、事前に離島・へき地医療学講座より連絡する。

5. 移動

1) 五島・対馬までの移動

所属大学の方針を踏まえて各自で手配して下さい。

2) 島内での移動

各コースの実習担当者の指示に従って下さい。

6. 宿舎

各コースの学生用宿泊施設を利用することが出来ます(要確認)。その際には、寝具レンタル料と光熱費については自己負担をお願いします。各自でホテル等を手配した場合は、ホテル名、住所、電話番号を離島医療研究所に連絡してください。

7. 実習中の食事

原則的に、実習中の食事は各自手配して下さい。

8. 実習の評価

各大学の評価票があれば、それに則り評価を行うため、実習前に提出して下さい。また、実習サーバーへのプロフィール、アンケート、レポートのオンライン提出が必要です。詳細は【地域医療実習支援サーバー】を参照してください。

【離島医療実習支援サーバー】

原則的に、全ての実習生（医学部・歯学部・薬学部・他大学学生）が使用する。実習に必要なお知らせが適宜掲載されるため、必ず実習直前にチェックしておく。また、プロフィール入力およびアンケート入力、レポート提出もこのサーバーで行う。

1. アクセス方法

- 1) 離島医療研究所ホームページ(<http://ritouken.net>)のメニューから地域医療実習支援サーバーをクリックしてアクセスするか、<http://133.45.184.12/ritou/index.html> でアクセスする。
- 2) IDとパスワードを入力し、ログインする（IDとパスワードは事前に配布）
- 3) パスワードは各人で変更可能である。
- 4) 学生は自分以外の学生のプロフィールやレポートを閲覧する事はできない。

2. パスワードを紛失した場合

離島医療研究所学生担当の野原(E-mail: natsuki-nohara@nagasaki-u.ac.jp)へ氏名、履修番号、メールアドレス、パスワード紛失の旨を明記しメールして下さい。折り返し連絡します。**休日や時間外には対応できません。また、実習施設に連絡することは絶対にしないで下さい。実習施設はサーバー管理を行っておらず、パスワードも分かりません。**

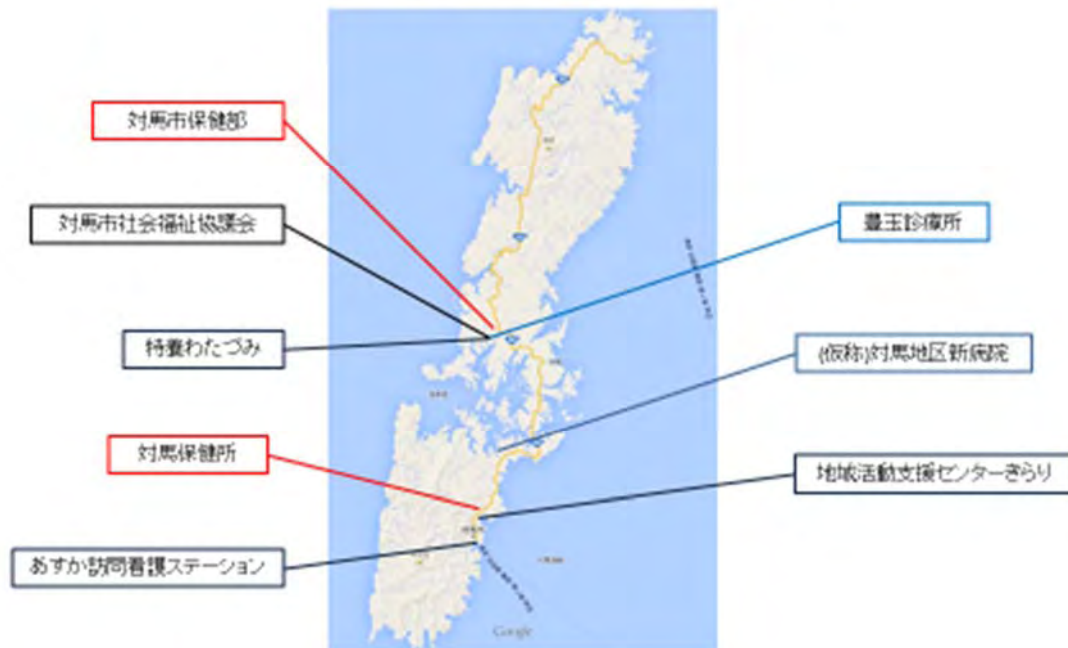
3. プロフィールの入力

- 1) プロフィールを入力する場合は、画面のメニューから「プロフィール登録」をクリックし、その後の画面の指示に従うこと。
- 2) 画面に表示された項目に沿って入力を行って下さい。簡単な自己紹介と実習で学びたいことについて内容は自由記載ですが、実習担当者との円滑なコミュニケーションのためにもできるだけ多くの記載があることが望ましいです。
- 3) 写真は必須項目のため、横200×縦300ドット程度のJPEG画像ファイルを参照のボタンをクリックして指定し、必ずアップロードを行うこと。
- 4) 長崎大学医学部医学科は、名札用に撮影した顔写真をアップロードしてあるが、変更したい場合は各自で変更すること。

4. 実習前の活用

来島する前に自分の実習する施設に関して予習してくること。また、サーバーのお知らせをチェックし、実習施設の指示があればそれに従うこと。

対馬地区 実習施設



[主要交通機関]

長崎バス(バス)

総合サービスセンター TEL : 095-826-1112

URL : <http://www.nagasaki-bus.co.jp/bus/index.html>

長崎県営バス(バス)

長崎ターミナル TEL : 095-826-6221

URL : <https://www.keneibus.jp/>

ANA・全日本空輸(飛行機)

国内線予約・案内センター TEL : 0570-029-222

URL : <https://www.ana.co.jp/>

対馬交通株式会社(バス)

代表 TEL : 0920-52-1810

URL : <http://nttbj.itp.ne.jp/0920521810/index.html>

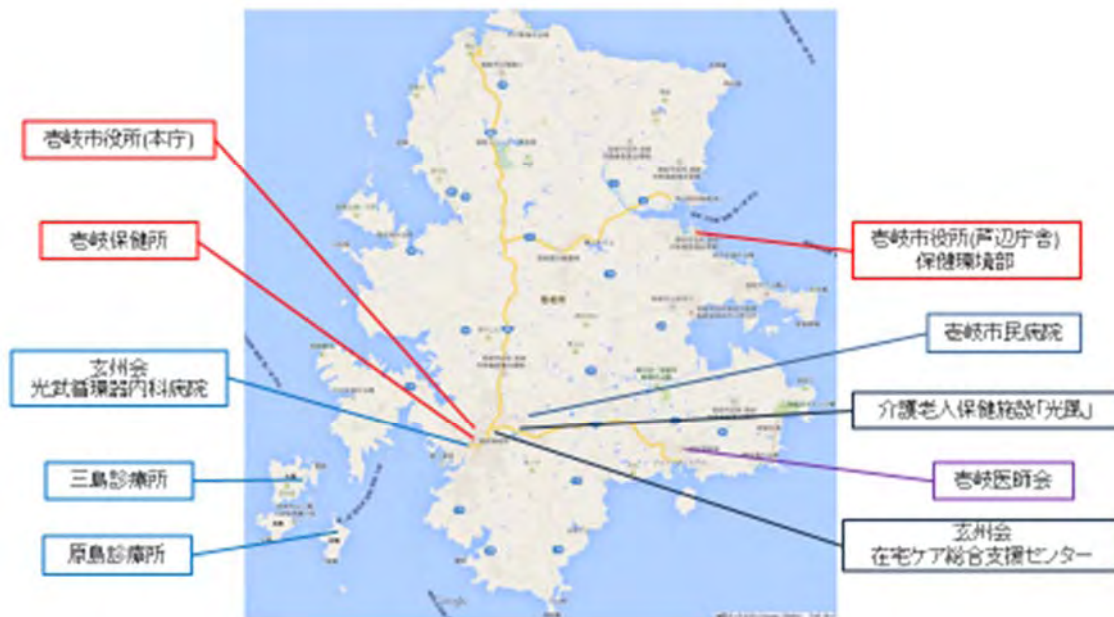
美津島タクシー(タクシー・空港周辺)

TEL : 0920-54-4444

厳原タクシー(タクシー・厳原周辺)

TEL : 0920-52-0027

壱岐地区 実習施設



[主要交通機関]

長崎バス(バス)

総合サービスセンター TEL : 095-826-1112

URL : <http://www.nagasaki-bus.co.jp/bus/index.html>

長崎県営バス(バス)

長崎ターミナル TEL : 095-826-6221

URL : <https://www.keneibus.jp/>

ORC・オリエンタル・エア・ブリッジ(飛行機)

予約センター TEL : 0570-064-380

URL : <http://www.orc-air.co.jp/>

玄海交通株式会社(バス)

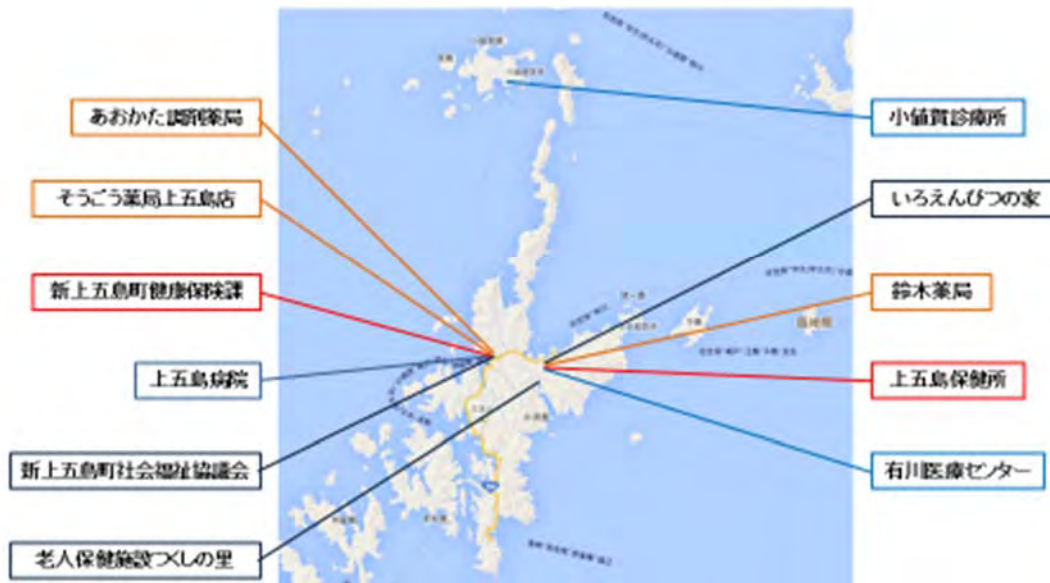
代表 TEL : 0920-47-1255

URL : <http://iki-kotsu.com/bus/>

玄海交通タクシー(タクシー)

TEL : 0920-47-1155

上五島地区 実習施設



[主要交通

[主要交通機関]

九州商船(船)

長崎港ターミナル 095-822-9153

URL : <http://www.kyusho.co.jp/>

野茂商船(船)

福岡支社 TEL : 092-291-0510

URL : <http://www.nomo.co.jp/>

五島産業汽船(船)

有川本社 TEL : 0959-42-3447

URL : <http://www.goto-sangyo.co.jp/>

西彼バス(バス)

代表 TEL : 0956-25-1111

URL : <http://www.bus.saihigroup.co.jp/>

有川タクシー(タクシー・有川周辺)

TEL : 0959-42-0256

共和タクシー(タクシー・青方周辺)

TEL : 0959-52-2175

下五島地区 実習施設



[主要交通機関]

九州商船(船)

長崎港ターミナル 095-822-9153 (平日 9:00~17:00、土 9:00~12:30)

URL : <http://www.kyusho.co.jp/>

ANA・全日本空輸(飛行機)

国内線予約・案内センター TEL : 0570-029-222

URL : <https://www.ana.co.jp/>

ORC・オリエンタル・エア・ブリッジ(飛行機)

予約センター TEL : 0570-064-380

URL : <http://www.orc-air.co.jp/>

五島バス(バス)

代表 TEL : 0959-72-2173

URL : http://www.campanahotel.com/gotobus_top/

観光タクシー(タクシー)

TEL : 0959-72-4151

大波止タクシー(タクシー)

TEL : 0959-72-2854

五島タクシー(タクシー)

TEL : 0959-72-2171

平成27年度 離島医療保健実習 グループ編成と実習スケジュール

		月	火	水	木	金
①	コース	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日
	上五島	上五島病院 有川医療センター	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課 五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター) 五島中央病院(内科) 五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう 五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター)	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)小値賀診療所 あおかた調剤薬局 そごう薬局 上五島店 五島中央病院(小児科) 二(奈留健診) (午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	小値賀診療所 (午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院
	下五島	五島中央病院(内科) 五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう 五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター)	五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター) 五島中央病院(内科) 五島市長寿介護課 特定健診 五島市地域包括支援センター 五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう 五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター) 山内診療所	五島中央病院(内科) 五島中央病院(看護部) 桜町調剤薬局 三井薬店 あい調剤薬局 南町店 奈留医療センター	五島保健所
	保健学科	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	五島市長寿介護課 特定健診 五島市地域包括支援センター	五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター)	五島中央病院(看護部)	
	薬学部	五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター) 福江薬局 富江薬局	只狩荘 五島市健康政策課 特定健診 (福江保健センター)	三井薬診療所/嵯峨島出張診療所 五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう		
②	コース	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
	杵岐	杵岐病院	杵岐市健康保健課 杵岐市地域包括支援センター	(午前)杵岐保健所 (午後)訪問診療 (午前)杵岐保健所 (午後)在宅ケア総合支援センター (午前)杵岐保健所 (午後)訪問診療	在宅ケア総合支援センター 三島診療所/原島診療所 在宅ケア総合支援センター	(午前)介護老人保健施設 光風 (午後)杵岐病院
	上五島	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院 有川医療センター	新上五島町社会福祉協議会	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所 あおかた調剤薬局 鈴木薬局	小値賀診療所 (午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院
	下五島	五島中央病院(内科) 五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう 五島市社会福祉協議会 富江支所 五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	みどりが丘クリニック 五島中央病院(内科) 五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター 聖マリア病院 岐宿歯科診療所 近藤歯科医院 五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	五島中央病院(小児科) (3歳児健診) 玉之浦診療所 五島中央病院(看護部) 動脈硬化健診 (奈留保健センター) 五島中央病院(リハビリ室)	奈留医療センター 動脈硬化健診(奈留開発センター) 訪問看護ステーションあぶんげ こまき歯科医院 横山歯科医院 動脈硬化健診 (奈留開発センター)	五島保健所
	保健学科	五島市社会福祉協議会 富江支所	五島市地域包括支援センター	五島中央病院(看護部)		
	歯学部	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう 只狩荘	聖マリア病院 岐宿歯科診療所 近藤歯科医院	動脈硬化健診 (奈留保健センター)		
薬学部	ニック調剤薬局 ごとう店 あおぞら薬局 只狩荘	五島市地域包括支援センター 聖マリア病院	山内診療所 ゆうとく薬局 福江薬局	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう 五島市社会福祉協議会 富江支所		

コース	グループ	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日
上五島	医学科 D,d	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
	医学科 D,d	五島中央病院(内科)	五島市健康政策課 特定健診 (久賀・蔵)	みどりが丘クリニック	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	
	保健学科	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	五島中央病院(内科)	五島市健康政策課 特定健診 (奥浦・南河原)	山内診療所	
		訪問看護ステーションあぶんせ	五島市社会福祉協議会(デイトはまゆう)	五島中央病院(内科)	五島市健康政策課 特定健診(下崎山・大翠)	
		サポートセンターゆうなぎ	五島市健康政策課 特定健診 (久賀・蔵)	五島市健康政策課 特定健診 (奥浦・南河原)	五島市地域包括支援センター	
下五島	歯学部	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	五島市健康政策課 特定健診 (久賀・蔵)	岐宿歯科診療所 近藤歯科医院	五島中央病院リハビリ室	五島保健所
		富江薬局	こまき歯科医院	只狩荘	五島市健康政策課 特定健診 (下崎山・大翠)	
		桜町調剤薬局 三井薬店	横山歯科医院	三井薬診療所/嵯峨島出張診療所	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	
	薬学部	サポートセンターゆうなぎ	あい調剤薬局 南町店	只狩荘	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	

コース	グループ	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日
香岐	医学科 E,e	香岐病院	香岐市健康保健課 香岐市地域包括支援センター	介護老人保健施設 光風	三島診療所/原島診療所 (午前)在宅ケア総合支援センター (午後)訪問診療	(午前)香岐病院 (午後)香岐文化ホール 乳児検診
	保健学科				三島診療所/原島診療所	小値賀診療所 (午前)上五島病院
上五島	医学科 E,e	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院(15:30すぎから参加)	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	新上五島町社会福祉協議会	三井薬診療所/嵯峨島出張診療所	五島中央病院(内科)
	医学科 E,e	五島市健康政策課 健診結果説明会 (岐宿町公民館 山内分館)	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	三井薬診療所	五島中央病院(小児科)	
	保健学科	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	五島市健康政策課 健診結果説明会 (岐宿町公民館 川原分館)	五島中央病院(看護部)	
		只狩荘	五島市社会福祉協議会 デイトはまゆう	近藤歯科医院 横山歯科医院	聖マリア病院	五島保健所
	歯学部	五島市健康政策課 健診結果説明会 (岐宿町公民館 山内分館)	只狩荘	五島中央病院(リハビリ室)	岐宿歯科診療所/山内出張所 こまき歯科医院	

台風の為午後から参加

(下五島)
7/13 歯学部 8:05長崎発フェリーで下五島7/13 長崎港12:25発奈良尾港15:00着のフェリーで上五島へ
実習は午後から参加

(上五島)
7/16 訪問看護実習《月曜日にできなかった為》
(午後) 上五島病院内で実習《小値賀の船が欠航したため》

7/17 上五島病院外来で実習、13:35奈良尾発長崎行フェリーで帰る。

コース	グループ	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日
上五島	医学科 F,f	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
	医学科 F,f	動脈硬化健診 結果説明会 (中須生活館/小川生活館)	奈留医療センター	五島中央病院(内科)	サポートセンター(ゆうなぎ (午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	五島保健所
下五島	保健学科	五島中央病院(内科)	山内診療所	只狩荘	訪問看護ステーションあぶんげ 健康政策課 結果説明(波砂間集会所/竹山集会所)	五島保健所
	歯学部	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市地域包括支援センター	五島中央病院(看護部)	サポートセンター(ゆうなぎ)	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう
		動脈硬化健診 結果説明会 (中須生活館/小川生活館)	五島中央病院(リハビリ室)	こまき歯科医院 横山歯科医院	サポートセンター(ゆうなぎ)	
		近藤歯科医院	五島市長寿介護課	動脈硬化健診 結果説明会 (幾久山集会所/上の平集会所)	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	

コース	グループ	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日
杵岐	医学科 G,g	杵岐病院	杵岐市健康保健課	介護老人保健施設 光風	三島診療所/原島診療所	(午前)在宅ケア総合支援センター (午後)杵岐病院
	医学科 G,g	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	新上五島町社会福祉協議会	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	医学科 G,g	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島中央病院(内科)	(午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	五島保健所
		五島中央病院(内科)	玉之浦診療所	五島市長寿介護課		

コース	グループ	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日
対馬	医学科 H,h	対馬病院	あすか訪問看護ステーション	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬市社会福祉協議会	対馬保健所
	医学科 H,h	(午前)川医療センター (午後)上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)新上五島町健康保険課	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	医学科 H,h	五島中央病院(内科)	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	山内診療所	五島中央病院(小児科) (3歳児健診)	五島保健所
		五島市社会福祉協議会 富江支所		三井薬診療所/嵯峨島出張診療所	五島中央病院(内科)	

コース	グループ	9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日
杵岐	医学科 I,i	杵岐病院	杵岐市健康保健課	(午前)在宅ケア総合支援センター (午後)訪問診療	三島診療所/原島診療所	(午前)杵岐保健所 (午後)杵岐病院
	医学科 I,i	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	医学科 I,i	五島中央病院(内科)	玉之浦診療所	只狩荘	(午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	五島保健所
		五島市長寿介護課	みどりが丘クリニック		五島中央病院(内科)	

コース	グループ	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日
対馬	医学科 Jj	体育の日	対馬病院	対馬市保健部	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬保健所
	医学科 Jj		上五島病院	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)訪問看護ステーション (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
	医学科 Jj		五島中央病院(内科)	三井楽診療所/嵯峨島出張診療所	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)
下五島	歯学部	山内診療所	山内診療所	五島市長寿介護課 (歯学部)	五島中央病院(内科)	五島保健所
		只狝荘	只狝荘	只狝荘	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	
		(歯学部)	五島市地域包括支援センター (歯学部)	五島市長寿介護課	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	

コース	グループ	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日
杵岐	医学科 Kk	杵岐病院	杵岐市健康保健課 杵岐市地域包括支援センター	介護老人保健施設 光風	三島診療所/原島診療所	(午前)在宅ケア総合支援センター (午後)杵岐病院
	医学科 Kk	(午前)有川医療センター (午後)上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)新上五島町健康保険課	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	医学科 Kk	五島中央病院(内科)	玉之浦診療所	五島中央病院(小児科) (奈留健診)	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	五島保健所
	歯学部	只狝荘	五島市長寿介護課	奈留医療センター (歯学部)	五島中央病院(内科)	
		只狝荘	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター (歯学部)	五島市社会福祉協議会 富江支所 (歯学部)	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	

コース	グループ	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日
対馬	医学科 Ll	対馬病院	地域活動支援センターきらり	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬市社会福祉協議会	対馬保健所
	医学科 Ll	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	新上五島町社会福祉協議会	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	医学科 Ll	五島中央病院(内科)	山内診療所	五島中央病院(小児科) (3歳児健診)	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	五島保健所
	歯学部	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう (歯学部)	只狝荘	五島中央病院(内科) (歯学部)	聖マリア病院(1歳半健診)	
		五島市社会福祉協議会 富江支所 (歯学部)	五島市社会福祉協議会 富江支所 (歯学部)	サポートセンターゆうなぎ (歯科)	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	

コース	グループ	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	
香岐	医学科 M,m	勤労感謝の日	香岐病院	介護老人保健施設 光風	三島診療所/原島診療所	(午前)在宅ケア総合支援センター (午後)香岐病院	
	医学科 M,m		上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)小値賀診療所	小値賀診療所	
医学科 M,m	只狩荘		三井楽診療所/嵯峨島出張診療所	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)		
下五島	歯学部			(歯学部)	山内診療所	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	
				(歯学部)	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	五島保健所
				只狩荘	五島市社会福祉協議会 富江支所		
					五島市社会福祉協議会 デイはまゆう		

コース	グループ	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日	12月11日
対馬	医学科 N,n	対馬病院	あすか訪問看護ステーション	対馬市保健部	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬保健所
	医学科 N,n	新上五島町社会福祉協議会	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	歯学部	○	只狩荘	五島中央病院(小児科) (3歳児健診)	聖マリア病院 (1歳半健診)	
		○	五島中央病院(内科)	(午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	五島保健所
			五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター (歯学部)	五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	
			五島市社会福祉協議会 富江支所	五島市社会福祉協議会 (歯学部)	聖マリア病院 (1歳半健診)	

コース	グループ	12月21日	12月22日	12月23日	12月24日	12月25日	
香岐	医学科 O,o	香岐病院	(午前)在宅ケア総合支援センター (午後)訪問診療	天皇誕生日	三島診療所/原島診療所	(午前)子どもセンター お遊び教室 (午後)香岐病院	
	医学科 O,o	(午前)有川医療センター (午後)上五島病院	(午前)訪問看護ステーション (午後)新上五島町健康保険課		(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所	
下五島	歯学部	五島中央病院(内科)	五之浦診療所		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	
		奈留医療センター (歯学部)	五島中央病院(内科)		五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)	五島保健所	
		(歯学部)	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう		五島市健康政策課 (ブラッシング指導/健康講話)		
		只狩荘	五島市社会福祉協議会 富江支所		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう		

コース	グループ	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	
対馬	医学科 P,p	対馬病院	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬市保健部	対馬市社会福祉協議会	対馬保健所	
	医学科 P,p	香岐病院	香岐市健康保健課 香岐市地域包括支援センター	介護老人保健施設 光風 (午前)新上五島町健康保険課 (午後)新上五島町健康保険課	三島診療所/原島診療所 (午前)訪問看護ステーション (午後)小値賀診療所	(午前)香岐保健所 (午後)香岐病院 小値賀診療所	
	医学科 P,p	新上五島町社会福祉協議会	上五島病院	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	小値賀診療所	
下五島	医学科	五島中央病院(内科)	五之浦診療所	五島中央病院(小児科) (3歳児健診)	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	
		五島市社会福祉協議会 富江支所	五島中央病院(内科)	三井薬診療所/嵯峨島出張診療所	聖マリア病院 (1歳半健診)	聖マリア病院 (1歳半健診)	
		只狩荘	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	五島中央病院(内科)	山内診療所	山内診療所	
		五島市社会福祉協議会 富江支所	五島市地域包括支援センター	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)	
		只狩荘	奈留医療センター	五島中央病院(内科)	五島市社会福祉協議会 富江支所	五島市社会福祉協議会 富江支所	
	歯学部	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市地域包括支援センター (歯学部)	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター (歯学部)	只狩荘	聖マリア病院 (1歳半健診)	聖マリア病院 (1歳半健診)

⑮

コース	グループ	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	
香岐	医学科 Q,q	香岐病院	香岐市健康保健課 香岐市地域包括支援センター	(午前)在宅ケア総合支援センター (午後)訪問診療	三島診療所/原島診療所	(午前)こどもセンター お遊び教室 (午後)香岐病院	
	医学科 Q,q	(午前)有川医療センター (午後)上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)訪問看護ステーション (午後)新上五島町健康保険課	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所	
下五島	医学科 Q,q	五島中央病院(内科)	奈留医療センター	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	
		五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	五島中央病院(内科)	三井薬診療所/嵯峨島出張診療所	五島市社会福祉協議会 富江支所	五島市社会福祉協議会 富江支所	
		只狩荘	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)	(午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	五島中央病院(内科)	
		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島中央病院(内科)	五島中央病院(小児科)	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)	
		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市地域包括支援センター (歯学部)	山内診療所	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	
	歯学部	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	みどりが丘クリニック	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう (歯学部)	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター (歯学部)	サポートセンター(歯学部)	サポートセンター(歯学部)
		只狩荘	只狩荘	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター (歯学部)	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)	
		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島市地域包括支援センター (歯学部)	サポートセンター(歯学部)	サポートセンター(歯学部)	

⑯

コース	グループ	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日
対馬	医学科 A.a	対馬病院	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬市社会福祉協議会	地域活動支援センターきらり	対馬保健所
	医学科 A.a	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課 五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	新上五島町社会福祉協議会	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
下五島	医学科 A.a	五島中央病院(内科)	五島市社会福祉協議会 富江支所	山内診療所	五島中央病院(小児科) (3歳児健診)	五島保健所
		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島中央病院(内科)	聖マリア病院 (1歳半健診)	サポートセンターゆうなぎ	
	只狩荘	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	五島中央病院(内科)	(午前)五島中央病院(リハビリ室) (午後)井上医院	サポートセンターゆうなぎ	
	五島中央病院(内科)	五島中央病院(検査室)	三井薬診療所/嵯峨島出張診療所	五島中央病院(内科)		
	只狩荘	五島中央病院(内科)	みどりが丘クリニック	五島中央病院(内科)		
	五島中央病院(内科)	五島中央病院(内科)	みどりが丘クリニック	サポートセンターゆうなぎ		
歯学部	歯学部	只狩荘	五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	聖マリア病院 (1歳半健診)	(歯学部)	五島市地域包括支援センター
		五島市社会福祉協議会 デイはまゆう	只狩荘	(歯学部)	(歯学部)	

⑪

コース	グループ	2月29日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日
上五島	医学科	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
	医学科	五島中央病院(内科)	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	只狩荘	聖マリア病院 (10ヶ月健診)	五島中央病院(小児科)
五島市社会福祉協議会 デイはまゆう		五島中央病院(内科)	山内診療所	五島中央病院(小児科)	五島中央病院(内科)	

⑫

⑨グループ以降の歯学部の実習生および歯科診療所実習先は未定です。該当する実習の開始前までに改めてご連絡いたします。

高次臨床実習

責任者	氏名	大園 恵幸	内線	7591
	教室	総合診療学	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30～18:30		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	18単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム4週間の実習を3ターム行なう。

第1内科（神経、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病）、第2内科（呼吸器、腎臓）、循環器内科、消化器内科、原研内科、熱研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院、中対馬病院、対馬いずはら病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救命救急センター、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、病理部、臨床検査、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学、市民病院、原爆病院、済生会病院

2. 授業内容（講義・実習項目）

選択科により異なる。高次臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	かたみね しげる 片峰 茂 <平成20年10月>		医学博士		長崎大学長 (平20.10)

（注） 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に就事する週 当たり平均時間数	
						担当授業科目			担当授業科目				
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		
1	教授	モリノム 森 望		薬学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成16年6月1日)	プレリサーチセミナー I 人間生物学 神経・感覚器系 I プレリサーチセミナー II 医学ゼミ I 神経・感覚器系 II プレリサーチセミナー III リサーチセミナー	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 後	1 0.14 6.33 1 1 0.8 1 11.5	38.75	プレリサーチセミナー I 人間生物学 神経・感覚器系 I プレリサーチセミナー II 医学ゼミ I 神経・感覚器系 II プレリサーチセミナー III リサーチセミナー	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 後	1 0.14 6.33 1 1 0.8 1 11.5	38.75
2	教授	コウジ タケヒコ 小路 武彦		理学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成10年9月1日)	プレリサーチセミナー I 人間生物学 発生・組織系 I プレリサーチセミナー II 発生・組織系 II プレリサーチセミナー III 医学ゼミ II リサーチセミナー 生殖系 アドバンストリサーチセミナー I アドバンストリサーチセミナー II	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 3年 通年 3年 前 3年 後 3年 後 4年 前 5年 通年	1 0.14 1.33 1 0.63 1 1 11.5 0.1 1 1	38.75	プレリサーチセミナー I 人間生物学 発生・組織系 I プレリサーチセミナー II 発生・組織系 II プレリサーチセミナー III 医学ゼミ II リサーチセミナー 生殖系 アドバンストリサーチセミナー I アドバンストリサーチセミナー II	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 3年 通年 3年 前 3年 後 3年 後 4年 前 5年 通年	1 0.14 1.33 1 0.63 1 1 11.5 0.1 1 1	38.75
3	教授	マキタ ナオマサ 蒔田 直昌		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年5月1日)	プレリサーチセミナー I 人間生物学 内臓機能・体液系 I プレリサーチセミナー II 内臓機能・体液系 II プレリサーチセミナー III 循環器系 リサーチセミナー	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 3年 通年 3年 前 3年 後	1 0.05 2.67 1 0.34 1 0.17 11.5	38.75	プレリサーチセミナー I 人間生物学 内臓機能・体液系 I プレリサーチセミナー II 内臓機能・体液系 II プレリサーチセミナー III 循環器系 リサーチセミナー	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 3年 通年 3年 前 3年 後	1 0.05 2.67 1 0.34 1 0.17 11.5	38.75
4	教授	ツルモト シュキ 弦本 敏行		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年3月1日)	プレリサーチセミナー I 人間生物学 人体構造系 I プレリサーチセミナー II 人体構造系 II 医学ゼミ I プレリサーチセミナー III リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー I 人体構造系 III	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 後 4年 前 4年 前	1 0.09 7.25 1 0.88 1 1 11.5 2 0.25	38.75	プレリサーチセミナー I 人間生物学 人体構造系 I プレリサーチセミナー II 人体構造系 II 医学ゼミ I プレリサーチセミナー III リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー I 人体構造系 III	1年 通年 1年 前 1年 後 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 後 4年 前 4年 前	1 0.09 7.25 1 0.88 1 1 11.5 2 0.25	38.75
5	教授	シハラ カズユキ 篠原 一之		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	プレリサーチセミナー I 人間生物学 医学ゼミ I プレリサーチセミナー II 動物性機能系 医学ゼミ I プレリサーチセミナー III リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー I	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 後 3年 後 4年 前	1 0.05 1 1 0.56 1 1 11.5 1	38.75	プレリサーチセミナー I 人間生物学 医学ゼミ I プレリサーチセミナー II 動物性機能系 医学ゼミ I プレリサーチセミナー III リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー I	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 後 3年 後 4年 前	1 0.05 1 1 0.56 1 1 11.5 1	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
6	教授	シモカワ イサオ 下川 功		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成12年4月1日)	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ 病理総論系 プレリサーチセミナーⅢ 病理各論系Ⅰ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 医学ゼミⅢ 総合病理学	1年 通年 2年 通年 2年 後 3年 通年 3年 前 3年 前 3年 前 3年 後 4年 前 4年 後	1 1 0.54 1 0.21 1 11.5 1 0.14	38.75	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ 病理総論系 プレリサーチセミナーⅢ 病理各論系Ⅰ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 医学ゼミⅢ 総合病理学	1年 通年 2年 通年 2年 後 3年 通年 3年 前 3年 前 3年 前 3年 後 4年 前 4年 後	1 1 0.54 1 0.21 1 11.5 1 0.14	38.75
7	教授	イトウ タシ 伊藤 敬		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年9月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 生体分子系 プレリサーチセミナーⅡ プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナーⅠ 医学ゼミⅢ アドバンストリサーチセミナーⅡ	1年 通年 1年 前 2年 通年 3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前 5年 通年	1 6.17 1 1 1 11.5 1 1 2	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 生体分子系 プレリサーチセミナーⅡ プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナーⅠ 医学ゼミⅢ アドバンストリサーチセミナーⅡ	1年 通年 1年 前 2年 通年 3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前 5年 通年	1 6.17 1 1 1 11.5 1 1 2	38.75
8	教授	アルガ ジュン 有賀 純		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成25年10月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 人間生物学 プレリサーチセミナーⅡ 薬理系 プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナーⅠ 薬理系Ⅲ 医学ゼミⅢ	1年 通年 1年 前 2年 通年 3年 通年 3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前 4年 前	1 0.05 1 1.02 1 1 11.5 1 1.25 1	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 人間生物学 プレリサーチセミナーⅡ 薬理系 プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナーⅠ 薬理系Ⅲ 医学ゼミⅢ	1年 通年 1年 前 2年 通年 3年 通年 3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前 4年 前	1 0.05 1 1.02 1 1 11.5 1 1.25 1	38.75
9	教授	フカカ ジュンヤ 福岡 順也		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年11月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 医学ゼミⅠ 病理各論系Ⅰ リサーチセミナー 臨床実習 病理各論系Ⅲ 総合病理学 臨床総括講義(総合病理学)	1年 通年 2年 後 3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	1 1 1.09 11.5 2.12 4 0.14 0.82	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 医学ゼミⅠ 病理各論系Ⅰ リサーチセミナー 臨床実習 病理各論系Ⅲ 総合病理学 臨床総括講義(総合病理学)	1年 通年 2年 後 3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	1 1 1.09 11.5 2.12 4 0.14 0.82	38.75
10	教授	オソノ ヨシユキ 大園 恵幸		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成12年8月16日)	医と社会Ⅲ 臨床実習 診断学 臨床疫学・医療情報学 臨床総括講義(内科)	3年 通年 4~5年 通年 4年 後 4年 後 5年 前	0.02 2.12 1.2 0.2 0.25	38.75	医と社会Ⅲ 臨床実習 診断学 臨床疫学・医療情報学 臨床総括講義(内科)	3年 通年 4~5年 通年 4年 後 4年 後 5年 前	0.02 2.12 1.2 0.2 0.25	38.75
11	教授	ホンダ マサユキ 本多 正幸		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成13年5月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 臨床疫学・医療情報学	1年 通年 4年 後	1 0.15	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 臨床疫学・医療情報学	1年 通年 4年 後	1 0.15	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
12	教授	アオヤキ キヨシ 青柳 潔		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年11月16日)	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学 医学ゼミⅢ	1年 通年 2年 通年 3年 通年 3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前	1 1 1 1 11.5 2.12 0.38 1	38.75	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学 医学ゼミⅢ	1年 通年 2年 通年 3年 通年 3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前	1 1 1 1 11.5 2.12 0.38 1	38.75
13	教授	マエダ タカヒコ 前田 隆浩		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成17年4月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 医と社会Ⅰ 医学ゼミⅠ プレリサーチセミナーⅡ 医学ゼミⅠ 医と社会Ⅱ 医と社会Ⅲ プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ 医と社会Ⅳ 公衆衛生学 医学ゼミⅢ 医と社会Ⅳ	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 通年 3年 前 4年 前 4年 前 4年 前 4年 前 4年 後	1 0.05 2 1 2 0.13 0.2 1 2 0.03 0.19 2 0.01	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 医と社会Ⅰ 医学ゼミⅠ プレリサーチセミナーⅡ 医学ゼミⅠ 医と社会Ⅱ 医と社会Ⅲ プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ 医と社会Ⅳ 公衆衛生学 医学ゼミⅢ 医と社会Ⅳ	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 通年 2年 前 2年 後 3年 通年 3年 通年 3年 前 4年 前 4年 前 4年 前 4年 後	1 0.05 2 1 2 0.13 0.2 1 2 0.03 0.19 2 0.01	38.75
14	教授	イケマツ カズヤ 池松 和哉		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成25年1月1日)	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ プレリサーチセミナーⅢ リサーチセミナー 衛生学・分子疫学 法医学系	1年 通年 2年 通年 3年 通年 3年 後 4年 前 4年 後	1 1 1 11.5 0.3 0.66	38.75	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ プレリサーチセミナーⅢ リサーチセミナー 衛生学・分子疫学 法医学系	1年 通年 2年 通年 3年 通年 3年 後 4年 前 4年 後	1 1 1 11.5 0.3 0.66	38.75
15	教授	タカハシ ハルオ 高橋 晴雄		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年6月1日)	人間生物学 動物性機能系 耳鼻咽喉口腔系 臨床医学TBLⅢ(耳鼻咽喉系)	1年 前 2年 前 4年 前 4年 前	0.05 0.03 0.25 0.13	38.75	人間生物学 動物性機能系 耳鼻咽喉口腔系 臨床医学TBLⅢ(耳鼻咽喉系)	1年 前 2年 前 4年 前 4年 前	0.05 0.03 0.25 0.13	38.75
16	教授	ウエタニ マサタカ 上谷 雅孝		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成16年6月1日)	放射線医学 臨床実習 診断学	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.08 2.12 0.2	38.75	放射線医学 臨床実習 診断学	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.08 2.12 0.2	38.75
17	教授	ウタニ アツシ 宇谷 厚志		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年3月1日)	臨床実習 皮膚系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.55	38.75	臨床実習 皮膚系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.55	38.75
18	教授	サカイ ヒロキ 酒井 英樹		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年7月1日)	人間生物学 腎泌尿器系 生殖系 臨床実習 臨床総括講義(泌尿器科)	1年 前 3年 後 3年 後 4~5年 通年 5年 前	0.09 0.1 0.19 2.12 0.41	38.75	人間生物学 腎泌尿器系 生殖系 臨床実習 臨床総括講義(泌尿器科)	1年 前 3年 後 3年 後 4~5年 通年 5年 前	0.09 0.1 0.19 2.12 0.41	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
19	教授	イシキヨキ 江石 清行		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成11年4月16日)	循環器系 臨床実習 臨床総括講義(心臓血管外科)	3年 前 4~5年 通年 5年 前	0.26 2.12 0.31	38.75	循環器系 臨床実習 臨床総括講義(心臓血管外科)	3年 前 4~5年 通年 5年 前	0.26 2.12 0.31	38.75
20	教授	ヤスタケトオル 安武 亨		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成23年9月1日)	医と社会 I 医学ゼミ I 医と社会 II 医学ゼミ I 医と社会 III 医学ゼミ II 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV 診断学	1年 前 2年 前 2年 後 2年 後 3年 通年 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 4年 後	0.35 1 0.3 1 0.16 1 2.12 0.02 0.01 0.2	38.75	医と社会 I 医学ゼミ I 医と社会 II 医学ゼミ I 医と社会 III 医学ゼミ II 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV 診断学	1年 前 2年 前 2年 後 2年 後 3年 通年 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 4年 後	0.35 1 0.3 1 0.16 1 2.12 0.02 0.01 0.2	38.75
21	教授	ナカオ カズヒコ 中尾 一彦		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年3月1日)	消化器系 臨床実習 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 後 5年 前	0.17 2.12 0.2 0.13	38.75	消化器系 臨床実習 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 後 5年 前	0.17 2.12 0.2 0.13	38.75
22	教授	キタカ タカシ 北岡 隆		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年9月1日)	人間生物学 動物性機能系 臨床実習 視覚系 診断学 臨床総括講義(眼科)	1年 前 2年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.05 0.03 2.12 0.38 0.2 0.31	38.75	人間生物学 動物性機能系 臨床実習 視覚系 診断学 臨床総括講義(眼科)	1年 前 2年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.05 0.03 2.12 0.38 0.2 0.31	38.75
23	教授	モリウチ ヒロユキ 森内 浩幸		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成11年1月4日)	免疫系 感染症系 血液・リンパ系 小児系 腎泌尿器系 臨床医学TBL II(小児系) 臨床実習 臨床総括講義(小児科)	2年 後 3年 前 3年 後 3年 後 3年 後 3年 後 4~5年 通年 5年 前	0.05 0.38 0.07 0.38 0.1 0.25 2.12 0.21	38.75	免疫系 感染症系 血液・リンパ系 小児系 腎泌尿器系 臨床医学TBL II(小児系) 臨床実習 臨床総括講義(小児科)	2年 後 3年 前 3年 後 3年 後 3年 後 3年 後 4~5年 通年 5年 前	0.05 0.38 0.07 0.38 0.1 0.25 2.12 0.21	38.75
24	教授	カワカミ アツシ 川上 純		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年11月1日)	免疫系 医学ゼミ II 内分泌・代謝・栄養系 免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 脳・神経系 医学ゼミ III 診断学 臨床総括講義(内科)	2年 後 3年 前 3年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後 5年 前	0.05 1 0.08 0.25 2.12 0.1 1 0.2 0.25	38.75	免疫系 医学ゼミ II 内分泌・代謝・栄養系 免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 脳・神経系 医学ゼミ III 診断学 臨床総括講義(内科)	2年 後 3年 前 3年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後 5年 前	0.05 1 0.08 0.25 2.12 0.1 1 0.2 0.25	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
25	教授	オサワ ヒロキ 小澤 寛樹		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年10月1日)	医学ゼミⅠ 医学ゼミⅠ 医学ゼミⅡ 臨床実習 精神系 臨床医学TBLⅢ(精神系) 医学ゼミⅢ 臨床推論PBL	2年 前 2年 後 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 前 4年 後	1 1 1 2.12 1.07 0.08 1 0.12	38.75	医学ゼミⅠ 医学ゼミⅠ 医学ゼミⅡ 臨床実習 精神系 臨床医学TBLⅢ(精神系) 医学ゼミⅢ 臨床推論PBL	2年 前 2年 後 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 前 4年 後	1 1 1 2.12 1.07 0.08 1 0.12	38.75
26	教授	マエムラ コウジ 前村 浩二		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成20年7月16日)	人間生物学 内臓機能・体液系Ⅱ 循環器系 臨床実習 医学ゼミⅢ 診断学 臨床総括講義(内科)	1年 前 2年 前 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.05 0.09 0.09 2.12 2 0.2 0.13	38.75	人間生物学 内臓機能・体液系Ⅱ 循環器系 臨床実習 医学ゼミⅢ 診断学 臨床総括講義(内科)	1年 前 2年 前 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.05 0.09 0.09 2.12 2 0.2 0.13	38.75
27	教授	ナカタ ヤスヒロ 永田 康浩		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成25年12月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 医と社会Ⅰ 医と社会Ⅱ 医学ゼミⅠ 医と社会Ⅲ プレリサーチセミナーⅢ 医と社会Ⅳ 医と社会Ⅳ	1年 通年 1年 前 2年 後 2年 後 3年 通年 3年 通年 4年 前 4年 後	1 0.45 0.3 1 0.16 1 0.02 0.01	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 医と社会Ⅰ 医と社会Ⅱ 医学ゼミⅠ 医と社会Ⅲ プレリサーチセミナーⅢ 医と社会Ⅳ 医と社会Ⅳ	1年 通年 1年 前 2年 後 2年 後 3年 通年 3年 通年 4年 前 4年 後	1 0.45 0.3 1 0.16 1 0.02 0.01	38.75
28	教授	アシワ カズト 芦澤 和人		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成24年10月1日)	腫瘍系 呼吸器系 放射線医学	2年 後 3年 前 3年 後	0.07 0.29 0.15	38.75	腫瘍系 呼吸器系 放射線医学	2年 後 3年 前 3年 後	0.07 0.29 0.15	38.75
29	教授	マツオ ユキ 松尾 孝之		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成26年11月1日)	臨床実習 脳・神経系 臨床総括講義(脳神経外科)	4~5年 通年 4年 前 5年 前	2.12 0.2 0.82	38.75	臨床実習 脳・神経系 臨床総括講義(脳神経外科)	4~5年 通年 4年 前 5年 前	2.12 0.2 0.82	38.75
30	教授	ナカヤス タケシ 永安 武		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年7月16日)	呼吸器系 臨床実習 外科治療学 診断学 臨床総括講義(外科)	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.21 2.12 0.07 0.2 0.51	38.75	呼吸器系 臨床実習 外科治療学 診断学 臨床総括講義(外科)	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.21 2.12 0.07 0.2 0.51	38.75
31	教授	ハラ テツヤ 原 哲也		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成25年11月1日)	臨床実習 外科治療学	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.2	38.75	臨床実習 外科治療学	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.2	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数		
						担当授業科目				担当授業科目					
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数			
32	教授	ヤナギハラ カツリ 柳原 克紀		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成25年1月1日)	感染系 感染症系 臨床実習 医学ゼミⅢ 診断学 臨床検査医学 臨床推論PBL	2年後 3年前 4～5年 4年前 4年後 4年後 4年後	0.4 0.08 2.12 2 0.2 0.19 0.12	38.75	感染系 感染症系 臨床実習 医学ゼミⅢ 診断学 臨床検査医学 臨床推論PBL	2年後 3年前 4～5年 4年前 4年後 4年後 4年後	0.4 0.08 2.12 2 0.2 0.19 0.12	38.75		
33	教授	エグチ スム 江口 晋		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成24年1月1日)	医と社会Ⅰ 人間生物学 医学ゼミⅡ 臨床実習 外科治療学 医学ゼミⅢ 臨床総括講義(外科)	1年前 1年前 3年前 4～5年 4年前 4年前 5年前	0.05 0.05 1 2.12 0.03 2 0.51	38.75	医と社会Ⅰ 人間生物学 医学ゼミⅡ 臨床実習 外科治療学 医学ゼミⅢ 臨床総括講義(外科)	1年前 1年前 3年前 4～5年 4年前 4年前 5年前	0.05 0.05 1 2.12 0.03 2 0.51	38.75		
34	教授	オサキ マコト 尾崎 誠		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成23年9月1日)	臨床実習 運動系	4～5年 4年	通年前 前	2.12 0.05	38.75	臨床実習 運動系	4～5年 4年	通年前 前	2.12 0.05	38.75
35	教授	ナカミ オサム 中込 治		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成4年10月16日)	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ 感染系 プレリサーチセミナーⅢ リサーチセミナー 衛生学・分子疫学	1年 2年 2年 3年 3年 4年	通年前 通年前 後 通年前 後 前	1 1 0.13 1 11.5 0.6	38.75	プレリサーチセミナーⅠ プレリサーチセミナーⅡ 感染系 プレリサーチセミナーⅢ リサーチセミナー 衛生学・分子疫学	1年 2年 2年 3年 3年 4年	通年前 通年前 後 通年前 後 前	1 1 0.13 1 11.5 0.6	38.75
36	教授	ユイ カツユキ 由井 克之		博士医学	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成9年10月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 人間生物学 プレリサーチセミナーⅡ 医学ゼミⅠ 免疫系 プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ 医学ゼミⅢ	1年 1年 2年 2年 2年 3年 3年 4年	通年前 前 通年前 後 後 通年前 前 前	1 0.09 1 1 0.9 1 1 1	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 人間生物学 プレリサーチセミナーⅡ 医学ゼミⅠ 免疫系 プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ 医学ゼミⅢ	1年 1年 2年 2年 2年 3年 3年 4年	通年前 前 通年前 後 後 通年前 前 前	1 0.09 1 1 0.9 1 1 1	38.75
37	教授	ニシタ リユキ 西田 教行		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年7月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 人間生物学 プレリサーチセミナーⅡ 医学ゼミⅠ 感染系 基礎医学TBL プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 医学ゼミⅢ	1年 1年 2年 2年 2年 2年 3年 3年 3年 4年	通年前 前 通年前 前 後 後 通年前 前 後 前	1 0.05 1 1 0.94 0.25 1 1 11.5 1	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 人間生物学 プレリサーチセミナーⅡ 医学ゼミⅠ 感染系 基礎医学TBL プレリサーチセミナーⅢ 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 医学ゼミⅢ	1年 1年 2年 2年 2年 2年 3年 3年 3年 4年	通年前 前 通年前 前 後 後 通年前 前 後 前	1 0.05 1 1 0.94 0.25 1 1 11.5 1	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
38	教授	イズミワ コウイチ 泉川 公一		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成26年3月1日)	医学ゼミⅠ 感染系 感染症系 呼吸器系 医学ゼミⅡ 医学ゼミⅢ 臨床総括講義(内科)	2年 前 2年 後 3年 前 3年 前 3年 前 4年 前 5年 前	1 0.13 0.23 0.14 1 2 0.25	38.75	医学ゼミⅠ 感染系 感染症系 呼吸器系 医学ゼミⅡ 医学ゼミⅢ 臨床総括講義(内科)	2年 前 2年 後 3年 前 3年 前 3年 前 4年 前 5年 前	1 0.13 0.23 0.14 1 2 0.25	38.75
39	教授	ナカヤマ コウ 中山 鋼			長崎大学 医学部 教授 (平成27年7月1日)	医学ゼミⅡ	3年 後	1	38.75	医学ゼミⅡ	3年 後	1	38.75
40	准教授	オカモト ケイン 岡本 圭史		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)	人体構造系Ⅰ 人体構造系Ⅱ リサーチセミナー 人体構造系Ⅲ	1年 後 2年 通年 3年 後 4年 前	1.25 0.88 11.5 0.25	38.75	人体構造系Ⅰ 人体構造系Ⅱ リサーチセミナー 人体構造系Ⅲ	1年 後 2年 通年 3年 後 4年 前	1.25 0.88 11.5 0.25	38.75
41	准教授	ヤマモト カスオ 山本 一男		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)				38.75				38.75
42	准教授	タカクニヒコ 田中 邦彦		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年1月1日)	医と社会Ⅰ 医と社会Ⅱ 基礎医学TBL 腫瘍系 医と社会Ⅲ 医と社会Ⅳ 医と社会Ⅳ	1年 前 2年 後 2年 後 2年 後 3年 通年 4年 前 4年 後	0.35 0.3 0.13 0.07 0.16 0.02 0.01	38.75	医と社会Ⅰ 医と社会Ⅱ 基礎医学TBL 腫瘍系 医と社会Ⅲ 医と社会Ⅳ 医と社会Ⅳ	1年 前 2年 後 2年 後 2年 後 3年 通年 4年 前 4年 後	0.35 0.3 0.13 0.07 0.16 0.02 0.01	38.75
43	准教授	ニノダイスケ 新野 大介		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成27年4月1日)	病理各論系Ⅰ 臨床実習 病理各論系Ⅲ 総合病理学	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.26 2.12 1 0.14	38.75	病理各論系Ⅰ 臨床実習 病理各論系Ⅲ 総合病理学	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.26 2.12 1 0.14	38.75
44	准教授	フルサト フンゴ 古里 文吾		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成27年9月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
45	准教授	マツモト タケヒコ 松本 武浩			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)	臨床疫学・医療情報学	4年 後	0.05	38.75	臨床疫学・医療情報学	4年 後	0.05	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
46	准教授	アハヤシ 安部 恵代		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成25年5月1日)	リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	11.5 2.12 0.38	38.75	リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	11.5 2.12 0.38	38.75
47	准教授	ナカミ セイ 中道 聖子		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成25年11月1日)	医と社会Ⅲ 臨床実習 診断学 臨床疫学・医療情報学 臨床推論PBL	3年 通年 4~5年 通年 4年 後 4年 後 4年 後	0.03 2.12 0.2 0.1 0.12	38.75	医と社会Ⅲ 臨床実習 診断学 臨床疫学・医療情報学 臨床推論PBL	3年 通年 4~5年 通年 4年 後 4年 後 4年 後	0.03 2.12 0.2 0.1 0.12	38.75
48	准教授	サカモト イチロウ 坂本 一郎		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成24年4月1日)	循環器系 放射線医学 臨床実習 診断学	3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.09 0.08 2.12 0.2	38.75	循環器系 放射線医学 臨床実習 診断学	3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.09 0.08 2.12 0.2	38.75
49	准教授	タカカミ 田中 克己		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)	臨床実習 運動系 皮膚系 臨床総括講義(形成外科)	4~5年 通年 4年 前 4年 前 5年 前	2.12 0.05 0.16 0.51	38.75	臨床実習 運動系 皮膚系 臨床総括講義(形成外科)	4~5年 通年 4年 前 4年 前 5年 前	2.12 0.05 0.16 0.51	38.75
50	准教授	カワノ ヒロアキ 河野 浩章		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)	循環器系 臨床実習 診断学	3年 前 4~5年 通年 4年 後	0.17 2.12 0.2	38.75	循環器系 臨床実習 診断学	3年 前 4~5年 通年 4年 後	0.17 2.12 0.2	38.75
51	准教授	タケシマ フミナ 竹島 史直		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)	消化器系 臨床実習 医学ゼミⅢ 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.23 2.12 2 0.2 0.13	38.75	消化器系 臨床実習 医学ゼミⅢ 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後 5年 前	0.23 2.12 2 0.2 0.13	38.75
52	准教授	アヒル リオ 阿比留 教生		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成24年6月1日)	内分泌・代謝・栄養系 臨床医学TBLⅡ(内分泌) 臨床実習 診断学 臨床推論PBL	3年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後	0.24 0.06 2.12 0.2 0.12	38.75	内分泌・代謝・栄養系 臨床医学TBLⅡ(内分泌) 臨床実習 診断学 臨床推論PBL	3年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後	0.24 0.06 2.12 0.2 0.12	38.75
53	准教授	カネコ ケンイチ 金子 賢一		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成25年1月1日)	臨床実習 耳鼻咽喉口腔系 臨床医学TBLⅢ(耳鼻咽喉系) 臨床推論PBL	4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後	2.12 0.17 0.13 0.12	38.75	臨床実習 耳鼻咽喉口腔系 臨床医学TBLⅢ(耳鼻咽喉系) 臨床推論PBL	4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後	2.12 0.17 0.13 0.12	38.75
54	准教授	タケナカ トイ 竹中 基		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成26年11月1日)	免疫系 臨床実習 皮膚系 臨床医学TBLⅢ(皮膚系)	2年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前	0.05 2.12 0.16 0.08	38.75	免疫系 臨床実習 皮膚系 臨床医学TBLⅢ(皮膚系)	2年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前	0.05 2.12 0.16 0.08	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			
						担当授業科目				担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
55	准教授	ヤマサキ ナオヤ 山崎 直哉		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成25年10月1日)	呼吸器系 臨床実習 外科治療学 診断学	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.14 2.12 0.07 0.2	38.75	呼吸器系 臨床実習 外科治療学 診断学	3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.14 2.12 0.07 0.2	38.75
56	准教授	イムラ アキラ 今村 明		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年8月1日)	医学ゼミ I 臨床実習 精神系 臨床医学TBL III(精神系) 臨床推論PBL	2年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後	1 2.12 1.07 0.08 0.12	38.75	医学ゼミ I 臨床実習 精神系 臨床医学TBL III(精神系) 臨床推論PBL	2年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後	1 2.12 1.07 0.08 0.12	38.75
57	准教授	トミ マサト 富田 雅人		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成27年4月1日)	人間生物学 臨床実習 運動系	1年 前 4~5年 通年 4年 前	0.05 2.12 0.05	38.75	人間生物学 臨床実習 運動系	1年 前 4~5年 通年 4年 前	0.05 2.12 0.05	38.75
58	准教授	オハセ ヤスシ 尾長谷 靖		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成27年4月1日)	呼吸器系 臨床実習 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 後 5年 前	0.36 2.12 0.2 0.13	38.75	呼吸器系 臨床実習 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 後 5年 前	0.36 2.12 0.2 0.13	38.75
59	准教授	クロキ タモツ 黒木 保		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成24年6月1日)	臨床実習 臨床医学TBL III(外科治療学)	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.25	38.75	臨床実習 臨床医学TBL III(外科治療学)	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.25	38.75
60	准教授	ツチャトモシ 土谷 智史		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成27年5月1日)	呼吸器系 臨床実習 外科治療学	3年 前 4~5年 通年 4年 前	0.07 2.12 0.07	38.75	呼吸器系 臨床実習 外科治療学	3年 前 4~5年 通年 4年 前	0.07 2.12 0.07	38.75
61	准教授	ミヤタ ヤスシ 宮田 康好		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成26年5月1日)	医学ゼミ I 医学ゼミ II 腎泌尿器系 臨床実習 医学ゼミ III 臨床総括講義(泌尿器科)	2年 前 3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 前 5年 前	1 1 0.31 2.12 2 0.41	38.75	医学ゼミ I 医学ゼミ II 腎泌尿器系 臨床実習 医学ゼミ III 臨床総括講義(泌尿器科)	2年 前 3年 前 3年 後 4~5年 通年 4年 前 5年 前	1 1 0.31 2.12 2 0.41	38.75
62	准教授	ミウラ キヨリ 三浦 清徳		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成24年4月1日)	人間生物学 分子遺伝系 生殖系 臨床医学TBL II(生殖系) 臨床実習 臨床総括講義(産婦人科)	1年 前 1年 後 3年 後 3年 後 4~5年 通年 5年 前	0.05 0.11 0.19 0.06 2.12 0.31	38.75	人間生物学 分子遺伝系 生殖系 臨床医学TBL II(生殖系) 臨床実習 臨床総括講義(産婦人科)	1年 前 1年 後 3年 後 3年 後 4~5年 通年 5年 前	0.05 0.11 0.19 0.06 2.12 0.31	38.75
63	准教授	ムラタ ヒロアキ 村田 寛明		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成27年3月1日)	臨床実習 外科治療学	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.03	38.75	臨床実習 外科治療学	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.03	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
64	准教授	ホノマキ 本間 季里		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成24年12月17日)				38.75				38.75
65	准教授	タナカヨシマ 田中 義正		博士(農学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成24年8月1日)				38.75				38.75
66	准教授	クボヨシナオ 久保 嘉直		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成23年6月1日)	感染系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.13 11.5	38.75	感染系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.13 11.5	38.75
67	准教授	アタランリュウイチロウ 新 竜一郎		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成23年4月1日)	感染系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.81 11.5	38.75	感染系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.81 11.5	38.75
68	准教授	イシカワタケシ 石川 岳志		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成25年2月1日)	感染系	2年 後	0.13	38.75	感染系	2年 後	0.13	38.75
69	准教授	ハヤシヒデキ 林 日出喜		医学博士	長崎大学 医学部 准教授 (平成27年8月1日)	腫瘍系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.67 11.5	38.75	腫瘍系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.67 11.5	38.75
70	講師	ワケベテツアキ 分部 哲秋		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (昭和61年1月1日)	人体構造系Ⅰ 人体構造系Ⅱ 医と社会Ⅱ 医と社会Ⅲ リサーチセミナー 医と社会Ⅳ 人体構造系Ⅲ 医と社会Ⅳ	1年 後 2年 通年 2年 後 3年 通年 3年 後 4年 前 4年 前 4年 後	1.75 0.88 0.3 0.16 11.5 0.02 0.25 0.01	38.75	人体構造系Ⅰ 人体構造系Ⅱ 医と社会Ⅱ 医と社会Ⅲ リサーチセミナー 医と社会Ⅳ 人体構造系Ⅲ 医と社会Ⅳ	1年 後 2年 通年 2年 後 3年 通年 3年 後 4年 前 4年 前 4年 後	1.75 0.88 0.3 0.16 11.5 0.02 0.25 0.01	38.75
71	講師	サイキカスノブ 佐伯 和信		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成25年11月1日)	人体構造系Ⅰ 人体構造系Ⅱ リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナーⅠ 人体構造系Ⅲ	1年 後 2年 通年 3年 後 4年 前 4年 前	3 0.88 11.5 1 0.25	38.75	人体構造系Ⅰ 人体構造系Ⅱ リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナーⅠ 人体構造系Ⅲ	1年 後 2年 通年 3年 後 4年 前 4年 前	3 0.88 11.5 1 0.25	38.75
72	講師	ツヅユキオミ 辻 幸臣		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成25年4月1日)	内臓機能・体液系Ⅰ 内臓機能・体液系Ⅱ リサーチセミナー	1年 後 2年 前 3年 後	1.67 0.52 11.5	38.75	内臓機能・体液系Ⅰ 内臓機能・体液系Ⅱ リサーチセミナー	1年 後 2年 前 3年 後	1.67 0.52 11.5	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
73	講師	マシモ ヒロシ 増本 博司		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年1月1日)				38.75				38.75
74	講師	マツモト ケン 松本 弦		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年9月1日)	神経・感覚器系 I 神経・感覚器系 II リサーチセミナー	1年 後 2年 後 3年 後	0.33 0.6 11.5	38.75	神経・感覚器系 I 神経・感覚器系 II リサーチセミナー	1年 後 2年 後 3年 後	0.33 0.6 11.5	38.75
75	講師	フクダ トモミ 福田 智美		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成24年7月1日)	発生・組織系 I 発生・組織系 II リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー I アドバンストリサーチセミナー II	1年 後 2年 前 3年 後 4年 前 5年 通年	0.33 0.61 23 1 1	38.75	発生・組織系 I 発生・組織系 II リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー I アドバンストリサーチセミナー II	1年 後 2年 前 3年 後 4年 前 5年 通年	0.33 0.61 23 1 1	38.75
76	講師	ハヤシ ヒロコ 林 洋子		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成25年9月1日)	病理総論系 病理各論系 I 医学ゼミ II リサーチセミナー 医学ゼミ III 総合病理学 臨床総括講義(総合病理学)	2年 後 3年 前 3年 前 3年 後 4年 前 4年 後 5年 前	0.18 0.1 1 11.5 1 0.14 0.82	38.75	病理総論系 病理各論系 I 医学ゼミ II リサーチセミナー 医学ゼミ III 総合病理学 臨床総括講義(総合病理学)	2年 後 3年 前 3年 前 3年 後 4年 前 4年 後 5年 前	0.18 0.1 1 11.5 1 0.14 0.82	38.75
77	講師	モリ リョウイチ 森 亮一		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成24年4月1日)	病理総論系 病理各論系 I 医学ゼミ II リサーチセミナー 医学ゼミ III	2年 後 3年 前 3年 前 3年 後 4年 前	0.66 0.1 1 11.5 1	38.75	病理総論系 病理各論系 I 医学ゼミ II リサーチセミナー 医学ゼミ III	2年 後 3年 前 3年 前 3年 後 4年 前	0.66 0.1 1 11.5 1	38.75
78	講師	ナカガワ シンスケ 中川 慎介		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成24年1月1日)	薬理系 医学ゼミ II リサーチセミナー 薬理系 III 医学ゼミ III	3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前	0.7 1 11.5 1.25 1	38.75	薬理系 医学ゼミ II リサーチセミナー 薬理系 III 医学ゼミ III	3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前	0.7 1 11.5 1.25 1	38.75
79	講師	ドイ ヒロカズ 土居 裕和		博士(学術)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成25年4月1日)	動物性機能系 リサーチセミナー	2年 前 3年 後	0.53 11.5	38.75	動物性機能系 リサーチセミナー	2年 前 3年 後	0.53 11.5	38.75
80	講師	アリマ カズヒコ 有馬 和彦		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年1月1日)	リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	11.5 2.12 0.19	38.75	リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	11.5 2.12 0.19	38.75
81	講師	シミス ユウジ 清水 悠路		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成27年3月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4年 前 4年 後	0.05 0.13 0.2 0.03 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4年 前 4年 後	0.05 0.13 0.2 0.03 0.01	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
82	講師	ヤマモト タクマ 山本 琢磨		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年7月1日)	リサーチセミナー 医学ゼミⅢ 法医学系	3年 後 4年 前 4年 後	11.5 2 0.66	38.75	リサーチセミナー 医学ゼミⅢ 法医学系	3年 後 4年 前 4年 後	11.5 2 0.66	38.75
83	講師	クワタキ ナオヒロ 黒滝 直弘		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成19年3月1日)	分子遺伝系 医学ゼミⅡ 臨床実習 精神系 脳・神経系 臨床医学TBLⅢ(精神系) 医学ゼミⅢ	1年 後 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 前	0.11 1 2.12 0.27 0.1 0.08 1	38.75	分子遺伝系 医学ゼミⅡ 臨床実習 精神系 脳・神経系 臨床医学TBLⅢ(精神系) 医学ゼミⅢ	1年 後 3年 前 4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 前	0.11 1 2.12 0.27 0.1 0.08 1	38.75
84	講師	イケダ サシ 池田 聡司		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成19年4月1日)	循環器系 臨床医学TBLⅠ(循環器系) 臨床実習 診断学	3年 前 3年 前 4~5年 通年 4年 後	0.17 0.5 2.12 0.2	38.75	循環器系 臨床医学TBLⅠ(循環器系) 臨床実習 診断学	3年 前 3年 前 4~5年 通年 4年 後	0.17 0.5 2.12 0.2	38.75
85	講師	オカタ マサヒコ 岡田 雅彦		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成18年4月1日)	血液・リンパ系 臨床実習 臨床推論PBL	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.21 2.12 0.12	38.75	血液・リンパ系 臨床実習 臨床推論PBL	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.21 2.12 0.12	38.75
86	講師	カタヤマ トシロウ 片山 敏郎		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年7月1日)	循環器系 臨床実習 診断学	3年 前 4~5年 通年 4年 後	0.17 2.12 0.2	38.75	循環器系 臨床実習 診断学	3年 前 4~5年 通年 4年 後	0.17 2.12 0.2	38.75
87	講師	クワハラ ヒロナガ 桑原 宏永		博士(医学)	長崎大学 医学部 講師 (平成25年11月1日)	医と社会Ⅱ 基礎医学TBL 医と社会Ⅲ 内分泌・代謝・栄養系 医と社会Ⅳ	2年 後 2年 後 3年 通年 3年 後 4年 前	0.3 0.19 0.01 0.08 0.01	38.75	医と社会Ⅱ 基礎医学TBL 医と社会Ⅲ 内分泌・代謝・栄養系 医と社会Ⅳ	2年 後 2年 後 3年 通年 3年 後 4年 前	0.3 0.19 0.01 0.08 0.01	38.75
88	講師	ナカムラ ヨウイチ 中村 洋一		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成23年4月1日)	呼吸器系 臨床実習 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 後 5年 前	0.14 2.12 0.2 0.13	38.75	呼吸器系 臨床実習 診断学 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 4年 後 5年 前	0.14 2.12 0.2 0.13	38.75
89	講師	カマタ ケンサク 鎌田 健作		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年12月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
90	講師	ヤマノウチ コウシヨウ 山之内 孝彰		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成27年4月1日)	内分泌・代謝・栄養系 臨床実習 外科治療学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	0.08 2.12 0.03	38.75	内分泌・代謝・栄養系 臨床実習 外科治療学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	0.08 2.12 0.03	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
91	講師	マイミ 玉井 慎美		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成25年7月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
92	講師	サカモト 坂本 憲穂		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年11月1日)	呼吸器系 臨床実習 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 5年 前	0.07 2.12 0.13	38.75	呼吸器系 臨床実習 臨床総括講義(内科)	3年 前 4~5年 通年 5年 前	0.07 2.12 0.13	38.75
93	講師	ミウラ 三浦 崇		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年1月1日)	臨床実習 臨床総括講義(心臓血管外科)	4~5年 通年 5年 前	2.12 0.31	38.75	臨床実習 臨床総括講義(心臓血管外科)	4~5年 通年 5年 前	2.12 0.31	38.75
94	講師	ツイキ 築城 英子			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年9月1日)	臨床実習 視覚系 臨床総括講義(眼科)	4~5年 通年 4年 前 5年 前	2.12 0.23 0.31	38.75	臨床実習 視覚系 臨床総括講義(眼科)	4~5年 通年 4年 前 5年 前	2.12 0.23 0.31	38.75
95	講師	イチノセ 一瀬 邦弘		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成27年3月1日)	免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 診断学	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.08 2.12 0.2	38.75	免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 診断学	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.08 2.12 0.2	38.75
96	講師	ミヤサキ 宮崎 泰可		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成26年4月1日)	感染症系 臨床医学TBL I(感染症系) 臨床実習 医学ゼミⅢ 臨床総括講義(内科)	3年 前 3年 前 4~5年 通年 4年 前 5年 前	0.08 0.5 2.12 2 0.25	38.75	感染症系 臨床医学TBL I(感染症系) 臨床実習 医学ゼミⅢ 臨床総括講義(内科)	3年 前 3年 前 4~5年 通年 4年 前 5年 前	0.08 0.5 2.12 2 0.25	38.75
97	講師	ツチハシ 土橋 真奈		博士(薬学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成25年4月1日)	免疫系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.3 11.5	38.75	免疫系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.3 11.5	38.75
98	助教	ニタンダ 二反田 隆夫		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成26年5月1日)	病理各論系 I リサーチセミナー 病理各論系Ⅲ	3年 前 3年 後 4年 前	0.16 11.5 1	38.75	病理各論系 I リサーチセミナー 病理各論系Ⅲ	3年 前 3年 後 4年 前	0.16 11.5 1	38.75
99	助教	ロスフェルト Loosveldt Luc Florent Eugene			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年3月1日)	国際医療英語 医学英語 人間生物学 国際医療英語 医学英語Ⅱ 国際医療英語Ⅲ 医学英語Ⅲ	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 通年 2年 後 3年 前 3年 後	1 1 0.09 1 0.5 1 0.5	38.75	国際医療英語 医学英語 人間生物学 国際医療英語 医学英語Ⅱ 国際医療英語Ⅲ 医学英語Ⅲ	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 通年 2年 後 3年 前 3年 後	1 1 0.09 1 0.5 1 0.5	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
100	助教	ブリガンティ ジェイムス ジョセフ Briganti James Joseph		M. A	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年5月16日)	国際医療英語 医学英語 人間生物学 医学英語Ⅱ 医学英語Ⅲ	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 後 3年 後	1 1 0.09 0.5 0.5	38.75	国際医療英語 医学英語 人間生物学 医学英語Ⅱ 医学英語Ⅲ	1年 通年 1年 前 1年 前 2年 後 3年 後	1 1 0.09 0.5 0.5	38.75
101	助教	タツミ リエ 巽 理恵		博士(学術)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	薬理系 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 薬理系Ⅲ 医学ゼミⅢ	3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前	0.39 1 11.5 0.63 1	38.75	薬理系 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 薬理系Ⅲ 医学ゼミⅢ	3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前	0.39 1 11.5 0.63 1	38.75
102	助教	ヨネタ ミツヒロ 米田 光宏		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年8月17日)				38.75				38.75
103	助教	ハタヤマ ミル 畑山 実		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年12月1日)	薬理系 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 薬理系Ⅲ 医学ゼミⅢ	3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前	0.39 1 11.5 0.63 1	38.75	薬理系 医学ゼミⅡ リサーチセミナー 薬理系Ⅲ 医学ゼミⅢ	3年 通年 3年 前 3年 後 4年 前 4年 前	0.39 1 11.5 0.63 1	38.75
104	助教	アキヤマ ナオタロウ 穂山 直太郎		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年4月1日)	発生・組織系Ⅱ リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナーⅠ	2年 前 3年 後 4年 前	0.61 11.5 1	38.75	発生・組織系Ⅱ リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナーⅠ	2年 前 3年 後 4年 前	0.61 11.5 1	38.75
105	助教	ナカワ タケヤ 中川 武弥			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	生体分子系 リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナーⅠ アドバンスリサーチセミナーⅡ	1年 前 3年 後 4年 前 5年 通年	1.17 11.5 1 1	38.75	生体分子系 リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナーⅠ アドバンスリサーチセミナーⅡ	1年 前 3年 後 4年 前 5年 通年	1.17 11.5 1 1	38.75
106	助教	アイハラ ヒロシ 相原 仁		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年9月1日)	生体分子系 リサーチセミナー	1年 前 3年 後	1.17 11.5	38.75	生体分子系 リサーチセミナー	1年 前 3年 後	1.17 11.5	38.75
107	助教	ハクセンジュン 朴 盛俊		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成24年4月1日)	病理総論系 病理各論系Ⅰ	2年 後 3年 前	0.12 0.1	38.75	病理総論系 病理各論系Ⅰ	2年 後 3年 前	0.12 0.1	38.75
108	助教	ニシタ ショウタ 西谷 正太		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	プレリサーチセミナーⅠ 医学ゼミⅠ 動物性機能系 医学ゼミⅠ リサーチセミナー	1年 通年 1年 前 2年 前 2年 後 3年 後	1 1 0.56 1 11.5	38.75	プレリサーチセミナーⅠ 医学ゼミⅠ 動物性機能系 医学ゼミⅠ リサーチセミナー	1年 通年 1年 前 2年 前 2年 後 3年 後	1 1 0.56 1 11.5	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	学則変更前年度			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数
						担当授業科目				担当授業科目			
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
109	助教	イントウダイスケ 遠藤 大輔		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年6月1日)	発生・組織系Ⅰ 発生・組織系Ⅱ リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナーⅠ アドバンスリサーチセミナーⅡ	1年 後 2年 前 3年 後 4年 前 5年 通年	0.33 0.61 11.5 1 1	38.75	発生・組織系Ⅰ 発生・組織系Ⅱ リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナーⅠ アドバンスリサーチセミナーⅡ	1年 後 2年 前 3年 後 4年 前 5年 通年	0.33 0.61 11.5 1 1	38.75
110	助教	タルミワタル 樽見 航		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年5月1日)	動物性機能系	2年 前	0.38	38.75	動物性機能系	2年 前	0.38	38.75
111	助教	イシワダイスケ 石川 泰輔		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成26年4月1日)	内臓機能・体液系Ⅰ 内臓機能・体液系Ⅱ リサーチセミナー	1年 後 2年 前 3年 後	1 0.6 11.5	38.75	内臓機能・体液系Ⅰ 内臓機能・体液系Ⅱ リサーチセミナー	1年 後 2年 前 3年 後	1 0.6 11.5	38.75
112	助教	サワノエリカ 澤野 恵梨香		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年5月1日)	動物性機能系	2年 前	0.44	38.75	動物性機能系	2年 前	0.44	38.75
113	助教	キノユウイチロウ 菊野 雄一郎		博士(人間・環境学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年4月1日)	動物性機能系	2年 前	0.47	38.75	動物性機能系	2年 前	0.47	38.75
114	助教	イノウエケイ 井上 圭太		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年12月1日)	医と社会Ⅲ 臨床実習 診断学	3年 通年 4~5年 通年 4年 後	0.02 2.12 0.2	38.75	医と社会Ⅲ 臨床実習 診断学	3年 通年 4~5年 通年 4年 後	0.02 2.12 0.2	38.75
115	助教	カワシロシヤ 川尻 真也		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成24年4月1日)	臨床実習	4~5年 通年	4.23	38.75	臨床実習	4~5年 通年	4.23	38.75
116	助教	ナガヨシマコ 永吉 真子		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年12月1日)				38.75				38.75
117	助教	ウハラタカヒロ 梅原 敬弘		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年5月1日)	リサーチセミナー 法医学系	3年 後 4年 後	11.5 0.09	38.75	リサーチセミナー 法医学系	3年 後 4年 後	11.5 0.09	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
118	助教	ニシムラ ヲユキ 西村 貴孝		博士(芸術工学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年8月1日)	リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	11.5 2.12 0.19	38.75	リサーチセミナー 臨床実習 公衆衛生学	3年 後 4~5年 通年 4年 前	11.5 2.12 0.19	38.75
119	助教	モリウチ マサコ 森内 昌子		Ph. D	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)				38.75				38.75
120	助教	ローン マリー ジョン LAWN MURRAY JOHN		博士(工学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年11月1日)				38.75				38.75
121	助教	ホウジヨウ ミナル 北條 美能留			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	動物性機能系 臨床実習 医と社会IV	2年 前 4~5年 通年 4年 前	0.03 2.12 0.01	38.75	動物性機能系 臨床実習 医と社会IV	2年 前 4~5年 通年 4年 前	0.03 2.12 0.01	38.75
122	助教	ハヤシ ヒデユキ 林 秀行		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成20年10月1日)	放射線医学	3年 後	0.08	38.75	放射線医学	3年 後	0.08	38.75
123	助教	ホヅミ アキラ 穂積 晃		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年4月1日)	運動系	4年 前	0.05	38.75	運動系	4年 前	0.05	38.75
124	助教	ミスサキ ヒロミ 水崎 博文		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年11月1日)	生体分子系 リサーチセミナー	1年 前 3年 後	1.17 11.5	38.75	生体分子系 リサーチセミナー	1年 前 3年 後	1.17 11.5	38.75
125	助教	オノ シンジ 小野 慎治		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年4月1日)	臨床実習 精神系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.53	38.75	臨床実習 精神系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.53	38.75
126	助教	ニシダ アキミ 西田 暁史		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
127	助教	ウジフクケンタ 氏福 健太		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
128	助教	カカワトモユキ 角川 智之		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年2月1日)	人間生物学 呼吸器系 免疫・アレルギー疾患系 臨床実習	1年 前 3年 前 3年 後 4~5年 通年	0.05 0.07 0.08 2.12	38.75	人間生物学 呼吸器系 免疫・アレルギー疾患系 臨床実習	1年 前 3年 前 3年 後 4~5年 通年	0.05 0.07 0.08 2.12	38.75
129	助教	ソヤマアキヒコ 曾山 明彦		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年4月1日)	消化器系 臨床実習 外科治療学	3年 前 4~5年 通年 4年 前	0.06 2.12 0.07	38.75	消化器系 臨床実習 外科治療学	3年 前 4~5年 通年 4年 前	0.06 2.12 0.07	38.75
130	助教	エガワアキコ 江川 亜希子			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年6月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 放射線医学 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.35 0.3 0.16 0.08 2.12 0.02 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 放射線医学 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 3年 後 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.35 0.3 0.16 0.08 2.12 0.02 0.01	38.75
131	助教	ハカリヤトモアキ 計屋 知彰		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年4月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
132	助教	マツモト マキコ 松本 牧子		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年6月16日)	臨床実習 視覚系 臨床推論PBL	4~5年 通年 4年 前 4年 後	2.12 0.23 0.12	38.75	臨床実習 視覚系 臨床推論PBL	4~5年 通年 4年 前 4年 後	2.12 0.23 0.12	38.75
133	助教	ムラカミトモリ 村上 友則		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年1月1日)	臨床実習 法医学系	4~5年 通年 4年 後	2.12 0.09	38.75	臨床実習 法医学系	4~5年 通年 4年 後	2.12 0.09	38.75
134	助教	イワモト ナオキ 岩本 直樹		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成24年4月1日)	免疫・アレルギー疾患系 臨床医学TBL II (免アレ) 臨床実習 診断学 臨床推論PBL	3年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後	0.08 0.25 2.12 0.2 0.12	38.75	免疫・アレルギー疾患系 臨床医学TBL II (免アレ) 臨床実習 診断学 臨床推論PBL	3年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後	0.08 0.25 2.12 0.2 0.12	38.75
135	助教	ウノ ナオキ 宇野 直輝		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年4月1日)	リサーチセミナー 臨床実習 診断学 臨床検査医学 臨床推論PBL	3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後 4年 後	11.5 2.12 0.2 0.13 0.12	38.75	リサーチセミナー 臨床実習 診断学 臨床検査医学 臨床推論PBL	3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後 4年 後	11.5 2.12 0.2 0.13 0.12	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
136	助教	チハコウ 千葉 恒		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年4月1日)	臨床実習 運動系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.11	38.75	臨床実習 運動系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.11	38.75
137	助教	ハンモクニオ 橋本 邦生		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成23年5月1日)	小児系 臨床実習 臨床推論PBL	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.25 2.12 0.12	38.75	小児系 臨床実習 臨床推論PBL	3年 後 4~5年 通年 4年 後	0.25 2.12 0.12	38.75
138	助教	モリナガ ヨシモ 森永 芳智		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	感染系 リサーチセミナー 臨床実習 診断学 臨床検査医学 臨床推論PBL	2年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後 4年 後	0.27 23 2.12 0.2 0.19 0.12	38.75	感染系 リサーチセミナー 臨床実習 診断学 臨床検査医学 臨床推論PBL	2年 後 3年 後 4~5年 通年 4年 後 4年 後 4年 後	0.27 23 2.12 0.2 0.19 0.12	38.75
139	助教	カサヤカ 久芳 さやか		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年12月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75
140	助教	イチミヤ タカ 一ノ宮 大雅		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成24年4月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
141	助教	イシヒロキ 石居 公之			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年11月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75
142	助教	クツカ ユカ 鍬塚 大		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年8月1日)	臨床実習 皮膚系 臨床医学TBL III(皮膚系) 臨床推論PBL	4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後	2.12 0.08 0.08 0.12	38.75	臨床実習 皮膚系 臨床医学TBL III(皮膚系) 臨床推論PBL	4~5年 通年 4年 前 4年 前 4年 後	2.12 0.08 0.08 0.12	38.75
143	助教	サカライ コ 相良 郁子		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年11月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に就事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に就事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
144	助教	タハシ ケンスケ 高橋 健介			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年7月1日)				38.75				38.75
145	助教	ヒガシジマ アイ 東島 愛		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年4月1日)	生殖系 臨床実習	3年 後 4~5年 通年	0.1 2.12	38.75	生殖系 臨床実習	3年 後 4~5年 通年	0.1 2.12	38.75
146	助教	マツザカ ユウスケ 松坂 雄亮			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年12月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75
147	助教	コイケ ユウタ 小池 雄太		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年4月1日)	臨床実習 皮膚系 臨床医学TBL III(皮膚系)	4~5年 通年 4年 前 4年 前	2.12 0.08 0.08	38.75	臨床実習 皮膚系 臨床医学TBL III(皮膚系)	4~5年 通年 4年 前 4年 前	2.12 0.08 0.08	38.75
148	助教	サカイ ユウスケ 堺 裕輔		博士(工学)	長崎大学 医学部 助教 (平成23年4月1日)	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75	臨床実習	4~5年 通年	2.12	38.75
149	助教	ムタケミコ 牟田 久美子			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年11月1日)	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75	医と社会 I 医と社会 II 医と社会 III 臨床実習 医と社会 IV 医と社会 IV	1年 前 2年 後 3年 通年 4~5年 通年 4年 前 4年 後	0.45 0.3 0.16 2.12 0.02 0.01	38.75
150	助教	サンダース トッド リー SAUNDERS TODD LEIGH		博士(環境科学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年2月6日)				38.75				38.75
151	助教	ヤスイ キヨシ 安井 潔		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)				38.75				38.75
152	助教	ワタナベ ケン 渡邊 健		博士(工学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年2月1日)				38.75				38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に從事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数		科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	
153	助教	モリ ツヨシ 森 剛志		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成24年9月1日)	リサーチセミナー	3年 後	11.5	38.75	リサーチセミナー	3年 後	11.5	38.75
154	助教	キムラ ダイスケ 木村 大輔		博士(保健学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年9月1日)	免疫系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.3 11.5	38.75	免疫系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.3 11.5	38.75
155	助教	イシハシ ダイスケ 石橋 大輔		博士(薬学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	感染系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.13 11.5	38.75	感染系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.13 11.5	38.75
156	助教	フセ タユキ 布施 隆行		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成20年10月1日)	リサーチセミナー	3年 後	11.5	38.75	リサーチセミナー	3年 後	11.5	38.75
157	助教	ゴーチャン プニータ GAUCHAN PUNITA		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年8月1日)	医学ゼミⅠ リサーチセミナー 医学ゼミⅢ	2年 前 3年 後 4年 前	1 11.5 2	38.75	医学ゼミⅠ リサーチセミナー 医学ゼミⅢ	2年 前 3年 後 4年 前	1 11.5 2	38.75
158	助教	タカゾノ タカヒロ 高園 貴弘		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年2月1日)	感染症系 呼吸器系	3年 前 3年 前	0.08 0.07	38.75	感染症系 呼吸器系	3年 前 3年 前	0.08 0.07	38.75
159	助教	タシロ マサト 田代 将人		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成26年4月1日)	感染症系 臨床実習	3年 前 4~5年 通年	0.08 2.12	38.75	感染症系 臨床実習	3年 前 4~5年 通年	0.08 2.12	38.75
160	助教	アキバリ マスード AKBARI MASOUD		博士(医学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成26年4月1日)	免疫系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.3 11.5	38.75	免疫系 リサーチセミナー	2年 後 3年 後	0.3 11.5	38.75
161	助教	ミヅタ サトシ 水田 賢志		博士(工学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年5月27日)				38.75				38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学 における教育研究 に従事する週 当たり平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
162	助教	カネコ ミホ 金子 美穂		博士(保健学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成26年4月1日)	リサーチセミナー 衛生学・分子疫学	3年 後 4年 前	11.5 0.15	38.75	リサーチセミナー 衛生学・分子疫学	3年 後 4年 前	11.5 0.15	38.75
163	助教	オオタキ ヒロキ 大滝 大樹		博士(理学)	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年7月1日)				38.75				38.75
164	助教	ハラ ミル 原 稔			長崎大学 医学部 助教 (平成24年6月1日)	臨床実習 耳鼻咽喉口腔系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.17	38.75	臨床実習 耳鼻咽喉口腔系	4~5年 通年 4年 前	2.12 0.17	38.75
165	助教	ノブヨシ マサル 信吉 正治		医学博士	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成27年4月1日)				38.75				38.75
166	助教	ヤマナシ ヒトモ 山梨 啓友			長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成25年9月1日)				38.75				38.75